SONY

3-826-910-**01**(1)

Network Player Management Software

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BZNP-100 Version 3.00 and Later

©2003 Sony Corporation

説明書の構成と関連マニュアル

この取扱説明書は、Sony Network Player Management Software BZNP-100の操作方法を解説しています。
BZNP-100 は、街頭でのコマーシャルビデオや会社内の教育ビデオなど、映像、音声のコンテンツを制作、管理するソフトウェアです。制作したコンテンツは、ネットワークを通じてソニーのネットワークプレーヤーNSP-100 に送信し、ネットワークプレーヤーで再生、送出することができます。
この取扱説明書には、BZNP-100のオンラインヘルプと同様に、BZNP-100 のすべての機能が記載されています。
BZNP-100 の操作中にキーボードのF1 キーを押すと、そのときに表示されている画面の説明が表示されます。
関連する操作方法に関する情報を表示させるには、トピックのタイトルの右に表示されている「関連項目」のリンクをクリックします。
ヘルプの目次を表示させるには、ヘルプウィンドウのメニューバーにあるトピックボタンをクリックしてください。

この説明書の表記

メニュー上のコマンドと、画面に表示される文字の書かれているボタンは、[コマンド名]または[ボタン名]のように表記します。
例:[編集]、[素材管理]

商標について

- Microsoft、Windows、Windows XP、およびDirectShow は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- i.LINK は、IEEE1394-1995 およびその拡張仕様を示す呼称で、ソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に登場するシステム名、製品名、会社名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。

著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。
ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容(操作、保守等)と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

コンテンツ制作に使用する動画、静止画、テロップなどの素材データには、著作権が設定されている場合があります。
このような素材は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
また、テロップには、コンピューターにインストールされているフォントを使用できますが、このフォントは、著作権法上、権利者に無断で放送に使用することはできません。
必ず、権利者から許可を得るか、放送権を取得してから使用してください。

目次

目次 3

概要 6

システムの概要 6
操作の流れ 8
主な操作ウィンドウ 9
メインメニュー(プレゼンテーション・アプリケーション) 9
メインメニュー(スケジュール・アプリケーション) 11
カレンダーに関する操作 (スケジュール・アプリケーション) 12
素材管理ウィンドウ－動画パネル 14
素材管理ウィンドウ－静止画パネル 16
素材管理ウィンドウ－テロップパネル 18
素材管理ウィンドウ－制御パネル 20
素材管理ウィンドウ－プレイリストパネル 21
プレイリスト編集ウィンドウ 23
プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウ 25

日常の操作 27

素材の準備 27
動画素材を準備する 27
素材情報を入力しておいて、動画ファイルができたら変換を行う (動画素材の準備) 28
映像をキャプチャーして AVI ファイルを作成する (動画素材の準備) 29
静止画素材を準備する 31
素材情報を入力しておいて、ビットマップファイルができたら変換を行う (静止画素材の準備) 32
静止画素材に使用できるファイル 33
テロップを準備する－文字テロップ 34
テロップを準備する－ビットマップテロップ 36
制御コマンドを準備する 38
素材を確認する (プレビュー) 40
素材やプレイリストを削除する (自動削除機能と手動削除) 41
BZNP-A1 で作成した素材とプレイリスト・モジュールを取り込む 42
プレイリストの準備 43
プレイリストとは 44
新しくプレイリストを作成する 46
プレイリスト・モジュールを組み合わせてプレイリストを作成する 48
既存のプレイリストを編集、削除する 50
プレイリストの内容を確認する 52

プレイリスト編集ウィンドウでの編集 53
動画、静止画、テロップのイベントをプレイリストに追加する 53
外部機器の制御イベントをプレイリストに追加する 54
イベントを移動、削除する 55
プレイリスト・モジュールを挿入する 56
ブレイクイベントを挿入する (プレゼンテーション・アプリケーション) 57
イベントの開始時刻を変更する (スケジュール・アプリケーション) 57
動画およびテロップの位置を指定する 58
プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでの編集 60
ネットワークプレーヤーへの送信 61
プレイリストを送信する 61
素材を送信する 62
転送状況を確認する 63
送出 64
通常の送出 64
緊急再生 65
ネットワークプレーヤーの確認 67
ネットワークプレーヤーのステータスを確認する 67
送出ログを確認する 68
操作を終了する 69

システムの設定 70

ソフトウェアの設定を行う 70
NSP-100 ネットワークプレーヤーの設定を行う 72
ネットワークプレーヤーで使用する制御ファイルの内容を編集する 73
ネットワークプレーヤーの待機画面およびプレイリスト・スタンバイ画面を設定する 75
ネットワークプレーヤーの特殊再生用プレイリストを設定する 76
ネットワークプレーヤーのグループの設定を行う 77
NSP-100 のメンテナンスコマンド 79

ウィンドウとダイアログボックス 80

環境設定ダイアログボックス 80
ネットワーク環境設定ダイアログボックス 82
NSP-100 設定ダイアログボックス 83
グループ設定ダイアログボックス 86
グループ編集ダイアログボックス 87
NSP-100 名称設定ダイアログボックス 88
グループ名称設定ダイアログボックス 89

転送状況ウィンドウ 90
転送結果ウィンドウ 91
素材変換ウィンドウ 92
変換パラメータ設定ダイアログボックス 93
キャプチャウィンドウ 94
テロップ編集ダイアログボックス 96
詳細設定ダイアログボックス 98
テロップ文字色設定ダイアログボックス 100
制御(外部機器/NSP-100)設定ダイアログボックス 101
プレイリスト表示ウィンドウ 102
プロパティダイアログボックス 103
表示画面設定ダイアログボックス 105
送出ログウィンドウ 107
詳細表示ウィンドウ 108
自動削除日設定ダイアログボックス 109
開始時間変更ダイアログボックス 110
NSP-100 設定パスワード入力ダイアログボックス 111
NSP-100 ステータスウィンドウ 112
プレビューウィンドウ 113
素材のインポートダイアログボックス 114

概要

システムの概要

ソニー ネットワーク プレーヤー マネージメント ソフトウェア BZNP-100 は、ネットワークを通じてコンテンツをネットワーク プレーヤー NSP-100 (以降、ネットワークプレーヤーと呼びます)に送信し、街頭でのコマーシャルビデオや会社内の教育ビデオなどを送出するシステムを管理するソフトウェアです。
このシステムでは、動画、静止画、テロップを主な素材として使用します。一般的なオーサリングソフトとは異なり、動画、静止画、テロップを1つの動画にまとめて使用するわけではなく、それぞれを別のファイルとして管理し、プレイリストといっしょにネットワークプレーヤーに送信します。
そのため、データサイズの小さい静止画やテロップだけをすばやく差し替えたり、プレイリストを変更して送信するだけで動画やテロップの位置やサイズ、また素材の組み合わせを変更したりすることができ、お持ちのコンテンツを最大限に生かして小回りの利いた送出を行うことが可能です。

ネットワーク プレーヤー マネージメント ソフトウェアには、次の 2 種類のソフトウェアがあります。

- BZNP-100
  100 台までのネットワークプレーヤーを管理することができます。
- BZNP-100LE
  NSP-100 に同梱されている簡易版のソフトウェアです。ネットワークプレーヤー1 台のみを管理します。また、下の「BZNP-100LE の機能制限」に書かれている制限があります。

BZNP-100 には、目的に応じて使用する 2 種類のアプリケーションが含まれています。
この 2 つのアプリケーションの切り替えは、環境設定ダイアログボックスで行います。

- プレゼンテーション・アプリケーション
  ネットワークプレーヤーのリモコンを使用して送出を行うためのプレイリストを編集、管理する、プレゼンテーション用のアプリケーションです。
  ネットワークプレーヤーの電源 ON で自動的に送出を開始したり、外部機器からのトリガーによって送出を行うこともできます。
- スケジュール・アプリケーション (BZNP-100LE には含まれていません)
  指定した日時に自動送出を行うためのプレイリストを編集、管理するアプリケーションです。

どちらのアプリケーションも、次の 4 種類の素材を使用することができます。

- 動画
  AVI や MPEG2 フォーマット、およびソニーの VSR-2000/2000A で作成されたビデオファイルを、ネットワークプレーヤーが再生できる NSP フォーマットに変換して使用します。
- 静止画
  ビットマップおよび JPEG ファイルを、NSP フォーマットに変換して使用します。
- テロップ
  テロップとして表示させるテキストのデータを BZNP-100 で作成して使用します。
  テキストの代わりに、ある程度までの大きさのビットマップファイルをテロップとして扱うこともできます。
- 制御コマンド
  プラズマディスプレイの電源や GPI(General Purpose Interface)信号を使用した外部機器制御のためのコマンドを作成して、素材と同じように使用します。
  同様に制御コマンドを送信することで、音量調整などネットワークプレーヤー自体を制御することもできます。
  (ただし、ネットワークプレーヤー自体を制御するコマンドは、プレイリストには組み込めません)

これらの素材の再生順を記したプレイリストを指定して、ネットワークプレーヤーに送信すれば、ネットワークプレーヤーが送出を行います。

このソフトウェアを使用して行う作業は、次のとおりです。

- システムの設定を行う
- 素材を準備する
  BZNP-100 で素材を作成する
  - i.LINK(IEEE1394)ケーブルで接続されたカメラまたは VTR から映像データをキャプチャーして、AVI ファイルを作成する
  - 動画および静止画のファイルを NSP フォーマットに変換する
  - テロップの文字を入力し、表示方法を設定したファイルを作成する

  または、ソニーのオーサリングのソフトウェア BZNP-A1 で作成した素材とプレイリスト・モジュールを取り込む
- プラズマディスプレイなど、ネットワークプレーヤーに接続されている外部機器制御のためのコマンドを作成する
- プレイリストを作成する
- プレイリストをネットワークプレーヤーに送信する (送信先のネットワークプレーヤーにない素材は、自動的にプレイリストと共に送信されます)
- 送信の状況やネットワークプレーヤーのステータスを確認する
- ネットワークプレーヤーから送出ログを取得して、再生結果を確認する

ヒント

操作中、キーボードの F1 キーを押すと、その時表示されている画面に応じた説明(ヘルプ)を見ることができます。

BZNP-100LE の機能制限

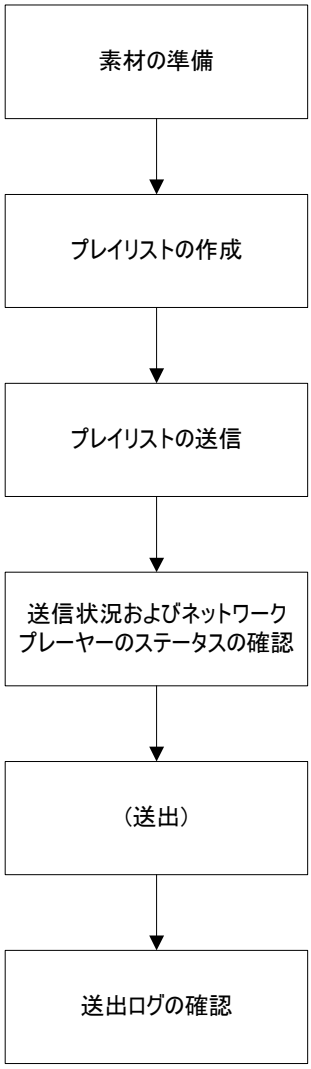
BZNP-100LE は、NSP-100 に付属している簡易版のソフトウェアです。標準の BZNP-100 と比べ、下記のような制限があります。

- 管理できるネットワークプレーヤーは 1 台のみです。
- スケジュール・アプリケーションは使用できません。また、プレイリストのスケジュール機能がないため、プレイリストの自動送信は行いません。
- 動画キャプチャー機能は使用できません。
- 素材のインポート機能は使用できません。(BZNP-A1 で作成した素材やプレイリスト･モジュールは使用できません)
- PC 上での動画のプレビューはできません。
- NSP-100 内蔵のフォント以外の、PC にインストールされているフォントをテロップに使用することはできません。このため、複数の色を使用したテロップ、フォントサイズの指定もできません。
  また、ビットマップテロップも使用できません。
- プレイリストのモジュール単位の編集はできません。
- プレイリストや素材をネットワークプレーヤーに送信する場合の、エラー発生時の自動再送(レジューム)機能を設定しておくことはできません。

操作の流れ

システム導入時は
まず、ネットワークプレーヤーのリモコンを使用して、個々のネットワークプレーヤーに IP アドレスなどのネットワークに関する設定を行います。
それから、メインメニューから環境設定、グループ設定、NSP-100 設定の各ダイアログボックスを開いて、それぞれ設定を行います。

通常の操作時は
素材の準備、プレイリスト作成、送信、ログの確認を行います。
次の図は、このシステムを使用して街頭でのコマーシャルビデオや会社内の教育ビデオなどを送出する場合の日常の主な操作の流れを示しています。



- AVIファイルを作成します
- 動画と静止画のファイルを変換します
- テロップと外部機器の制御ファイルを作成します
- BZNP−A1で作成した素材とプレイリスト・モジュールを取り込みます

送信先のネットワークプレーヤーのグループを指定して、プレイリストを作成します。
送出順に素材を並べます。

送出日と送信先を指定して送信ボタンをクリックすると、プレイリストと必要な素材がネットワークプレーヤーに送信されます。
ネットワークプレーヤー上にすでにある素材やプレイリストは、送信の時間とコストをセーブするために送信の対象から外されます。

ネットワークプレーヤーがプレイリストに従って送出を行います。
必要に応じて、緊急送出を行います。

ネットワークプレーヤーからの送出状況を確認します。

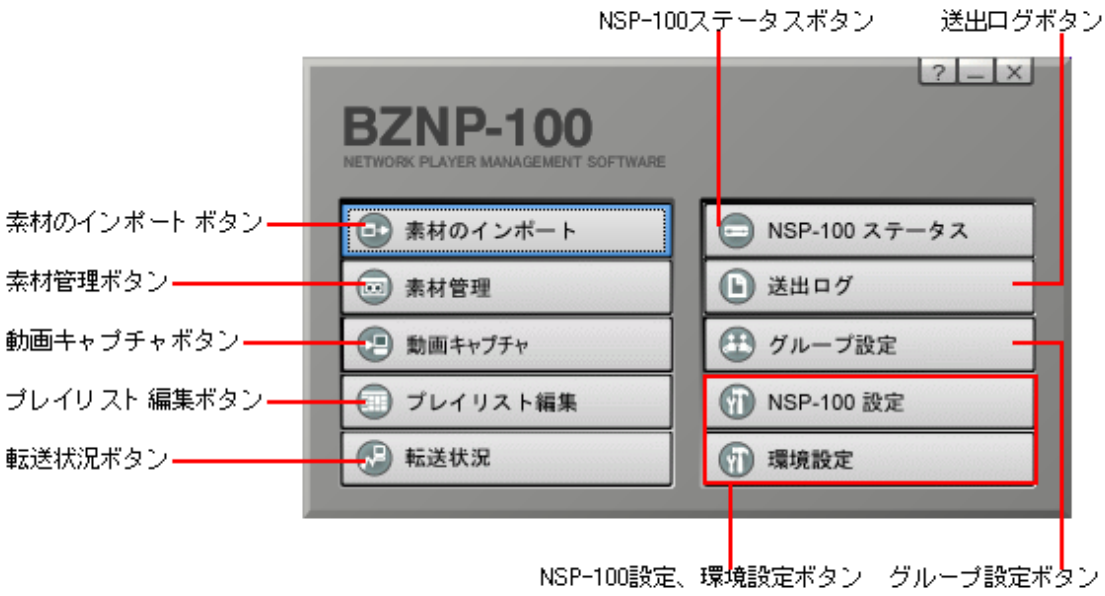
主な操作ウィンドウ

メインメニュー（プレゼンテーション・アプリケーション）

ヒント

このアプリケーションの操作説明を表示させるには、キーボードの F1 キーを押してください。
その時表示されている画面に応じた説明(ヘルプ)を見ることができます。表示されている画面に関する操作の説明は、各ヘルプのタイトルの右にある「関連項目」をクリックすると、表示されます。
操作説明全体の目次を表示させるには、ヘルプウィンドウの[トピック]をクリックしてください。

下の図は、ソニー ネットワーク プレーヤー マネージメント ソフトウェア BZNP-100 をプレゼンテーション・アプリケーションに設定したときのメインメニューです。このウィンドウは、プログラムをスタートしたときに現れ、すべての機能をこのウィンドウから起動することができます。
この例は BZNP-100 ですが、BZNP-100LE の場合でも、モデル名を除けば同じメニューが表示されます。



素材のインポートボタン
オーサリングのソフトウェア BZNP-A1 で作成した素材やプレイリスト･モジュールなどの配信データを取り込む(インポート)ための、素材のインポートダイアログボックスを表示します。

素材管理ボタン
素材管理ウィンドウに、動画、静止画、テロップ、制御コマンドという 4 種類の素材と、プレイリストの一覧を表示します。動画、静止画の登録や変換、テロップの作成、制御コマンドの作成も、素材管理ウィンドウから行います。

動画キャプチャボタン
i.LINK(IEEE1394)ケーブルで PC に接続されたビデオ機器の動画から AVI ファイルを作成するためのキャプチャウィンドウを表示します。

プレイリスト編集ボタン
プレイリストの作成、編集を行うプレイリスト編集ウィンドウを表示します。

転送状況ボタン
素材やプレイリストをネットワークプレーヤーに送信したときの状況を確認する転送状況ウィンドウを表示します。

NSP-100 ステータスボタン
各ネットワークプレーヤーのステータスを確認する NSP-100 ステータスウィンドウを表示します。

送出ログボタン
ネットワークプレーヤーから、再生の状況を記録した送出ログを取得し、ログを確認するための送出ログウィンドウを表示します。

グループ設定ボタン
ネットワークプレーヤーのグループ設定を行うためのダイアログボックスを表示します。ネットワークプレーヤーのグループを作成して、グループ単位で素材やプレイリストの送信を行います。

NSP-100 設定、環境設定ボタン
それぞれ、各ネットワークプレーヤーおよびこのソフトウェアの設定を行うためのダイアログボックスを表示します。

メインメニュー（スケジュール・アプリケーション）

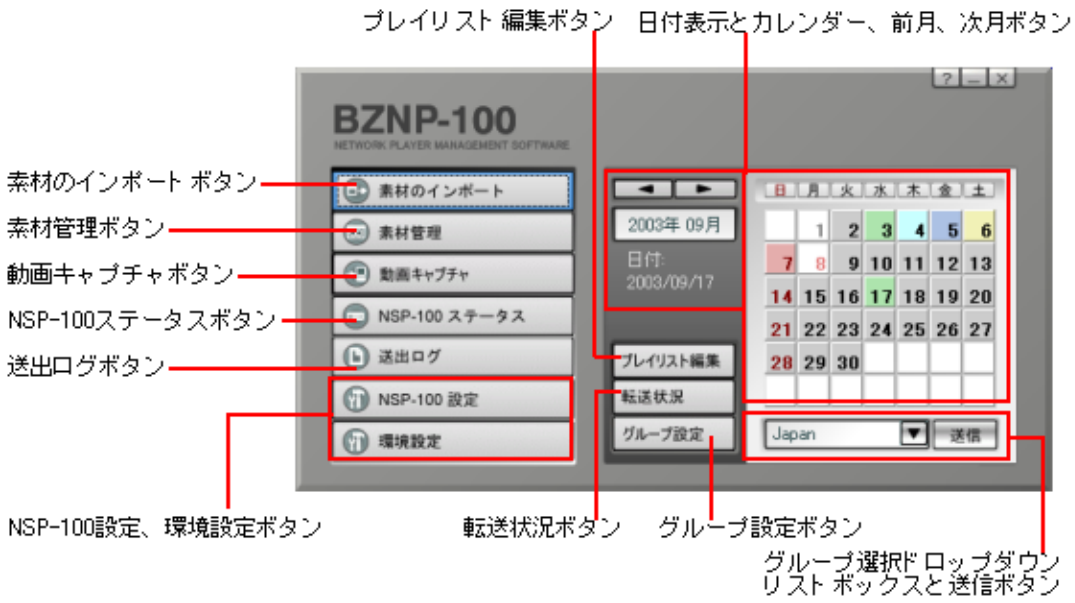
ヒント

このアプリケーションの操作説明を表示させるには、キーボードの F1 キーを押してください。
その時表示されている画面に応じた説明(ヘルプ)を見ることができます。表示されている画面に関する操作の説明は、各ヘルプのタイトルの右にある「関連項目」をクリックすると、表示されます。
操作説明全体の目次を表示させるには、ヘルプウィンドウの[トピック]をクリックしてください。

下の図は、ソニー ネットワーク プレーヤー マネージメント ソフトウェア BZNP-100 をスケジュール・アプリケーションに設定したときのメインメニューです。このウィンドウは、プログラムをスタートしたときに現れ、すべての機能をこのウィンドウから起動することができます。

ご注意

この例は BZNP-100 です。BZNP-100LE には、スケジュール・アプリケーションは含まれていないため、このメインメニューは表示されません。



素材のインポートボタン

オーサリングのソフトウェア BZNP-A1 で作成した素材やプレイリスト･モジュールなどの配信データを取り込む(インポート)ための、素材のインポートダイアログボックスを表示します。

素材管理ボタン

素材管理ウィンドウに、動画、静止画、テロップ、制御コマンドという 4 種類の素材と、プレイリストの一覧を表示します。動画、静止画の登録や変換、テロップの作成、制御コマンドの作成も、素材管理ウィンドウから行います。

動画キャプチャボタン

i.LINK(IEEE1394)ケーブルで PC に接続されたビデオ機器の動画から AVI ファイルを作成するためのキャプチャウィンドウを表示します。

NSP-100 ステータスボタン
各ネットワークプレーヤーのステータスを確認する NSP-100 ステータスウィンドウを表示します。

送出ログボタン
ネットワークプレーヤーから、再生の状況を記録した送出ログを取得し、ログを確認するための送出ログウィンドウを表示します。

NSP-100 設定、環境設定ボタン
それぞれ、各ネットワークプレーヤーおよびこのソフトウェアの設定を行うためのダイアログボックスを表示します。

プレイリスト編集ボタン
プレイリストの作成、編集を行うプレイリスト編集ウィンドウを表示します。

転送状況ボタン
素材やプレイリストをネットワークプレーヤーに送信したときの状況を確認する転送状況ウィンドウを表示します。

グループ設定ボタン
ネットワークプレーヤーのグループ設定を行うためのダイアログボックスを表示します。ネットワークプレーヤーのグループを作成して、グループ単位で素材やプレイリストの送信を行います。

日付表示とカレンダー、前月、次月ボタン
表示されている日付は、本日の日付です。カレンダーは、前月、次月(左右の矢印)ボタンをクリックして、表示させる月を変更することができます。

ヒント
本日の日付をクリックすると、他の月の表示になっているカレンダーを今月の表示に戻すことができます。

素材やプレイリストが用意できていれば、カレンダー上で日付を選択し、下のドロップダウンリストボックスで送信先のグループを指定して送信ボタンをクリックするだけで、プレイリストと必要な素材が送信できます。
カレンダーの日付に使用される色は、次の意味を表しています。
ただし、素材管理ウィンドウで動画、静止画、テロップの送信をした場合は、カレンダーに反映されません。このウィンドウから送信するか、素材管理またはプレイリスト編集ウィンドウでプレイリストを送信してください。

背景色	文字色	意味
白	グレーまたは茶	非放送日
灰	黒または赤	未編成(プレイリスト未作成)
緑	黒または赤	編成中(プレイリスト作成中または作成済み)
水色	黒または赤	送信中(プレイリストおよび素材)
青	黒または赤	送信済み(プレイリストおよび素材)
黄	黒または赤	素材未送信
赤	黒または赤	送信エラーあり

グループ選択ドロップダウンリストボックスと送信ボタン
登録されているネットワークプレーヤーのグループを選択します。
素材やプレイリストが用意できていれば、カレンダー上で日付を選択し、ドロップダウンリストボックスで送信先のグループを指定して送信ボタンをクリックするだけで、プレイリストと必要な素材が送信できます。
このグループの選択は、プレイリスト編集ボタンとも関連していて、希望のグループを選択してからボタンをクリックすれば、選択したグループに関する操作がすぐに行えます。

カレンダーに関する操作 （スケジュール･アプリケーション）

スケジュール･アプリケーションのメインメニューには、カレンダーが表示されています。このカレンダーはプレイリストの編成および送信状況を確認するためのものです。
日付の背景色は、プレイリストおよび素材の状況によって決まります。日付の文字色にも意味があり、次の操作

で変更することができます。

非放送日の設定

非放送日を設定しておくと、プレイリストを送信する必要がない日をカレンダー上で区別できます。

1. メインメニューのカレンダーで、非放送日に指定する日付にマウスを移動し、右クリックします。
2. 表示されるメニューの[平日の非放送日]または[休日の非放送日]をクリックします。
   非放送日の日付はグレー、または茶色で表示されます。背景色は白です。
   非放送日を放送日に戻す場合も、同様に日付を右クリックしてから[平日の放送日]または[休日の放送日]をクリックします。

ご注意

プレイリストの送出期間に非放送日が含まれているとプレイリストの指定が有効になり、非放送日にも送出を行いますので、ご注意ください。
例えば、プレイリストの送出開始日に 2003/09/01、終了日に 2003/09/30 を指定したプレイリストは、カレンダーで 2003/09/15 を非放送日に指定しても、9/15 に送出が行われます。開始日に 2003/09/01、終了日に 2003/09/14 を指定したプレイリスト A と、開始日に 2003/09/16、終了日に 2003/09/30 を指定したプレイリスト B のように2つに分けて作成することで、9/15 には送出を行わないようにすることができます。

平日と休日の設定

デフォルト(初期状態)では、月曜から土曜は黒、日曜日は赤で表示されています。
この日付表示の色を変更することができます。

1. 曜日全体の色を変更する場合は、変更する曜日の表示にマウスを移動し、右クリックします。
   休日など、特定の日付の色を変更する場合は、変更する日付を右クリックします。

   ヒント

   先に曜日全体の色を設定してから、特定の休日の色を変更してください。
2. 表示されるメニューから、希望の項目をクリックします。
   平日は黒またはグレー、休日は赤または茶色で表示されます。

素材管理ウィンドウー動画パネル

素材管理ウィンドウは、このシステムで扱う 4 種類の素材とプレイリストを管理するためのものです。
動画パネルには、登録されている動画素材の一覧が表示されます。白の背景色は、すでに NSP フォーマットへの変換が終わっていることを、緑の背景色は変換が終わっていない、データだけの素材であることを示しています。

PC 内のファイル管理および NSP-100 のリモート制御オプションボタン、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックス、情報更新ボタン

操作を行う動画素材が保存されている場所を選択します。通常は、PC 内のファイル管理オプションボタンを選択します。
ネットワークプレーヤー上の素材を確認したり削除したりする場合は、NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択します。この場合は、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックスで制御するネットワークプレーヤーを選択します。情報更新ボタンは、選択されているネットワークプレーヤーの素材情報を更新するために使用します。

リスト、NSP-100 リスト順ボタン

リストには、選択した場所にある動画素材のデータが表示されます (仮作成の素材は最後に表示されます)。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。上部で説明した NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されているときは、NSP-100 リスト順ボタンをクリックすると、NSP-100 で表示される順番にデータを並べ替えることができます。
データの分類やタイトルを変更するには、変更したい部分をダブルクリックして修正し、Enter キーを押します。削除や削除日の設定、解除、映像の確認(PC 上でプレビュー)を行う場合は、素材を右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

ご注意

ネットワークプレーヤー上の素材を表示している場合に赤字で表示される動画素材は、素材を構成するファイルが揃っていないため、そのままでは送出に使用できませんので、ご注意ください。
赤字で表示されている素材を削除してからプレイリストを送信しなおせば、対応する素材が BZNP-100 から送信されます。

ヒント

分類やタイトルがリストの幅より長く、全体が見えない場合は、マウスポインターをコード、分類、タイトルのいずれかの項目に移動してください。文字列全体がポップアップ表示されます。

仮作成ボタン

リストの最後に新しくデータを 1 件追加します。動画ファイルが用意できる前にプレイリストを作成したい場合など、先に素材情報だけを入力しておくために使用します。動画ファイルの用意ができてから、入力しておいた素材情報に割り当てて素材を変換することができます。

素材変換ボタン

PC 上の AVI ファイルや MPEG2 のファイル、またはソニーの VSR-2000/2000A で作成した動画ファイルを NSP フォーマットに変換するための素材変換ウィンドウを開きます。

送信グループドロップダウンリストボックスと送信、中止ボタン

ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択した素材を送信します。中止ボタンは、送信を中止するために使用します。

緊急セクション(再生、停止ボタン)

PC 内のファイル管理オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択した素材を送信し、送信が終わり次第再生を行います。
NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーを指定して、そのネットワークプレーヤー上にある素材の再生を行うことができます。
いずれの場合も、再生、停止ボタンで、ネットワークプレーヤー上の再生を制御します。

ご注意

緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で他の再生が行われていても、選択した素材を割り込み再生するものです。再生中の素材やプレイリストを強制的に停止して、選択された素材を再生します。
また、緊急再生中は、再生日時が指定されているプレイリストの再生時刻になっても再生が開始されません。緊急再生を行う場合は、NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認し、終了後は、必ず停止ボタンをクリックして緊急再生状態を解除してください。

素材管理ウィンドウー静止画パネル

素材管理ウィンドウは、このシステムで扱う 4 種類の素材とプレイリストを管理するためのものです。
静止画パネルには、登録されている静止画素材の一覧が表示されます。白の背景色は、すでに NSP フォーマットへの変換が終わっていることを、緑の背景色は変換が終わっていない、データだけの素材であることを示しています。

PC 内のファイル管理および NSP-100 のリモート制御オプションボタン、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックス、情報更新ボタン
操作を行う静止画素材が保存されている場所を選択します。通常は、PC 内のファイル管理オプションボタンを選択します。
ネットワークプレーヤー上の素材を確認したり削除したりする場合は、NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択します。この場合は、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックスで制御するネットワークプレーヤーを選択します。情報更新ボタンは、選択されているネットワークプレーヤーの素材情報を更新するために使用します。

リスト、NSP-100 リスト順ボタン
リストには、選択した場所にある静止画素材のデータが表示されます (仮作成の素材は最後に表示されます)。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。上部で説明した NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されているときは、NSP-100 リスト順ボタンをクリックすると、NSP-100 で表示される順番にデータを並べ替えることができます。
データの分類やタイトルを変更するには、変更したい部分をダブルクリックして修正し、Enter キーを押します。削除や削除日の設定、解除、画像の確認(PC 上でプレビュー)を行う場合は、素材を右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

ヒント
分類やタイトルがリストの幅より長く、全体が見えない場合は、マウスポインターをコード、分類、タイトルのいずれかの項目に移動してください。文字列全体がポップアップ表示されます。

仮作成ボタン
リストの最後に新しくデータを 1 件追加します。静止画ファイルが用意できる前にプレイリストを作成したい場合など、先に素材情報だけを入力しておくために使用します。静止画ファイルの用意ができてから、入力しておいた素材情報に割り当てて素材を変換することができます。

素材変換ボタン
PC 上にあるデジタルカメラやビットマップなどの静止画ファイル(bmp または JPEG ファイル)を NSP フォーマットに変換するための素材変換ウィンドウを開きます。

送信グループドロップダウンリストボックスと送信、中止ボタン
ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択した素材を送信します。中止ボタンは、送信を中止するために使用します。

緊急セクション(再生、停止ボタン)
PC 内のファイル管理オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択した素材を送信し、送信が終わり次第再生を行います。
NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーを指定して、そのネットワークプレーヤー上にある素材の再生を行うことができます。
いずれの場合も、再生、停止ボタンで、ネットワークプレーヤー上の再生を制御します。

ご注意
緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で他の再生が行われていても、選択した素材を割り込み再生するものです。再生中の素材やプレイリストを強制的に停止して、選択された素材を再生します。
また、緊急再生中は、再生日時が指定されているプレイリストの再生時刻になっても再生が開始されません。緊急再生を行う場合は、NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認し、終了後は、必ず

停止ボタンをクリックして緊急再生状態を解除してください。

素材管理ウィンドウ－テロップパネル

素材管理ウィンドウは、このシステムで扱う 4 種類の素材とプレイリストを管理するためのものです。
テロップパネルには、登録されているテロップ素材の一覧が表示されます。

PC 内のファイル管理および NSP-100 のリモート制御オプションボタン、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックス、情報更新ボタン
操作を行うテロップ素材が保存されている場所を選択します。通常は、PC 内のファイル管理オプションボタンを選択します。
ネットワークプレーヤー上の素材を確認したり削除したりする場合は、NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択します。この場合は、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックスで制御するネットワークプレーヤーを選択します。情報更新ボタンは、選択されているネットワークプレーヤーの素材情報を更新するために使用します。

リスト
選択した場所にあるテロップ素材のデータが表示されます。文字数が表示されていないものは、文字ではなく画像をテロップとして使用する「ビットマップテロップ」です。表示時間は、そのテロップを表示するのに必要な最小の概算時間(常時、点滅では 2 秒)を示しています。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。(新規に作成された素材は最後に表示されます)
データの分類やタイトルを変更するには、変更したい部分をダブルクリックして修正し、Enter キーを押します。編集や削除、削除日の設定、解除を行う場合は、素材を右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

ヒント
分類やタイトルがリストの幅より長く、全体が見えない場合は、マウスポインターをコード、分類、タイトルのいずれかの項目に移動してください。文字列全体がポップアップ表示されます。

新規作成ボタン
新しい文字テロップを作成するために、テロップ編集ダイアログボックスを表示します。

ビットマップ読み込みボタン
新しいビットマップテロップを作成するために、ビットマップファイルを選択するダイアログボックスを表示します。

ヒント
次の条件に当てはまるファイル名を持つビットマップファイルは、ファイル名と同じ素材コードの素材に変換されます。すでに同じ素材コードの素材が存在する場合には上書きします。

- ファイル名(拡張子を除く)が 8 文字で、拡張子が bmp
- 先頭の文字が T
- 3 文字目から 8 文字目まで(6 桁)が数字

送信グループドロップダウンリストボックスと送信、中止ボタン
ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択した素材を送信します。中止ボタンは、送信を中止するために使用します。

緊急セクション(再生、停止ボタン)
PC 内のファイル管理オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択した素材を送信し、送信が終わり次第再生を行います。
NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーを指定して、そのネットワークプレーヤー上にある素材の再生を行うことができます。
いずれの場合も、再生、停止ボタンで、ネットワークプレーヤー上の再生を制御します。

ご注意
緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で他の再生が行われていても、選択した素材を割り込み再生する

ものです。選択したテロップを再生中の素材にオーバーレイ表示したり、再生中のテロップがあれば、そのテロップの代わりに選択したテロップを表示します。
また、緊急再生中は、再生日時が指定されているプレイリストの再生時刻になっても再生が開始されません。緊急再生を行う場合は、NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認し、終了後は、必ず停止ボタンをクリックして緊急再生状態を解除してください。

素材管理ウィンドウー制御パネル

素材管理ウィンドウは、このシステムで扱う 4 種類の素材とプレイリストを管理するためのものです。
制御パネルには、ネットワークプレーヤーに接続されているプラズマディスプレイやその他の外部機器を制御するためのコマンド、およびネットワークプレーヤー自体を制御するためのコマンドの一覧が表示されます。
外部機器に対する制御コマンドは、プレイリストに組み込み、素材の送出に合わせて機器を制御することができます。
また、ネットワークプレーヤーのグループを指定して、制御コマンドの緊急再生を行うことで、外部機器やネットワークプレーヤーを制御することができます。

リスト
外部機器またはネットワークプレーヤーの制御コマンドのデータが表示されます。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。(新規に作成された制御コマンドは最後に表示されます)
データの分類やタイトルを変更するには、変更したい部分をダブルクリックして修正し、Enter キーを押します。編集や削除を行う場合は、素材を右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。
BZNP-100 には、ネットワークプレーヤーの音量を調整するための制御コマンドが、あらかじめ用意されています。この制御コマンドはプレイリストには組み込めません。送信グループドロップダウンリストボックスで送信先のグループを選択し、緊急セクションの再生ボタンをクリックすることで、ネットワークプレーヤーを選択した制御コマンドに応じた音量にすることができます。

コマンド名	機能
D0NspAlH	オーディオレベル 高
D0NspAlM	オーディオレベル 中
D0NspAlL	オーディオレベル 低
D0NspAl0	消音 (ミューティング)

ヒント
分類やタイトルがリストの幅より長く、全体が見えない場合は、マウスポインターをコード、分類、タイトルのいずれかの項目に移動してください。文字列全体がポップアップ表示されます。

新規作成ボタン
新しい制御コマンドを作成するために、制御(外部機器/NSP-100)設定ダイアログボックスを表示します。
制御コマンドは、50 個まで登録することができます。

送信グループドロップダウンリストボックス
選択した制御コマンドを送信するために、ネットワークプレーヤーのグループを指定します。

緊急セクション(再生ボタン)
送信グループドロップダウンリストボックスで選択されているネットワークプレーヤーのグループに、選択されている制御コマンドを送信し、制御を行います。

ご注意
緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で再生が行われていても、選択した制御コマンドで外部機器またはネットワークプレーヤーを割り込み制御するものです。NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認してから、制御コマンドを送信してください。

素材管理ウィンドウープレイリストパネル

素材管理ウィンドウは、このシステムで扱う 4 種類の素材とプレイリストを管理するためのものです。
プレイリストパネルには、登録されているプレイリストの一覧が表示されます。

ご注意

PC 内のプレイリストは送信先のネットワークプレーヤーのグループごとに別々に管理されます。このため、送信グループドロップダウンリストボックスで別のグループを選択すると、リストに表示されるプレイリストが異なるものになります。

PC 内のファイル管理および NSP-100 のリモート制御オプションボタン、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックス、情報更新ボタン

操作を行うプレイリストが保存されている場所を選択します。通常は、PC 内のファイル管理オプションボタンを選択します。
ネットワークプレーヤー上のプレイリストを確認したり削除したりする場合は、NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択します。この場合は、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックスで制御するネットワークプレーヤーを選択します。情報更新ボタンは、選択されているネットワークプレーヤーの情報を更新するために使用します。

リスト、NSP-100 リスト順ボタン

リストには、選択した場所にあるプレイリストのデータが表示されます。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます(新規に作成されたプレイリストは最後に表示されます)。上部で説明した NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されているときは、NSP-100 リスト順ボタンをクリックすると、NSP-100 で表示される順番にデータを並べ替えることができます。
PC 内のファイル管理オプションボタンを選択しているときは、送信グループドロップダウンリストボックスで選択されているネットワークプレーヤーのグループ用のプレイリストだけが表示されます。
表示に使用されている文字色の意味は次のとおりです。

文字色	意味	備考
黒	通常のプレイリスト	
青	プレイリスト・モジュール	PC 内のファイル管理オプションボタンが選択されている場合のみ表示されます。他のプレイリストに組み込むための部品なので、スケジュール・アプリケーションであっても、開始日時、終了日時、削除日のデータがありません。
紫	インポートされたプレイリスト・モジュール	ソニーのオーサリングソフトウェア BZNP-A1 で作成されたプレイリスト・モジュールです。内容を変更することはできません。
黄緑	電源オンスタートプレイリスト	ネットワークプレーヤーの電源がオンになると自動的にスタートするプレイリスト
緑	ワンタッチスタートプレイリスト	待機画面表示中にネットワークプレーヤーのリモコンの再生ボタンを押すとスタートするプレイリスト

データの分類やタイトルを変更するには、変更したい部分をダブルクリックして修正し、Enter キーを押します。
その他の項目の編集や削除、削除日の設定、解除(削除日に関する操作はプレゼンテーション・アプリケーションの場合のみ)、プレイリストの内容の確認を行う場合は、プレイリストを右クリックして、表示されるメニューからコマンドを選択してください。

ヒント

分類やタイトルがリストの幅より長く、全体が見えない場合は、マウスポインターをコード、分類、タイトルのいずれかの項目に移動してください。文字列全体がポップアップ表示されます。

新規作成ボタン

新しいプレイリストを作成するために、プレイリスト編集ウィンドウを表示します。

新規作成(モジュール単位)ボタン

プレイリスト・モジュールを組み合わせて新しいプレイリストを作成するために、プレイリスト編集(モジュール単位)ウィ

ンドウを表示します。

送信グループドロップダウンリストボックスと送信、中止ボタン
PC 上にある選択したプレイリストと必要な素材を、ネットワークプレーヤーのグループに送信します。中止ボタンは、送信を中止するために使用します。

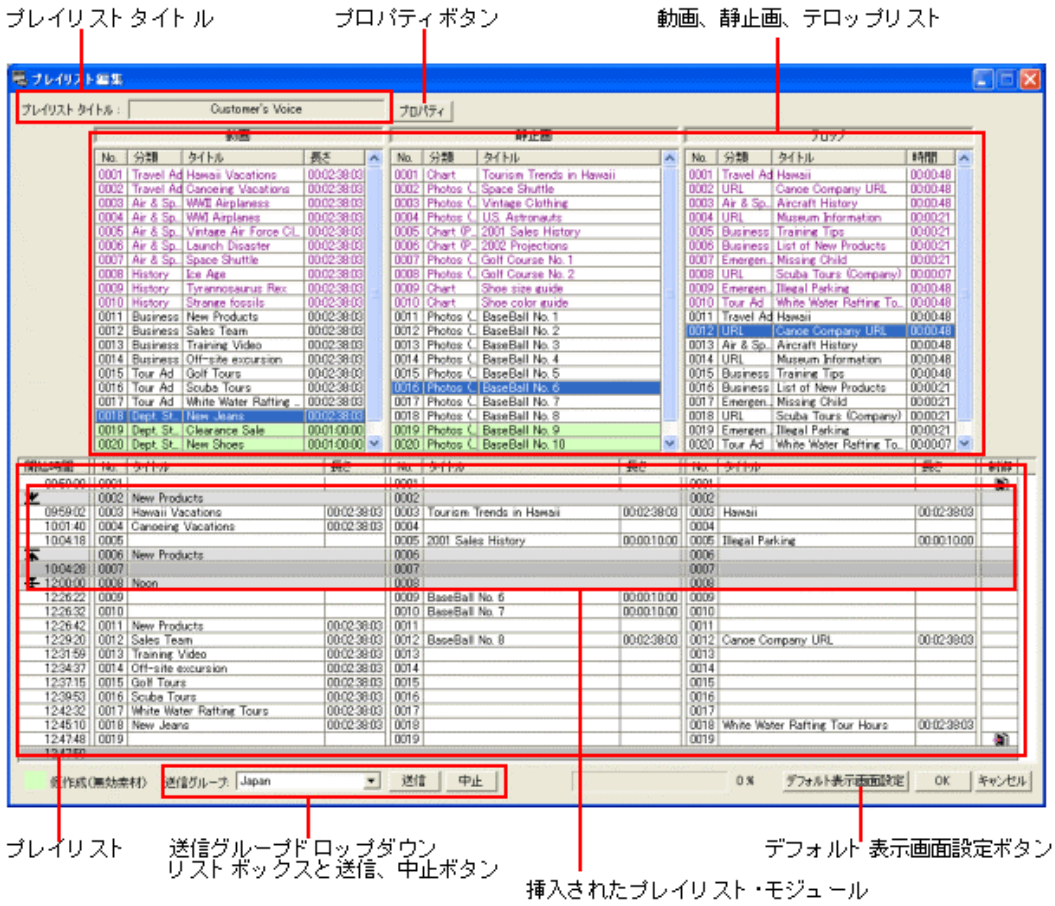
緊急セクション(再生、停止ボタン)
PC 内のファイル管理オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーのグループを指定して、PC 上にある選択したプレイリストと必要な素材を送信し、送信が終わり次第再生を行います。
NSP-100 のリモート制御オプションボタンが選択されている場合は、ネットワークプレーヤーを指定して、そのネットワークプレーヤー上にあるプレイリストの再生を行うことができます。
いずれの場合も、再生、停止ボタンで、ネットワークプレーヤー上の再生を制御します。
また、この停止ボタンは、緊急再生以外のプレイリスト再生を停止することもできます。

ご注意
緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で他の再生が行われていても、選択したプレイリストを割り込み再生するものです。再生中の素材やプレイリストを強制的に停止して、選択したプレイリストを再生します。
また、緊急再生中は、再生日時が指定されているプレイリストの再生時刻になっても再生が開始されません。緊急再生を行う場合は、NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認し、終了後は、必ず停止ボタンをクリックして緊急再生状態を解除してください。

プレイリスト編集ウィンドウ

プレイリスト編集ウィンドウでは、登録されている動画、静止画、テロップの素材を組み合わせて、「プレイリスト」および「プレイリスト・モジュール」を作成できます。また、外部機器の制御コマンドをプレイリストやプレイリスト・モジュールに組み込むことができます。
ネットワークプレーヤーでは、ここで作成されたプレイリストに従って送出が行われます。
プレイリスト編集ウィンドウの上半分は素材の一覧です。ここから素材を選択して、下半分のプレイリストに並べます。

ヒント
素材やイベントのタイトルがリストの幅より長い場合は、マウスポインターをコード、分類、タイトルのいずれかの欄に移動してください。文字列全体がポップアップ表示されます。



プレイリストタイトル
表示中のプレイリストのタイトルを表示します。タイトルを変更する場合は、プロパティボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスで行います。

プロパティボタン
プレイリストの分類やタイトル、送出を繰り返すかどうかなど、詳細情報を指定するためのプロパティダイアログボックスを表示します。
スケジュール・アプリケーションでは、プロパティダイアログボックスで、自動送出のための期間も設定できます。

動画、静止画、テロップリスト
素材管理ウィンドウと同様に、登録されているそれぞれの素材データ(通し番号と分類、タイトル)が表示されます。(仮作成の素材は最後に表示されます)
動画には長さ、テロップには表示に必要な最低の時間も表示されます。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。
ここからプレイリスト欄にデータをドラッグ&ドロップして、プレイリストを作成できます。他のウィンドウと同様に、緑色の背景色は、素材がまだ用意できていない(変換されていない)ことを意味しています。
素材管理ウィンドウと同様に、ここで素材を右クリックして、プレビューなど、メニューに表示される機能を実行することができます。

プレイリスト
送出イベントとして送出順に素材を並べた「プレイリスト」が、素材の種類別に表示されます。また、開始時間の欄に、個々のイベントの開始時刻が表示されます。同じ番号(No.)が割り当てられているイベントは、同時に送出開始となります。グレーの行はブレイク(どの素材も送出されない時間)です。
上部の動画／静止画／テロップリストから素材をドラッグ&ドロップすると、ドロップされた場所にイベントが追加／挿入されますが、テロップ素材だけを送出するイベントは作成できません。テロップ素材は、動画または静止画が指定されているイベントの欄にだけ指定できます。

ヒント
何らかの理由でテロップ素材だけが送出されるようなイベントが作成された場合、そのイベントは赤字で表示されます。赤字のイベントを含むプレイリストは保存、登録できませんので、テロップは常に動画または静止画と共に送出されるようにプレイリストを修正してください。

プレイリストの右端には制御欄があり、この欄を右クリックして外部機器の制御コマンドをイベントに組み込むことができます。制御コマンドを組み込むと、制御コマンドの内容にかかわらず、この欄に外部機器の制御マーク( )が表示されます。

イベントを右クリックするとメニューが表示され、イベントの削除や表示位置の設定など、メニューに表示される機能を実行できます。

ご注意
NTSC の映像信号は、29.97 フレーム/秒ですが、BZNP-100 では長さを 30 フレーム/秒で扱っています(ノンドロップフレーム方式)。このため実際に再生される時間は、表示されている個々のイベントの「長さ」よりも長くなることがあります。この誤差は、1 分間で約 2 フレーム、1 時間で約 108 フレーム（約 3.3 秒）となります。
プレイリスト編集ウィンドウの開始時間欄は、この誤差を考慮していますが、1 秒未満の誤差が残ります。

挿入されたプレイリスト・モジュール
「プレイリスト・モジュール」(組み込み用のプレイリスト)を挿入した場合には、挿入されたモジュールは、閉じた矢印( )のついた薄いグレーのコメント行で表示されます。この矢印のマークをダブルクリックすると、モジュールが展開されて、含まれているイベントが開始時間欄に矢印マークの付いた薄いグレーの上( )下()のコメント行にはさまれて表示されます。
展開表示されているプレイリスト･モジュールは、上のコメント行の矢印マークをダブルクリックすると、再び折りたたまれて一行の表示となります。

送信グループドロップダウンリストボックスと送信、中止ボタン
ネットワークプレーヤーのグループを指定して、プレイリストと必要となる素材を送信します。中止ボタンは、送信を中止するために使用します。

デフォルト表示画面設定ボタン
動画およびテロップのデフォルト(初期状態)の画面上での配置を指定する表示画面設定ダイアログボックスを表示します。
イベントごとに指定する場合は、指定したいイベントを右クリックして、[表示位置設定]をクリックしてください。

プレイリスト編集（モジュール単位）ウィンドウ

プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでは、すでに作成した「プレイリスト・モジュール」を組み合わせて、「プレイリスト」を作成できます。
このウィンドウの左半分はプレイリスト・モジュールの一覧で、ここからモジュールを選択して、右半分のプレイリストに並べます。

ヒント

モジュール単位の編集は、すでにある番組を組み合わせて毎日のプレイリストを作成するような運用時に便利ですが、動画、静止画、テロップのイベントを挿入することはできません。個々の素材をプレイリストに挿入する必要がある場合は、通常のプレイリスト編集ウィンドウで編集を行ってください。

プレイリストタイトル
表示中のプレイリストのタイトルを表示します。タイトルを変更する場合は、プロパティボタンをクリックして、プロパティダイアログボックスで行います。

プロパティボタン
プレイリストの分類やタイトル、送出を繰り返すかどうかなど、詳細情報を指定するためのプロパティダイアログボックスを表示します。
スケジュール・アプリケーションでは、プロパティダイアログボックスで、自動送出のための期間も設定できます。

プレイリスト・モジュール一覧
登録されているプレイリスト・モジュールのデータ(通し番号とコード、分類、タイトル、および長さと含まれているイベント数)が表示されます。
ここからプレイリスト欄にデータをドラッグ＆ドロップして、プレイリストを作成できます。
素材管理ウィンドウと同様に、ここでモジュールを右クリックして、内容の表示など、メニューに表示される機能を実

行することができます。

プレイリスト
送出順にプレイリスト・モジュールと外部機器の制御イベントを並べたプレイリストが表示されます。また、開始時間の欄に個々のモジュールの開始時刻が、イベント数の欄にプレイリストの先頭からのトータルのイベント数が表示されます。グレーの行はブレイク(どの素材も送出されない時間)です。
左側のプレイリスト・モジュール一覧からモジュールをドラッグ&ドロップすると、そのモジュールの中のすべてのイベントがドロップされた場所に追加／挿入されます。
ネットワークプレーヤーに接続されているプラズマディスプレイなどを制御するための制御コマンドを組み込む場合は、プレイリスト・モジュールと同じように一行のイベントとしてリストに追加します。組み込む場所のすぐ下の行を右クリックして、表示される[制御(外部機器)の挿入]のサブメニューで希望の制御を選択してください。

ご注意

- NTSC の映像信号は、29.97 フレーム/秒ですが、BZNP-100 では長さを 30 フレーム/秒で扱っています(ノンドロップフレーム方式)。このため実際に再生される時間は、表示されている個々のイベントの「長さ」よりも長くなることがあります。この誤差は、1 分間で約 2 フレーム、1 時間で約 108 フレーム（約 3.3 秒）となります。
  プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウの開始時間欄は、この誤差を考慮していますが、1 秒未満の誤差が残ります。
- プレイリストのイベント数の欄には、プレイリストの先頭からのトータルのイベント数が表示されます。ただし、プレイリスト・モジュールをプレイリストに追加すると、個々のプレイリスト・モジュールの先頭と最後に 1 イベント分のデータ(コメント行)が入るため、プレイリスト側のイベント数は「実際のイベント数＋2」ずつ増えます。

送信グループドロップダウンリストボックスと送信、中止ボタン
ネットワークプレーヤーのグループを指定して、プレイリストと各モジュールで必要となる素材を送信します。中止ボタンは、送信を中止するために使用します。

日常の操作

素材の準備

動画素材を準備する

ネットワークプレーヤーで動画を再生するには、動画の素材とタイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。ネットワークプレーヤーは、NSP フォーマットの動画を再生します。このため、送信の前に、AVI、MPEG2 フォーマット、またはソニーの VSR-2000/2000A で作成した動画ファイルを、NSP フォーマットに変換する必要があります。

ご注意

- 使用できる AVI ファイルは、Adobe Premiere などで作成するか、このソフトウェアでカメラや VTR からキャプチャーしたファイルで、長さが 5 秒以上 150 分以下のものです。オーディオなしの AVI ファイルは使用できませんのでご注意ください。
  Premiere を使用して、このシステムで使用する AVI ファイルを作成するには、タイムラインをムービーとして書き出す際に、オーディオの設定画面で、「インタリーブ」の項目を必ず「1フレーム」に設定してください。
  動画のキャプチャーについて詳しくは、「映像をキャプチャーして AVI ファイルを作成する」をご覧ください。
  MPEG2(PS)、VSR-2000/2000A など、その他の動画ファイルの使用にも制限があります。ご不明な点があれば、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。
- CD-R や DVD-R などに記録されている動画を変換する場合、CD-R、DVD-R のドライブから直接変換しようとすると、読み出しが間に合わずにエラーとなる場合があります。そのようなときは、ハードディスクに動画ファイルをコピーして、そこから変換を行ってください。

ヒント

動画ファイルが用意できる前にプレイリストを作成したい場合などの操作については、「素材情報を入力しておいて、動画ファイルができたら変換を行う」方法もあります。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. 動画パネルを選択して、[素材変換]をクリックします。
   素材変換ウィンドウが表示されます。
3. 必要な場合は、[フォルダの参照]をクリックして、AVI など変換する動画ファイルが保存されているフォルダを選択します。
4. 必要な場合は、[変換パラメータ]をクリックして、プロテクトした NSP フォーマットの素材を作成するかどうかと、AVI ファイルからの場合はビデオレートおよびオーディオのフィルターの設定を変更し、[OK]をクリックします。
   ファイルサイズの設定は、通常は変更する必要はありません。設定について詳しくは、変換パラメータダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
5. ウィンドウ上部の動画ファイルのリストから、変換するものをクリックして選択します。
   複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のファイルをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のファイルを順番にクリックします。
6. [開始]をクリックします。
   選択した動画ファイルの変換が開始します。変換が終了した素材は、下のリストに水色の背景色で表示されます。また、素材管理ウィンドウにも表示されます。

特定の素材コードの動画素材を差し替えるには

ネットワークプレーヤーに送信済みのプレイリストを変更せずに、特定の素材コードの素材を差し替えることができます。コンテンツの一部分を定期的に差し替えたい場合などに便利です。

次の項目にご注意の上、上記の変換の操作を行ってください。

- 元の素材と同じ長さの素材をご用意ください。長さが違うと、プレイリストの再生に影響が出る場合があります。
- 変換元の動画のファイル名は、差し替える素材のコードと同じにしておいてください。
  例えば、M0000001 という素材を他の AVI ファイルに差し替える場合は、動画キャプチャー後に Windows のエクスプローラなどで、ファイル名を M0000001.avi にしておきます。
- プレイリストの送出開始 15 秒前には差し替える素材の転送が完了しているよう、時間の余裕を持って作業を行ってください。

分類およびタイトル、動画の長さを入力、変更するには

素材管理ウィンドウで、希望の素材の分類欄、タイトル欄または長さ欄(仮作成状態のときのみ可能)をダブルクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

自動削除日の指定を行うには

素材管理ウィンドウで、希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

素材情報を入力しておいて、動画ファイルができたら変換を行う（動画素材の準備）

ネットワークプレーヤーで動画を再生するには、動画の素材とタイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。ネットワークプレーヤーは、NSP フォーマットの動画を再生します。このため、送信の前に、AVI、MPEG2 フォーマット、またはソニーの VSR-2000/2000A で作成した動画ファイルを、NSP フォーマットに変換する必要があります。

ご注意

- 使用できる AVI ファイルは、Adobe Premiere などで作成するか、このソフトウェアでカメラや VTR からキャプチャーしたファイルで、長さが 5 秒以上 150 分以下のものです。オーディオなしの AVI ファイルは使用できませんのでご注意ください。
  Premiere を使用して、このシステムで使用する AVI ファイルを作成するには、タイムラインをムービーとして書き出す際に、オーディオの設定画面で、「インタリーブ」の項目を必ず「1フレーム」に設定してください。
  動画のキャプチャーについて詳しくは、「映像をキャプチャーして AVI ファイルを作成する」をご覧ください。
  MPEG2(PS)、VSR-2000/2000A など、その他の動画ファイルの使用にも制限があります。ご不明な点があれば、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。
- CD-R や DVD-R などに記録されている動画を変換する場合、CD-R、DVD-R のドライブから直接変換しようとすると、読み出しが間に合わずにエラーとなる場合があります。そのようなときは、ハードディスクに動画ファイルをコピーして、そこから変換を行ってください。

動画ファイルが用意できる前にプレイリストを作成したい場合など、先に素材情報だけを入力しておき、動画ファイルの用意ができてから、すでにある素材情報に割り当てて素材を変換することができます。

ヒント

素材情報の入力と同時に動画ファイルの変換を行う方法もあります。「動画素材を準備する」をご覧ください。

素材情報の入力

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. 動画パネルを選択して、[仮作成]をクリックします。
   新しい空の行がリストの最後に追加されます。緑色の背景色は、この素材に対応する実際の動画が準備できていないことを示しています。
3. 追加した素材の分類、タイトル、削除日に関する指定を行います。
   詳しい方法については、下部の説明をご覧ください。

4 手順 2 と 3 を必要なだけ繰り返します。
この状態で、この素材を使用してプレイリストを作成することができます。

ファイル変換

1 動画ファイルの準備ができたら、素材管理ウィンドウで[素材変換]をクリックして素材変換ウィンドウを表示させます。

2 必要な場合は、[フォルダの参照]をクリックして、AVI など変換する動画ファイルが保存されているフォルダを選択します。

3 必要な場合は、[変換パラメータ]をクリックして、プロテクトした NSP フォーマットの素材を作成するかどうかと、AVI ファイルからの場合はビデオレートおよびオーディオのフィルターの設定を変更し、[OK]をクリックします。
ファイルサイズの設定は、通常は変更する必要はありません。設定について詳しくは、変換パラメータダイアログボックスのヘルプをご覧ください。

4 ウィンドウ上部の動画ファイルのリストから、変換するものを選択し、下部の素材のリスト上の対応する素材データにドラッグ&ドロップします。
選択した動画ファイルの変換が開始します。変換が終了した素材は、背景色が水色になります。

5 手順 4 を必要なすべての素材に対して繰り返します。

分類およびタイトル、動画の長さを入力、変更するには
素材管理ウィンドウで、希望の素材の分類欄、タイトル欄または長さ欄(仮作成状態のときのみ可能)をダブルクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

自動削除日の指定を行うには
素材管理ウィンドウで、希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

映像をキャプチャーして AVI ファイルを作成する（動画素材の準備）

ネットワークプレーヤーで動画を再生するには、動画の素材とタイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。ネットワークプレーヤーは、NSP フォーマットの動画を再生するので、ビデオ機器映像を使用する場合には、i.LINK(IEEE1394)ケーブルで PC に接続したビデオ機器から動画をキャプチャーして AVI ファイルを作成し、その AVI ファイルを NSP フォーマットに変換するという準備が必要です。

ご注意

- i.LINK(IEEE1394)ケーブルで PC に接続したカメラ(カムコーダー)または VTR をお使いください。
使用できるビデオ機器については、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」に記載されている窓口にお問い合わせください。その他のビデオ機器でも使用できる場合がありますが、機器によっては、キューアップやシャトル制御など一部の機能がお使いになれない可能性があります。
2 台以上のビデオ機器を同時に接続することはできませんので、ご注意ください。
- 動画キャプチャー中の画像と音声は同期しません。また PC のスピーカーなどからノイズが発生する場合もありますが、作成される AVI ファイルには影響はありません。
- PC の動作環境によっては、キャプチャーした動画ファイルにフレーム落ちが発生する可能性があります。
また、キャプチャーされた動画のイン点、アウト点には、それぞれ 2 フレーム以内の誤差が生じる可能性があります。

1 ビデオ機器の電源が入っていない場合は、電源を ON にして、希望のテープを挿入します。

2 メインメニュー以外のウィンドウやダイアログボックスを閉じます。

3 メインメニューで[動画キャプチャ]をクリックします。
キャプチャウィンドウが表示されます。

4 [フォルダ]をクリックして、AVI ファイルを保存するフォルダを選択します。

5 キャプチャウィンドウに表示されている VTR 制御ボタンなどを操作して、動画素材として使用する部分の先頭を頭出しし、[イン点]をクリックします。
イン点のタイムコードが表示されます。
DVCAM フォーマットで録画されているテープの場合は、イン点のタイムコードを直接テキストボックスに入力することもできます。この場合、横にあるキューアップ( )ボタンをクリックして入力したタイムコードにキューアップさせ、[イン点]をクリックします。

6 同様に動画素材の最後を頭出しして、[アウト点]をクリックします。
アウト点のタイムコードと、イン点とアウト点のタイムコードからノンドロップフレームモードで計算した素材の長さが表示されます。
DVCAM フォーマットで録画されているテープの場合は、アウト点のタイムコードを直接テキストボックスに入力し、キューアップして、[アウト点]をクリックすることもできます。

ご注意
BZNP-100 で使用できる AVI ファイルは、長さが 5 秒以上 150 分以下のものです。キャプチャー中の AVI ファイルの長さが 150 分を超えると、キャプチャーが自動的に停止します。

7 [録画]をクリックします。
自動的にイン点まで戻り、キャプチャーがスタートします。キャプチャウィンドウでキャプチャー中の動画が確認できます。アウト点までのキャプチャーが終了すると、VTR は自動的に停止します。

8 キャプチャーを続ける場合は、手順 5 に戻ります。
キャプチャーを終了して、作成した AVI ファイルを NSP フォーマットに変換するには、「動画素材を準備する」、または「素材情報を入力しておいて、動画ファイルができたら変換を行う」の説明をご覧ください。

キャプチャーを途中で終了するには
[停止]をクリックします。
キャプチャーはただちに終了します。アウト点と AVI ファイルの長さのデータは、実際に作成された AVI ファイルに合わせて自動的に変更されます。
キャプチャーをやり直す場合など、作成された AVI ファイルが不要な場合は、そのファイルを破棄してください。

イン点、アウト点を指定せずにキャプチャーを行うには(ライブ録画)
手順 3 を行った後、必要な場合は動画素材として使用する部分の先頭を頭出しし、[ライブ録画]をクリックします。
ただちにキャプチャーが始まり、[停止]をクリックするまで続きます。
AVI ファイルのイン点、アウト点は、それぞれ[ライブ録画]と[停止]をクリックした時刻となります。
この方法で、カメラからの録画を行うのと同じ感覚で AVI ファイルを作成できます。

AVI ファイルのファイル名および保存するフォルダ
作成する AVI ファイルには、自動的に「A0000001」から始まる A＋7 桁の連続した番号のファイル名が割り当てられます。ファイルの拡張子は avi となります。
ファイルを保存するフォルダは、キャプチャウィンドウの[フォルダ]をクリックして変更することができますが、フォルダを変更してもファイル名の番号には影響はありません。A0000165.avi を作成したあとに保存フォルダを変更しても、次に作成されるのは A0000166.avi です。

ご注意
AVI ファイルを保存するフォルダがあるドライブの残容量が 500M バイト以下になると、キャプチャーが中止されますので、ディスクの残容量にご注意ください。

静止画素材を準備する

ネットワークプレーヤーで静止画を表示するには、静止画の素材とタイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。ネットワークプレーヤーは、NSP フォーマットの静止画を再生します。このため、送信の前に、ビットマップなどの静止画ファイルを、NSP フォーマットに変換する必要があります。

ご注意

このシステムで取り扱う静止画ファイルは、Windows ビットマップ形式で、24 ビット RGB、8 ビット Index(256 色)、4 ビット Index(16 色)および 1 ビット Index(2 色)、ファイルの拡張子が bmp のものです。
また、拡張子が jpg の JPEG フォーマットにも対応しています。
最小サイズは、320 ピクセル(幅) X 240 ピクセル(高)、最大サイズは、NTSC：720 ピクセル(幅) X 480 ピクセル(高)、PAL：720 ピクセル(幅) X 576 ピクセル(高)です。
詳しくは、「静止画素材に使用できるファイル」をご覧ください。

ヒント

静止画ファイルが用意できる前にプレイリストを作成したい場合などの操作については、「素材情報を入力しておいて、ビットマップファイルができたら変換を行う」をご覧ください。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. 静止画パネルを選択して、[素材変換]をクリックします。
   素材変換ウィンドウが表示されます。
3. 必要な場合は、[フォルダの参照]をクリックして、変換するビットマップファイルが保存されているフォルダを選択します。
4. ウィンドウ上部の静止画ファイルのリストから、変換するものをクリックして選択します。
   複数のファイルを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のファイルをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のファイルを順番にクリックします。
5. [開始]をクリックします。
   選択した静止画ファイルの変換が開始します。変換が終了した素材は、下のリストに水色の背景色で表示されます。また、素材管理ウィンドウにも表示されます。

特定の素材コードの静止画素材を差し替えるには

ネットワークプレーヤーに送信済みのプレイリストを変更せずに、特定の素材コードの素材を差し替えることができます。コンテンツの一部分を定期的に差し替えたい場合などに便利です。
次の項目にご注意の上、上記の変換の操作を行ってください。

- 変換元の静止画のファイル名は、差し替える素材のコードと同じにしておいてください。
  例えば、S0000001 という素材を他の bmp ファイルに差し替える場合は、Windows のエクスプローラなどで、ファイル名を S0000001.bmp にしておきます。
- プレイリストの送出開始 15 秒前には差し替える素材の転送が完了しているよう、時間の余裕を持って作業を行ってください。

分類およびタイトルを入力、変更するには

素材管理ウィンドウで、希望の素材の分類欄またはタイトル欄をダブルクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

自動削除日の指定を行うには

素材管理ウィンドウで、希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

素材情報を入力しておいて、ビットマップファイルができたら変換を行う（静止画素材の準備）

ネットワークプレーヤーで静止画を表示するには、静止画の素材とタイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。ネットワークプレーヤーは、NSP フォーマットの静止画を再生します。このため、送信の前に、ビットマップなどの静止画ファイルを、NSP フォーマットに変換する必要があります。
静止画ファイルが用意できる前にプレイリストを作成したい場合など、先に素材情報だけを入力しておき、ファイルの用意ができてから、すでにある素材情報に割り当てて素材を変換することができます。

ご注意

このシステムで取り扱う静止画ファイルは、Windows ビットマップ形式で、24 ビット RGB、8 ビット Index(256 色)、4 ビット Index(16 色)および 1 ビット Index(2 色)、ファイルの拡張子が bmp のものです。
また、拡張子が jpg の JPEG フォーマットにも対応しています。
最小サイズは、320 ピクセル(幅) X 240 ピクセル(高)、最大サイズは、NTSC：720 ピクセル(幅) X 480 ピクセル(高)、PAL：720 ピクセル(幅) X 576 ピクセル(高)です。
詳しくは、「静止画素材に使用できるファイル」をご覧ください。

ヒント

素材情報の入力と同時に静止画ファイルの変換を行う方法もあります。「静止画素材を準備する」をご覧ください。

素材情報の入力

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. 静止画パネルを選択して、[仮作成]をクリックします。
   新しい空の行がリストの最後に追加されます。緑色の背景色は、この素材に対応する実際の静止画が準備できていないことを示しています。
3. 追加した素材の分類、タイトル、削除日に関する指定を行います。
   詳しい手順については、下部の説明をご覧ください。
4. 手順 2 と 3 を必要なだけ繰り返します。
   この状態で、この素材を使用してプレイリストを作成することができます。

ファイル変換

1. 静止画ファイルの準備ができたら、素材管理ウィンドウで[素材変換]をクリックして素材変換ウィンドウを表示させます。
2. 必要な場合は、[フォルダの参照]をクリックして、変換する静止画のファイルが保存されているフォルダを選択します。
3. ウィンドウ上部の静止画ファイルのリストから、変換するものを選択し、下部の素材のリスト上の対応する素材データにドラッグ&ドロップします。
   選択した静止画ファイルの変換が行われます。変換が終了した素材は、背景色が水色になります。
4. 手順 3 を必要なすべての素材に対して繰り返します。

分類およびタイトルを入力、変更するには

素材管理ウィンドウで、希望の素材の分類欄またはタイトル欄をダブルクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

自動削除日の指定を行うには

素材管理ウィンドウで、希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

静止画素材に使用できるファイル

ネットワークプレーヤーで静止画を表示するには、静止画の素材とタイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。ネットワークプレーヤーは、NSP フォーマットの静止画を再生します。このため、送信の前に、ビットマップなどの静止画ファイルを、NSP フォーマットに変換する必要があります。
このシステムで取り扱う静止画ファイルは、次の条件に当てはまるものです。

形式
Windows ビットマップ形式で、24 ビット RGB、8 ビット Index(256 色)、4 ビット Index(16 色)および 1 ビット Index(2 色)、ファイルの拡張子が bmp のもの。
または、拡張子が jpg となっている JPEG フォーマット。

サイズ (W x H)

信号	ディスプレイ	最小(ピクセル)	最大(ピクセル)
NTSC	アンダースキャン(フル)	320 x 240	720 x 480
	オーバースキャン(88%)	320 x 240	630 x 420
PAL	アンダースキャン(フル)	320 x 240	720 x 576
	オーバースキャン(88%)	320 x 240	630 x 504

システムが標準として扱うサイズは、最大サイズである NTSC：720 ピクセル(幅) X 480 ピクセル(高)、PAL：720 ピクセル(幅) X 576 ピクセル(高)で、これより小さなものは、再生時、画面の中央に黒の背景色の上に表示されます。表示範囲全体を完全には表示できず、周囲が欠けてしまうディスプレイもありますので、お使いのディスプレイでご確認の上、適切な大きさのファイルを作成してご使用ください。

Microsoft PowerPoint のスライドを使用する場合のご注意

- Office 2000 の PowerPoint からはフルカラーの JPEG ファイルがエクスポートできますが、bmp ファイルにすると 256 色になってしまいます。フルカラーの静止画を使用するには、JPEG ファイルをエクスポートし、画像変換のソフトウェアを使用して bmp 形式に変換する必要があります。
- このシステムで取り扱える最大の静止画サイズを PowerPoint のページ設定で使用する cm 単位に換算すると、下表のとおりとなります。PowerPoint のバージョンによって異なりますので、ご注意ください。

信号	ディスプレイ	ピクセル数	PowerPoint XP	PowerPoint 2000
NTSC	アンダースキャン(フル)	720 x 480	25.40 x 16.94 (cm)	24.00 x 16.00 (cm)
	オーバースキャン(88%)	630 x 420	22.25 x 14.82	21.00 x 14.00
PAL	アンダースキャン(フル)	720 x 576	25.40 x 20.34	24.00 x 19.20
	オーバースキャン(88%)	630 x 504	22.25 x 17.80	21.00 x 16.80

テロップを準備する－文字テロップ

ネットワークプレーヤーでの再生時、動画や静止画とともにテロップを表示することができます。テロップを表示するには、表示させる文字列と、タイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。

ご注意

テロップおよび素材などのタイトルに使用できる文字は、ASCII コードと JIS X 0208 (第一水準漢字、第二水準漢字)です。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. テロップパネルを選択し、[新規作成]をクリックします。
   テロップ編集ダイアログボックスが表示されます。
3. [詳細設定]をクリックして詳細設定ダイアログボックスを表示させ、各項目を設定して[OK]をクリックします。
   項目の詳細については、詳細設定ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
4. テロップの内容を入力します。
   詳細については、テロップ編集ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
5. [保存]をクリックします。
   新しく作成したテロップのデータが素材管理ウィンドウに表示されます。

テロップの文字色を変えるには

テロップの文字色は、詳細設定ダイアログボックスの[文字色]をクリックして指定しますが、PC にインストールされているフォントを使用する場合は、テロップの一部分を他の色にすることができます。

1. 詳細設定ダイアログボックスのフォント設定セクションで、PC インストールオプションボタンをクリックし、ドロップダウンリストボックスで希望のフォントを選択します。
   また、使用色数オプションボタンで 16 色を選択して、[OK]をクリックします。
2. テロップ編集ダイアログボックスでテロップの内容を入力してから、マウスをドラッグして希望の部分を選択し、右クリックします。
3. 表示されるメニューで[文字色設定]をクリックします。
4. テロップ文字色設定ダイアログボックスの 15 色のパレットから希望の色を選択して、[OK]をクリックします。
   希望の色がパレットにない場合は、不要な色を選択して[色の設定]をクリックし、パレットの色を入れ替えてください。

テロップの文字を太字、斜体、下線付きなどにするには

PC にインストールされているフォントを使用する場合は、テロップの一部分または全部を太字や斜体、下線付きにすることができます。

1. テロップ編集ダイアログボックスでテロップの内容を入力してから、マウスをドラッグして希望の部分を選択し、右クリックします。
2. 表示されるメニューで[フォント属性設定]をクリックし、その横に表示されるメニューで希望の属性をクリックします。
   一度設定した属性を解除する場合は、同じように解除したい属性(チェックマークが付いています)をクリックしてください。

ご注意

ひとつのテロップの中で複数のフォント(種類およびサイズ)を使用することはできません。
NSP-100 が内蔵しているフォントを使用する場合は 1 種類のサイズしかないため、サイズの指定はできません。
また、複数の文字色を使用したり、太字や斜体、下線付きにすることもできません。

スクロールのテロップの内容を編集する際に便利な機能

スクロールタイプのテロップには、次のような編集の機能を使用できます。

- E メールの内容を貼り付けたときに各行末に入る改行を削除する

- 連続してスクロールするテロップを区切るために、一画面分の空白を行末に入れる
- テキストファイルを読み込んだときなどに入ってしまった行末の不要な空白を削除する

いずれの場合も、操作方法は次のとおりです。

1. 該当する部分を選択します。
2. 選択部分を右クリックします。
   メニューが表示されます。
3. 目的に応じて、[改行を削除]、[行末へ一画面分の空白を追加]、[行末の空白を削除]のいずれかをクリックします。

テロップを変更するには

素材管理ウィンドウで、変更したいテロップのデータを右クリックし、メニュー上の[編集]をクリックすると、そのテロップのデータが入ったテロップ編集ダイアログボックスが表示されます。内容などを変更して、[保存]をクリックします。
分類およびタイトルを変更する場合は、素材管理ウィンドウで希望の素材の分類欄またはタイトル欄をダブルクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

自動削除日の指定を行うには

素材管理ウィンドウで、希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

テロップを準備する－ビットマップテロップ

ネットワークプレーヤーでの再生時、動画や静止画とともにテロップを表示することができます。ビットマップファイルをテロップとして登録し、タイトルなどの素材情報を用意して、ネットワークプレーヤーに送信することで、文字の代わりに画像をテロップとして使用することができます。
この機能は、ダウンストリームキー機能の代わりに、番組や会社のロゴマークなどをフルサイズの動画上の定位置に表示させておくのに便利です。
ビットマップテロップとして使用できるのは、次の条件を満たすファイルです。ビットマップの幅については、ディスプレイの横幅(720 ピクセル)に収まる程度の大きさまでであれば、問題なく使用できます。それ以上の幅を持つビットマップは、高さや色数によってはお使いいただけない場合があります。

- Windows ビットマップ形式で、8 ビット Index(256 色)、4 ビット Index(16 色)または 1 ビット Index(2 色)のもの
- 高さが 16 ピクセル以上 100 ピクセル以下

ヒント

ビットマップテロップの場合でも、背景を透過させることができます。ビットマップファイルのインデックスカラーの 0 番が背景色とみなされ、透過色になりますので、ビットマップファイル作成時にご注意ください。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. テロップパネルを選択し、[ビットマップ読み込み]をクリックします。
   ファイルを開くダイアログボックスが表示されます。
3. 使用するビットマップファイルを選択し、[開く]をクリックします。
   選択したビットマップがテロップとして素材管理ウィンドウに追加されます。ビットマップテロップには、字数のデータが表示されません。
4. 追加されたテロップを右クリックし、メニュー上の[編集]をクリックして詳細設定ダイアログボックスを表示させ、各項目を設定して[OK]をクリックします。
   項目の詳細については、詳細設定ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
   ビットマップテロップの場合は、フォント設定セクション、および文字色、背景色は指定しません。

ご注意

一度作成したビットマップテロップを編集する場合、変更できるのは詳細設定ダイアログボックス内の項目のみです。使用するビットマップファイルを変更する場合は、新しいテロップとして作成して、不要なものを削除するか、下記の「特定の素材コードのビットマップテロップ素材を差し替えるには」をご覧ください。

特定の素材コードのビットマップテロップ素材を差し替えるには

ネットワークプレーヤーに送信済みのプレイリストを変更せずに、特定の素材コードの素材を差し替えることができます。コンテンツの一部分を定期的に差し替えたい場合などに便利です。
次の項目にご注意の上、上記の読み込みの操作を行ってください。

- 読み込むビットマップのファイル名は、差し替える素材のコードと同じにしておいてください。
  例えば、T0000001 というビットマップテロップの素材を他の bmp ファイルに差し替える場合は、Windows のエクスプローラなどで、ファイル名を T0000001.bmp にしておきます。
- プレイリストの送出開始 15 秒前には差し替える素材の転送が完了しているよう、時間の余裕を持って作業を行ってください。
- 差し替え後のビットマップテロップの種別、速度、回数などの指定は、最後に設定を行ったビットマップテロップの素材と同じになります。ただし、読み込むビットマップファイルの幅が 720 ピクセル以内かどうかによって、種別が自動的に、表のように設定されます。差し替え後に種別、速度、回数などを確認し、必要な場合は変更してください。

最後に設定したビットマップテロップの種別	読み込むビットマップの幅が 720 ピクセル以内の場合の種別	720 ピクセルより幅広の場合の種別
常時	変更なし(常時)	スクロールになる
点滅	変更なし(点滅)	スクロールになる
スクロールイン	常時になる	変更なし(スクロールイン)
スクロール	常時になる	変更なし(スクロール)

自動削除日の指定を行うには

素材管理ウィンドウで、希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

制御コマンドを準備する

ネットワークプレーヤーでの再生時、プラズマディスプレイの電源の入、切や、入力切替を行ったり、ネットワークプレーヤーの RS-232C コネクターに接続されている機器に GPI(General Purpose Interface)パルスを出力したりするといった、外部機器の制御を行うことができます。
外部機器の制御を行うには、どのような制御を行うかを記録した制御コマンドを用意して、ネットワークプレーヤーに送信します。この制御コマンドは、動画などの素材と同じようにプレイリストに追加して、素材の送出に合わせて外部機器を制御することができます。
また、ネットワークプレーヤー自体を制御するためのコマンドを作成しておき、緊急再生の機能を使用してネットワークプレーヤーを制御することができます。(このコマンドをプレイリストに組み込むことはできません)

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. 制御パネルを選択し、[新規作成]をクリックします。
   制御(外部機器/NSP-100)設定ダイアログボックスが表示されます。
3. 作成する制御コマンドの分類とタイトルを、分類およびタイトルテキストボックスに入力します。
   この分類とタイトルで、制御コマンドを見分けます。
4. ネットワークプレーヤーに接続されているプラズマディスプレイの制御を行う場合は、プラズマディスプレイ制御オプションボタンを、その他の機器の制御を行う場合は、GPI 制御オプションボタンをクリックします。
5. プラズマディスプレイの制御を行う場合は、制御ドロップダウンリストボックスで、希望の制御を選択します。
   その他の機器の制御を行う場合は、出力したいパルスをチェックします。複数のパルスを出力させることができます。
6. [OK]をクリックします。
   新しく作成した制御コマンドのデータが素材管理ウィンドウに表示されます。

ネットワークプレーヤーの制御コマンドを作成するには
上記の手順 4 で NSP-100 制御オプションボタンを選択し、制御テキストボックスにネットワークプレーヤー制御のコマンドを入力して、[OK]をクリックします。

ご注意

- ネットワークプレーヤーに対する制御コマンドは、プレイリストに組み込んで使用することはできません。
- ネットワークプレーヤーの制御コマンドに問題があると、ネットワークプレーヤーが動作しなくなる可能性がありますので、十分ご注意ください。
  制御コマンドについては、ネットワークプレーヤーのプロトコルマニュアルを参照してください。プロトコルマニュアルについては、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。

制御コマンドを変更するには
素材管理ウィンドウで、変更したい制御コマンドのデータを右クリックし、メニュー上の[編集]をクリックすると、その制御コマンドのデータが入った制御(外部機器/NSP-100)設定ダイアログボックスが表示されます。希望の項目を変更して、[OK]をクリックします。
分類およびタイトルを変更する場合は、素材管理ウィンドウで希望の素材の分類欄またはタイトル欄をダブルクリックすると、編集を行えるようになります。入力、編集を行ったら、Enter キーを押します。

プラズマディスプレイの制御内容に対する表示を変更するには
制御(外部機器/NSP-100)設定ダイアログボックスの中で、プラズマディスプレイ制御の制御ドロップダウンリストボックスに表示される制御内容のうち、「電源をオン」、「電源をオフ」以外の項目の表示を変更することができます。
手順 5 で希望の制御を選択すると、表示が反転表示になります。ここで希望の文字列を入力して、[登録]をクリックしてください。
この機能によって、さまざまなプラズマディスプレイの制御内容に表示を合わせることができます。

緊急再生の機能を使用して、外部機器またはネットワークプレーヤーを制御するには

作成したコマンドを使用して、外部機器またはネットワークプレーヤーの制御を行うには、素材管理ウィンドウの制御パネルで制御を行うネットワークプレーヤーのグループを送信グループとして選択し、希望の制御コマンドをクリックしてから、緊急セクションの再生ボタンをクリックします。

緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で再生が行われていても、選択した制御コマンドで外部機器またはネットワークプレーヤーを割り込み制御するものです。NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認してから、制御コマンドを送信してください。

素材を確認する（プレビュー）

動画や静止画など素材の内容は、次の手順で確認できます。
動画または静止画ではプレビューウィンドウに映像または画像が表示されます。動画の場合はプレビューウィンドウ内のスライドバーや再生制御ボタンを使用して、希望の部分を確認することができます。
テロップの場合はテロップ編集ダイアログボックスが表示されます。

ご注意

- このシステムでは、送信の効率を上げるために、NSP フォーマットに変換する際、ひとつの動画素材を複数のファイルに分割する場合があります。このような動画素材では、プレビューできるのは初めの一部分(先頭のファイル)のみとなります。
- MPEG2 の動画プレビューには、MPEG2 ファイルの再生機能を必要とします。ライセンス上の問題のため、このためのソフトウェアは無償提供することができません。MPEG2 再生ソフトウェアを別途ご購入になり、インストールしてください。
  ただし、AVI ファイルは DirectShow の機能で再生することができます。
  VSR-2000/2000A で作成された変換前のファイルは、PC 上で再生することはできません。

NSP フォーマットへの変換時は
素材変換ウィンドウの上部に表示されている変換前の動画または静止画ファイルリストで、希望のファイルを右クリックし、メニュー上の[PC 上でプレビュー]をクリックします。

素材管理ウィンドウ上では
希望の素材を右クリックし、メニュー上の[PC 上でプレビュー](テロップの場合は、[編集])をクリックします。

プレイリスト編集時は
プレイリスト編集ウィンドウの上部に表示されている動画、静止画、テロップの各素材リスト上で希望の素材を右クリックし、メニュー上の[PC 上でプレビュー](テロップの場合は、[表示・編集])をクリックします。

ヒント
ネットワークプレーヤーに接続されたモニターが手元にあれば、そのネットワークプレーヤーのグループに緊急再生を行うことで素材およびプレイリストをプレビューすることができます。

素材やプレイリストを削除する（自動削除機能と手動削除）

ネットワークプレーヤー上に送られたプレイリストや動画と静止画、テロップの素材は、ネットワークプレーヤーの容量が足りなくならないように、指定されている削除日になると自動的に削除されるように設定することができます。また、同じコードで新しいデータが送信されると自動的に置き換わります。

自動削除機能

ネットワークプレーヤーの自動削除機能を使用するためには、次の設定が必要です。

- ネットワークプレーヤーの「システム管理者設定」の「自動削除を使用」の項目を「する」に設定します。
- 素材およびプレイリストに自動削除日を設定します。
  動画、静止画、テロップの各素材およびプレゼンテーション・アプリケーションの場合のプレイリストには、自動削除日を手動で設定します。素材管理ウィンドウで、希望の素材またはプレイリストを右クリックし、メニュー上の[削除日設定]をクリックします。カレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。
  削除日の指定を取り消す場合は、同じように希望の素材を右クリックし、メニュー上の[削除日解除]をクリックします。
  スケジュール・アプリケーションの場合のプレイリストには、送出終了日の翌日が自動削除日に指定されます。これを変更することはできません。
  自動削除を行うように設定されているネットワークプレーヤーは、午前 0 時から、その日が自動削除日に指定されている素材およびプレイリストを検索して、順番に削除を行います。

手動での削除

削除日を設定しなかった素材などを手動で削除することもできます。下記の手順を実行してください。

ヒント

制御コマンドや PC 内に保存されている素材も、この手順で削除することができます。
プレイリストの手動削除については、「既存のプレイリストを編集、削除する」をご覧ください。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして素材管理ウィンドウを表示させ、削除する素材のパネルを選択します。
2. PC 内に保存されている素材を削除する場合は、PC 内のファイル管理オプションボタンをクリックします。
   ネットワークプレーヤー上の素材を削除する場合は、NSP-100 のリモート制御オプションボタンをクリックし、NSP-100 の名称ドロップダウンリストボックスで、どのネットワークプレーヤーから削除するかを指定します。
   指定した場所に保存されている素材の一覧が表示されます。
3. 削除する素材を選択します。
   複数の素材を選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲の素材をまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端の素材を順番にクリックします。
4. 選択した素材を右クリックし、メニュー上の[削除]をクリックします。
   複数の素材を選択している場合は、そのうちのいずれかひとつを右クリックしてください。
   またはキーボードの Delete キーを押します。
   確認のメッセージが表示されます。
5. [はい]をクリックします。

BZNP-A1 で作成した素材とプレイリスト･モジュールを取り込む

ソニーのオーサリングのソフトウェア BZNP-A1 を使用してコンテンツを制作し、ネットワークプレーヤーへの配信用に素材やプレイリスト･モジュールのデータを作成した場合、BZNP-100 でデータを取り込み、そのデータを使用してプレイリストを作成し、ネットワークプレーヤーに送信して送出を行うことができます。このデータ取り込みの作業を「インポート」と呼びます。
システムガイドや BZNP-100 の「操作ガイド(BZNP-A1 で制作したコンテンツをお使いになるかたのために)」も併せてご覧ください。

ご注意

インポート中は、プレイリストの自動送信や、送信時にエラーになったデータの自動再送は行われません。

素材管理フォルダに直接書き込まれた素材とプレイリスト･モジュールをインポートするには

BZNP-A1 で作成した素材やプレイリスト･モジュールのデータが、BZNP-100 の素材管理フォルダに直接書き込まれる場合は、次の手順で書き込まれたデータを素材管理ウィンドウに反映させ、プレイリストの作成に使用できるようにします。

ヒント

BZNP-A1 で作成したデータを BZNP-100 の素材管理フォルダに書き込んだ後に BZNP-100 を起動した場合には、この操作は必要ありません。BZNP-100 は起動時に素材管理フォルダの内容をチェックするため、この操作を行わなくても、書き込まれたデータは素材管理ウィンドウに表示されます。

1. メインメニュー以外のウィンドウやダイアログボックスを閉じます。
2. メインメニューで[素材のインポート]をクリックします。
   素材のインポートダイアログボックスが表示されます。
3. 素材のデータ更新オプションボタンを選択します。
4. [開始]をクリックします。
   素材管理フォルダに書き込まれていたデータがチェックされ、素材管理ウィンドウの各パネルに表示されます。
   BZNP-A1 で作成された素材やプレイリスト･モジュールは紫色の文字で表示されます。この素材やモジュールは、プレイリストの作成、編集に使用できます。内容を確認するには、「プレイリストの内容を確認する」に記載されている手順でプレビューを行ってください。

配信データのパッケージをインポートするには

BZNP-A1 で作成した素材やプレイリスト･モジュールのデータをパッケージとして、CD-R や DVD-R にコピーして受け取った場合は、次の手順でパッケージをインポートして、プレイリストの作成に使用できるようにします。

1. メインメニュー以外のウィンドウやダイアログボックスを閉じます。
2. CD-R または DVD-R をドライブにセットして、メインメニューで[素材のインポート]をクリックします。
   素材のインポートダイアログボックスが表示されます。
3. BZNP-A1 で作成したパッケージをインポートオプションボタンを選択します。
4. CD-R または DVD-R に書き込まれているパッケージデータのフォルダを、素材のインポートダイアログボックスのドロップダウンリストボックスか、[フォルダの参照]をクリックして表示されるダイアログボックスで選択します。
5. [開始]をクリックします。
   指定したフォルダから素材管理フォルダにデータがコピーされ、素材管理ウィンドウの各パネルに表示されます。
   BZNP-A1 で作成された素材やプレイリスト･モジュールは紫色の文字で表示されます。この素材やモジュールは、プレイリストの作成、編集に使用できます。内容を確認するには、「プレイリストの内容を確認する」に記載されている手順でプレビューを行ってください。

ご注意

素材管理ウィンドウに紫色で表示されている素材やプレイリスト･モジュールは、BZNP-100 で内容を編集することはできません。ただし、テロップとプレイリスト・モジュールは、別の素材として保存することができます。

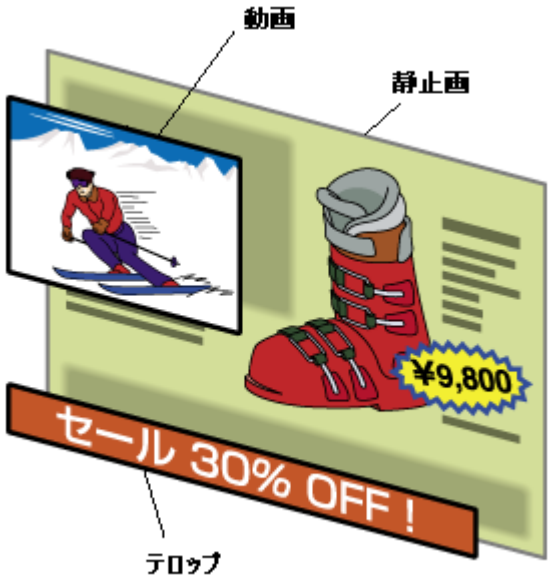
テロップの場合は、通常のテロップのときと同じように編集の操作を行ってください。自動的に別のコードが割り振られ、新たなテロップの素材として登録されます。

プレイリスト・モジュールの場合は、新規のプレイリスト編集ウィンドウを開き、希望のプレイリスト･モジュールをドラッグ＆ドロップの操作で素材管理ウィンドウのプレイリストパネルから移動するか、素材管理ウィンドウでコピーしたプレイリスト・モジュールをプレイリスト編集ウィンドウに貼り付けてください。それから、プレイリスト・モジュールの内容を表示させて、編集を行い、別のプレイリストとして保存します。分類やタイトル、プレイリスト･モジュールにするかどうかなど、プレイリストのプロパティーは指定し直す必要がありますので、ご注意ください。

プレイリストの準備

プレイリストとは

プレイリストとは
「プレイリスト」は、送出順に素材を並べたリストで、素材とともにネットワークプレーヤーに送信されます。ネットワークプレーヤーは、この順番に従って送出を行います。プレイリスト上の各送出素材を「イベント」と呼びます。
このシステムでは、素材の種類によって、別々の欄にイベントを並べてプレイリストを作成します。同一の行にある素材は、下図のように下から静止画、テロップ、動画という順序で重ねあわされて送出されます。ただし、動画とテロップのみが送出される場合では、画面全体の動画の上にテロップが重なります。
静止画や動画は、単独でも重ね合わせた状態でも送出できますが、テロップだけを単独で送出することはできません。



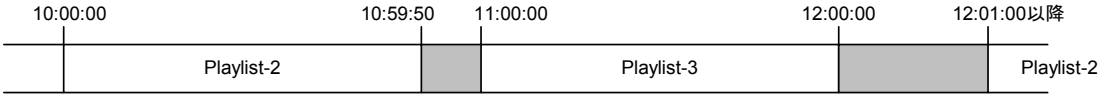
複数のプレイリストの取り扱いについて
スケジュール・アプリケーションの場合、同じ日のまったく同じ時間帯のプレイリストを複数転送した場合、後で転送したものが優先され、古いものは無視されます。
ただし、すでにプレイリストの再生が始まっている場合には、新しいものには差し換わりません。

また、同じ日のある時間帯に複数のプレイリストが重なって存在する場合、次のルールで再生が行われます。

- プレイリスト(A)の再生中に、それよりも後で送信されたプレイリスト(B)の再生開始時刻の 10 秒前になった場合、再生中のプレイリスト(A)を停止します。
  そして、ネットワークプレーヤーで指定されているプレイリスト・スタンバイ画面(初期値は全面黒色)がおよそ 10 秒間表示された後、次のプレイリスト(B)の再生が始まります。
- あるプレイリスト(B)の再生が終了したときに、それよりも前に送信されたプレイリスト(A)の再生時間が残っている場合、およそ 1 分後にプレイリスト(A)の再生が再開します。
  ただし、動画を途中から再生することはできないため、プレイリスト(A)再生再開のタイミングが動画イベントの途中になってしまう場合は、その次のイベントから再生が再開されることになります。

例)
同じ日のある時間帯に、次のような複数のプレイリストが存在する場合、Playlist-1 は無視されます。10:00:00 から 12:00:00 までは、下の図のように Playlist-2 と Playlist-3 が再生されます。

	Playlist-1	**Playlist-2**	**Playlist-3**
プレイリスト送信完了時刻	09:30:00		
		09:45:00	
			09:50:00
最初のイベントの開始時刻	10:00:00	10:00:00	
			11:00:00
最後のイベントの終了時刻			12:00:00
	15:00:00	15:00:00	



12:01:00 以降は Playlist-2 の再生が再開されますが、そのときのイベントの種類によって、実際に再生を開始する時間が異なります。

静止画または静止画とテロップのみの場合: Playlist-3 の再生停止後、およそ 1 分後に再生が再開します。

動画が含まれている場合: 動画を途中から再生することはできないため、その次のイベントから再生が再開します。
例えば、12:00:00 から 30 分間の動画イベントが指定されている場合は、その次の 12:30:00 からのイベントから再生が始まります。

プレイリスト・モジュールとは
プレイリストのうち、後で他のプレイリストに組み込んで使用するために作成するものを、特に「プレイリスト・モジュール」と呼びます。プレイリストと同じように送出順に素材を並べたリストで、番組などのようにいくつかのイベントをまとめておくために作成します。
プレイリスト･モジュールは、通常のプレイリストと同じように作成します。プロパティダイアログボックスでプレイリスト･モジュールチェックボックスにチェックマークをつけることによって、通常のプレイリストと区別します。違いは、スケジュール・アプリケーションであっても送出開始日、終了日、自動削除日のデータを持たないことです。
作成したプレイリスト･モジュールは、プレイリストに挿入できるので、同じ内容の番組を何度も使用する場合に便利です。また、番組表のように、プレイリスト･モジュールだけを並べてプレイリストを作成、編集する機能も用意されています。
ソニーのオーサリングソフトウェア BZNP-A1 を使用してコンテンツを作成した場合、タイムラインデータはプレイリスト･モジュールに変換されます。そのプレイリスト･モジュールを組み込んだプレイリストを作成し、ネットワークプレーヤーに送ることで、コンテンツを配信することができます。

ご注意

- ネットワークプレーヤーに送信されるときには、挿入したモジュールのイベントとそうでないイベントの区別はなくなります。モジュールではないプレイリストを他のプレイリストに挿入すると、同じ日時に送出を行うためのプレイリストが 2 つ存在することになり、送出時に誤動作を起こす場合がありますので、ご注意ください。
- プレイリスト・モジュールを 2 重にネスト(入れ子状態)することはできません。モジュール a が挿入されているモジュール b を、作成中のプレイリストに挿入した場合、a のものも含めてイベントはすべて挿入されますが、a のモジュールを示す薄いグレーのコメント行は自動的に削除されます。
  ネスト状態にしなければ、複数のモジュールを挿入することができます。

新しくプレイリストを作成する

新しいプレイリストやプレイリスト・モジュールは、次の手順で作成します。

1 メインメニューで[プレイリスト編集]をクリックします。
または、素材管理ウィンドウでプレイリストパネルを選択し、[新規作成]をクリックします。
どちらの場合も、プレイリスト編集ウィンドウが表示されます。

2 送信グループドロップダウンリストボックスで、作成するプレイリストを使用するネットワークプレーヤーのグループを選択します。

3 ウィンドウ上部の素材の一覧から、送出する素材をドラッグ&ドロップで下部のリストに追加していきます。
また、必要な編集作業を行います。詳しくは「プレイリスト編集ウィンドウでの編集」の説明をご覧ください。

4 [プロパティ]をクリックします。
プロパティダイアログボックスが表示されます。

5 スケジュール・アプリケーションの場合は、必要に応じて、開始時間スピンボックスで先頭のイベントの開始時刻(24:00:00 以降の開始時間は設定できません)を指定します。指定時刻になると、自動的に送出を行います。
他のプレイリストに組み込んで使用するプレイリスト・モジュールを作成している場合、開始時間を特に指定しないでおくには、00:00:00 のままにしておきます。00:00:00 以外の時刻を指定すると、挿入先のプレイリストでも指定した時刻が有効となります。
プレゼンテーション・アプリケーションの場合は、この手順は必要ありません。

ご注意
ネットワークプレーヤーはサマータイムに対応していませんので、サマータイムが適用される地域でお使いの場合は、開始時間の設定にご注意ください。

6 このプレイリストの最後のイベントを送出した後、自動的に先頭に戻って送出を繰り返す場合は、リピートチェックボックスをチェックし、必要な場合はリピート終了時間スピンボックスで繰り返し終了の時刻を変更します。
他のプレイリストに組み込んで使用する「プレイリスト・モジュール」を作成している場合は、プレイリスト・モジュールチェックボックスをチェックします。

ご注意
プレイリスト中にブレイクが入っている場合は、送出の繰り返しはできません。「プレイリスト・モジュール」の場合も、リピートチェックボックスをチェックすることはできません。
また、スケジュール・アプリケーションで、同じ日に別のプレイリストの送出がある場合には、繰り返して送出を行っていても、次のプレイリストの開始予定 10 秒前になると送出は終了となります。
スケジュール・アプリケーションの場合、プレイリスト・モジュールを作成する際は、必ずプレイリスト・モジュールチェックボックスにチェックマークをつけてください。チェックマークのないプレイリストを他のプレイリストに挿入すると、同じ日時に送出を行うためのプレイリストが 2 つ存在することになり、送出時に誤動作を起こす場合があります。

7 このプレイリストの分類とタイトルを入力して、[OK]をクリックします。
また、スケジュール・アプリケーションの場合は、送出の期間も指定できます。
詳しくは、プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。

8 作業が終わったら、プレイリスト編集ウィンドウで[OK]をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。

9 [はい]をクリックします。
プレイリストが保存されます。

ヒント
「プレイリストの内容を確認する」に記載されている手順でプレビューを行い、内容を確認することができます。

編集操作を取り消すには
プレイリスト編集ウィンドウでは、常に、最後に行った編集操作の前の状態のプレイリストが保持されています。
Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、最後に行った編集操作を取り消して、その前の状態に戻すことができます。

プレイリストの自動削除日の指定を行うには (プレゼンテーション・アプリケーションのみ)
素材管理ウィンドウで、希望のプレイリストを右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。
スケジュール・アプリケーションでは、送出終了日の翌日が自動削除日に指定されます。変更することはできません。
素材管理ウィンドウ上に青または紫の文字で表示される「プレイリスト・モジュール」は、ネットワークプレーヤーには送信されないため、自動削除日のデータを持っていません。

ご注意
自動削除を実行するためには、ネットワークプレーヤーの「システム管理者設定」の「自動削除を使用」の項目を「する」に設定しておく必要があります。

プレイリスト･モジュールを組み合わせてプレイリストを作成する

番組を組み合わせて毎日のプレイリストを作成するような運用時には、あらかじめ番組にあたる部分の「プレイリスト･モジュール」を作成しておき、それを組み合わせて、プレイリストを作成できます。
プレイリスト･モジュールだけを組み合わせてプレイリストを作成する場合は、プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウを使用すると便利です。外部機器の制御イベントも組み込むことができます。

ヒント

- プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでは、動画、静止画、テロップのイベントを挿入することはできません。個々の素材をプレイリストに挿入する必要がある場合は、通常のプレイリスト編集ウィンドウで編集を行ってください。
- プレイリスト･モジュールの作成については、「新しくプレイリストを作成する」をご覧ください。

1 素材管理ウィンドウでプレイリストパネルを選択し、[新規作成(モジュール単位)]をクリックします。
プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウが表示されます。

2 送信グループドロップダウンリストボックスで、作成するプレイリストを使用するネットワークプレーヤーのグループを選択します。

3 左側のプレイリスト･モジュールの一覧から、使用するモジュールをドラッグ&ドロップで右側のプレイリストに追加していきます。
ネットワークプレーヤーに接続されているプラズマディスプレイなどを制御するための制御コマンドを組み込む場合は、プレイリスト･モジュールと同じような一行のイベントとしてリストに追加します。組み込む場所のすぐ下の行を右クリックして、表示される[制御(外部機器)の挿入]のサブメニューで希望の制御コマンドを選択してください。(素材管理ウィンドウの制御パネルからドラッグ&ドロップ操作で追加することもできます。)
追加後、必要な場合は、制御イベントの開始時間欄をダブルクリックして、制御を行う時刻を設定します。
また、必要な編集作業を行います。詳しくは「プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでの編集」をご覧ください。

4 [プロパティ]をクリックします。
プロパティダイアログボックスが表示されます。

5 スケジュール･アプリケーションの場合は、必要に応じて、開始時間スピンボックスで先頭のイベントの開始時刻(24:00:00 以降の開始時間は設定できません)を指定します。指定時刻になると、自動的に送出を行います。
他のプレイリストに組み込んで使用するプレイリスト･モジュールを作成している場合、開始時間を特に指定しないでおくには、00:00:00 のままにしておきます。00:00:00 以外の時刻を指定すると、挿入先のプレイリストでも指定した時刻が有効となります。
プレゼンテーション･アプリケーションの場合は、この手順は必要ありません。

ご注意

ネットワークプレーヤーはサマータイムに対応していませんので、サマータイムが適用される地域でお使いの場合は、開始時間の設定にご注意ください。

6 このプレイリストの最後のイベントを送出した後、自動的に先頭に戻って送出を繰り返す場合は、リピートチェックボックスをチェックし、必要な場合はリピート終了時間スピンボックスで繰り返し終了の時刻を変更します。
また、作成したプレイリストを、またプレイリスト･モジュールにする場合は、プレイリスト･モジュールチェックボックスをチェックします。

ご注意

プレイリスト中にブレイクが入っている場合は、送出の繰り返しはできません。
スケジュール･アプリケーションで、同じ日に別のプレイリストの送出がある場合には、繰り返して送出を行っていても、次のプレイリストの開始予定 10 秒前になると送出は終了となります。
また、プレイリスト･モジュールを 2 重にネスト(入れ子状態)することはできません。モジュール a が挿入されているモジュール b を、プレイリストに挿入した場合、a のものも含めてイベントはすべて挿入されますが、a

のモジュールを示す薄いグレーのコメント行は自動的に削除されます。

7 このプレイリストの分類とタイトルを入力して、[OK]をクリックします。
また、スケジュール・アプリケーションの場合は、送出の期間も指定できます。
詳しくは、プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。

8 作業が終わったら、プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウで[OK]をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。

9 [はい]をクリックします。
プレイリストが保存されます。

ヒント

「プレイリストの内容を確認する」に記載されている手順でプレビューを行い、内容を確認することができます。

編集操作を取り消すには

プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでは、常に、最後に行った編集操作の前の状態のプレイリストが保持されています。Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、最後に行った編集操作を取り消して、その前の状態に戻すことができます。

プレイリストの自動削除日の指定を行うには (プレゼンテーション・アプリケーションのみ)

素材管理ウィンドウで、希望のプレイリストを右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。
スケジュール・アプリケーションでは、送出終了日の翌日が自動削除日に指定されます。変更することはできません。
素材管理ウィンドウ上に青または紫の文字で表示される「プレイリスト・モジュール」は、ネットワークプレーヤーには送信されないため、自動削除日のデータを持っていません。

ご注意

自動削除を実行するためには、ネットワークプレーヤーの「システム管理者設定」の「自動削除を使用」の項目を「する」に設定しておく必要があります。

既存のプレイリストを編集、削除する

ヒント

他のプレイリストに組み込んで使用する「プレイリスト・モジュール」の場合も、操作方法は同じです。

プレイリストを開く

すでに作成したプレイリストに変更や追加を行う場合は、次の手順でプレイリストを開いてください。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして素材管理ウィンドウを表示させ、プレイリストパネルを選択します。
2. 送信グループドロップダウンリストボックスで、編集するプレイリストが登録されているネットワークプレーヤーのグループを選択します。
3. 希望のプレイリストを右クリックして、メニュー上の[編集]または[編集(モジュール単位)]をクリックします。
   プレイリスト編集ウィンドウまたはプレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウに、選択したプレイリストが表示されます。
4. 変更や追加を行い、最後に[OK]をクリックします。
   プレイリストの編集について、詳しくは「プレイリスト編集ウィンドウでの編集」の説明、または「プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでの編集」をご覧ください。
   プレイリストの分類やタイトル、送出の開始・終了日の変更を行う場合は、[プロパティ]をクリックしてプロパティダイアログボックスで項目を変更し、[OK]をクリックします。

プレイリストを削除する

削除日が指定されていれば、プレイリストは自動的にネットワークプレーヤー上から削除されます。
手動で削除する場合や、PC 上から削除する場合は、次の手順を使用します。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして素材管理ウィンドウを表示させ、プレイリストパネルを選択します。
2. PC 内に保存されているプレイリストを削除する場合は、PC 内のファイル管理オプションボタンをクリックしてから、送信グループドロップダウンリストボックスで、削除しようとしているプレイリストが登録されているネットワークプレーヤーのグループを選択します。
   ネットワークプレーヤー上のプレイリストを削除する場合は、NSP-100 のリモート制御オプションボタンをクリックし、NSP-100 の名称ドロップダウンリストボックスで、どのネットワークプレーヤーから削除するかを指定します。
   指定した場所に保存されているプレイリストの一覧が表示されます。
3. 削除するプレイリストを選択します。
   複数のプレイリストを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のプレイリストをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のプレイリストを順番にクリックします。
4. 選択したプレイリストを右クリックし、メニュー上の[削除]をクリックします。
   複数のプレイリストを選択している場合は、そのうちのいずれかひとつを右クリックしてください。
   または、キーボードの Delete キーを押します。
   確認のメッセージが表示されます。
5. [はい]をクリックします。

他のネットワークプレーヤーのグループ用に作成されたプレイリストを使用するには

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして素材管理ウィンドウを表示させ、プレイリストパネルを選択します。
2. 送信グループドロップダウンリストボックスで、希望のプレイリストが登録されているグループを選択します。
3. 希望のプレイリストを右クリックし、メニュー上の[コピー]を選択します。
4. 送信グループドロップダウンリストボックスで、希望の送信グループを選択します。
   プレイリストの一覧が切り替わります。
5. リストを右クリックして、メニュー上の[貼り付け]を選択します。
   コピーしたプレイリストが、希望の送信グループ用に登録されます。

ヒント

プレイリスト編集ウィンドウにプレイリストを表示させ、送信グループドロップダウンリストボックスで希望のネットワークプレーヤーのグループを選択して[OK]をクリックすることによっても、他のグループのプレイリストを使用することができます。

自動削除日の指定を行うには (プレゼンテーション・アプリケーションのみ)

素材管理ウィンドウで、希望のプレイリストを右クリックし、メニュー上の[削除日設定]または[削除日解除]をクリックします。[削除日設定]をクリックした場合は、自動削除日設定のカレンダーが表示されますので、削除日を選択して[OK]をクリックします。

スケジュール・アプリケーションでは、送出終了日の翌日が自動削除日に指定されます。変更することはできません。

素材管理ウィンドウ上に青または紫の文字で表示される「プレイリスト・モジュール」は、ネットワークプレーヤーには送信されないため、自動削除日のデータを持っていません。

ご注意

自動削除を実行するためには、ネットワークプレーヤーの「システム管理者設定」の「自動削除を使用」の項目を「する」に設定しておく必要があります。

プレイリストの内容を確認する

プレビューを行うには

プレビュー用にネットワークプレーヤーとモニターが手元にあれば、緊急再生の機能を使用して、プレビューを行うことができます。個々の素材のプレビューも同じ手順で行えます。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. プレビューを行う素材またはプレイリストのパネルを選択します。
3. PC 内のファイル管理オプションボタンを選択し、送信グループドロップダウンリストボックスで、プレビュー用のネットワークプレーヤーのグループを選択します。
4. プレビューを行う素材またはプレイリストを選択して、緊急セクションの再生ボタンをクリックします。
   選択した素材(またはプレイリストとそこに含まれる素材)が、プレビュー用のネットワークプレーヤーに送信され、再生されます。
5. 緊急セクションの停止ボタンをクリックして、プレビューの再生を停止します。

リストを確認するには

素材管理ウィンドウのプレイリストパネルやプレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウのプレイリスト・モジュール一覧では、プレイリストのタイトルなど限られたデータしか表示されていませんが、次の手順で内容を確認することができます。

1. 内容を確認したいプレイリストまたはプレイリスト・モジュールを右クリックし、メニュー上の[表示]をクリックします。
   プレイリスト表示ウィンドウが開いて、内容が表示されます。
   プレイリスト表示ウィンドウの内容は、イベントの長さの欄はありませんが、プレイリスト編集ウィンドウのプレイリストとほぼ同じです。ただし、外部機器の制御イベントが組み込まれている場合は、マークではなく、そのタイトルが右端に表示されます。
   「プレイリスト・モジュール」(組み込み用のプレイリスト)を挿入した場合には、挿入されたモジュールは、閉じた矢印( )のついた薄いグレーのコメント行で表示されます。この矢印のマークをダブルクリックすると、モジュールが展開されて、含まれているイベントが開始時間欄に矢印マークの付いた薄いグレーの上( )下( )のコメント行にはさまれて表示されます。
   展開表示されているプレイリスト・モジュールは、上のコメント行の矢印マークをダブルクリックすると、再び折りたたまれて一行の表示となります。

ヒント

イベントのタイトルがリストの幅より長い場合は、マウスポインターをそのタイトル欄に移動して見てください。タイトル全体がポップアップ表示されます。

プレイリスト編集ウィンドウでの編集

動画、静止画、テロップのイベントをプレイリストに追加する

プレイリストには、動画、静止画、テロップそれぞれの欄があります。下記の手順で、送出する素材を順番にリストに追加して行きます。一番左側には開始時間の欄があり、各イベントの開始時間が表示されます。

ヒント

- 背景色が緑色の動画および静止画素材は、データのみが登録されていて、実際の NSP フォーマットの動画や静止画は、まだ準備できていないことを示しています。
- プレイリストの長さは、23 時間 58 分未満でなければなりません。イベント数の上限は 3,000 です。
  また、ネットワークプレーヤーが保持できる素材の数には下記の制限がありますので、ご注意ください。

素材	動画	静止画	テロップ
上限	500	500	100

1. プレイリスト編集ウィンドウの上部にある、それぞれの素材のリスト上で希望の素材を選択します。
2. 選択した素材をドラッグして、下部のプレイリストの希望の位置にドロップします。
   ドロップした場所によって、その素材はプレイリストにイベントとして挿入または追加されます。

   ご注意
   テロップのみを単独で再生することはできないため、テロップ素材は、単独でリストに追加することができません。動画または静止画が指定されている行にのみ追加できます。何かの理由でできてしまったテロップ単独のイベントは赤字で表示されます。赤字のイベントを含むプレイリストは保存、登録できません。
3. 静止画またはテロップの場合、必要な場合は、追加したイベントの長さを変更します。
   イベントの長さ欄をダブルクリックして希望の値に変更し、キーボードの Enter キーを押します。
   動画のイベントの長さは変更できません。

素材を追加する場所とドロップする位置の関係

追加する場所	ドロップする位置
プレイリストの先頭	先頭のイベント行の少し上(プレイリストの各欄のタイトル行)
プレイリストの最後	最後のイベント行の少し下(プレイリストの最後にあるグレーの行)
素材がすでに指定されているイベント	希望のイベント行の、該当する素材欄
イベントとイベントの間	(Ctrl キーを押しながら)下となるイベント行

イベントのデフォルトの長さ
動画は使用する素材と同じ長さとなります。これを変更することはできません。
静止画は 10 秒ですが、動画のイベントと同じ行に追加した場合は、動画と同じ長さになります。
テロップも同じ行の動画または静止画と同じ長さになります。

ご注意
テロップの種類がスクロールまたはスクロールインの場合、この長さは内容をすべて表示するのにかかる時間とは一致しませんので、ご注意ください。内容をすべて表示するのに必要な時間は、素材管理ウィンドウでテロップの長さとして表示されています。

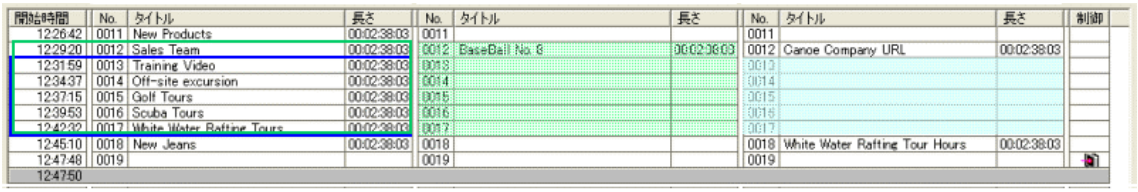
複数の動画または静止画イベントの長さに合わせてテロップなどを表示させるには
連続した複数の動画イベントが送出されている間ずっと同一のテロップまたは静止画を表示したい場合には、次のどちらか例に説明されている方法でイベントを指定します。

(1) No.0013 から 0017 の動画イベントが送出されている間ずっと表示させるテロップを新たに指定するには、

下図の青い枠に対応するテロップの部分(水色の四角形で表示されている範囲)を選択してから、希望のテロップ素材をドラッグして、選択部分にドロップします。

(2) No.0012 の静止画イベントの長さを延ばして、緑の枠で囲まれている動画イベント全体の長さにするには、緑の枠に対応する静止画の部分(薄い緑色の四角形で表示されている範囲)を選択してから右クリックし、メニューの[長さ変更]をクリックします。

いずれの場合も、範囲の全体を選択するには、Shift キーを押しながら、範囲の先頭(No.0012 または 0013)と最後(No.0017)を順番にクリックします。



この方法は、次の組み合わせのいずれの場合にも使用できます。

- 連続した複数の動画および静止画イベントが送出されている間中、同一のテロップを表示したい場合
- 連続した複数の動画イベントが送出されている間中、同一の静止画を表示したい場合

ご注意

- どちらの操作も、選択する範囲の中(先頭の行を除く)にすでにイベントが指定されている場合には実行できません。
- 選択した範囲にプレイリスト・モジュールが含まれている場合、テロップ(または静止画)を指定すると、モジュール内のイベントを変更したことになるため、プレイリスト・モジュールとしての扱いではなくなります。(モジュールの上下に表示されていた薄いグレーのコメント行がなくなります)

画面のレイアウトを指定するには

静止画上の動画およびテロップには、表示サイズ(動画のみ)と位置を指定することができます。詳しくは「動画およびテロップの位置を指定する」をご覧ください。

動画のみ、または動画とテロップのみの場合は、動画は自動的にフルサイズとなります。

動画の音声部分のみをイベントとして追加するには

使用する動画素材をプレイリストに追加してから、プレイリスト上でそのイベントを右クリックし、メニューの[音声のみ]を選択します。

イベントのデータの文字色が青に変わり、音声のみのイベントであることを示します。

通常のイベントに戻すには、同じようにイベントを右クリックして、メニューの[音声のみ](チェックされている)を選択します。

操作を取り消すには

Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

外部機器の制御イベントをプレイリストに追加する

ネットワークプレーヤーに接続されているプラズマディスプレイや、その他の機器を制御するためのコマンドも、素材としてプレイリストに組み込むことができますが、その方法は、動画や静止画の素材とは異なります。

ヒント

プレイリストの再生時、外部機器の制御イベントを追加した部分では、ネットワークプレーヤーから接続されている外部機器に制御信号が送られます。

制御信号を送ってから、実際に目的の動作が行われるには、機器によってしばらく時間がかかる場合があるので、外部機器の制御イベントはその遅延時間を考慮した位置に追加してください。

動画や静止画のイベントがある行に追加するには

1. 外部機器の制御コマンドを追加する位置で、プレイリスト右端の制御欄を右クリックします。
   メニューが表示されます。
2. メニューの[制御(外部機器)]にマウスポインターを移動します。
   素材として登録されている外部機器の制御コマンドが、サブメニューとして表示されます。
3. 希望の制御コマンドをクリックします。

   追加位置の制御欄に外部機器の制御マーク( )が表示されます。

   ご注意

   外部機器の制御イベントを追加すると、追加した位置の動画、静止画およびテロップの行の幅が広がります。これは、システムが制御イベントの長さを 2 秒として扱っているためで、動画などのイベントは通常もっと長いので、プレイリストでは同じイベント番号を持ったもっと短いイベントが存在することを示すために幅の広い行として表示されます。

単独の行として追加するには

1. 外部機器の制御コマンドを追加する位置のすぐ下の行を右クリックします。
   メニューが表示されます。
2. メニューの[制御(外部機器)の挿入]にマウスポインターを移動します。
   素材として登録されている外部機器の制御コマンドが、サブメニューとして表示されます。
3. 希望の制御コマンドをクリックします。

   新しい行が追加され、制御欄に外部機器の制御マーク( )が表示されます。
4. 追加された外部機器の制御イベントの開始時間欄をダブルクリックして、希望の時間に変更します。

ヒント

素材管理ウィンドウの制御パネルからドラッグ&ドロップ操作で追加することもできます。

プレイリスト上の外部機器の制御イベントを変更、削除するには

別の制御コマンドに変更する場合は、希望の制御イベントのマークを右クリックして、[制御(外部機器)]にマウスポインターを移動します。登録されている制御コマンドがサブメニューとして表示され、現在組み込まれているものにはチェックマークがついています。変更したい制御コマンドを選択します。
削除する場合は、希望の外部機器の制御イベントのマークを右クリックして、[削除]をクリックします。

操作を取り消すには

Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

イベントを移動、削除する

イベントを移動、コピーするには

プレイリストのイベントは、素材を追加したときと同じように、プレイリスト上で選択した後、ドラッグ&ドロップ操作で希望の位置に移動することができます。
通常のドラッグ & ドロップ操作では、イベントはその位置に貼り付けられます。2 つのイベントの間に挿入したい場合は、Ctrl キーを押しながら、挿入位置の下になるイベントにドラッグ & ドロップします。
また、キーボードの Ctrl キーを押しながら C キーを押すと、選択されているイベントを一時的に Windows のクリップボードにコピーできます。クリップボード上のイベントは、プレイリスト上の位置を指定した後に Ctrl キーを押しながら V キーを押すことで、その位置に貼り付けることができます。

ご注意

- テロップのみを単独で再生することはできないため、テロップイベントは、単独でリストに挿入または追加することができません。動画または静止画が指定されている行にのみ貼り付けることができます。何かの理由でできてしまった単独のテロップのイベントは赤字で表示されます。赤字のイベントを含むプレイリストは保存、登録

できません。
- プレイリスト上で、横一列に並んでいる動画、静止画、テロップすべてのイベントを同時に選択するには、左端の開始時間欄を選択します。

イベントの素材を変更するには
希望の素材を貼り付けます。
元々あった素材が上書きされて、後から貼り付けた素材のイベントに変更されます。

イベントを削除するには
プレイリスト上でイベントを右クリックし、表示されるメニューの[削除]をクリックします。

操作を取り消すには
Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

プレイリスト・モジュールを挿入する

プレイリストの中に、すでに作成してあるプレイリスト・モジュールを挿入することができます。選択したモジュールのすべてのイベントが 1 つのブロックとして挿入されます。

ご注意
スケジュール・アプリケーションの場合、挿入するモジュールを作成する際に、必ずプレイリスト・モジュールチェックボックスをチェックするようにしてください。ネットワークプレーヤーに送信されるときには、挿入したモジュールのイベントとそうでないイベントの区別はなくなります。チェックマークのないプレイリストを他のプレイリストに挿入すると、同じ日時に送出を行うためのプレイリストが 2 つ存在することになり、送出時に誤動作を起こす場合があります。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして素材管理ウィンドウを表示させ、プレイリストパネルを選択します。
2. 希望のプレイリスト・モジュール(青または紫の文字で表示されているもの)を右クリックし、メニュー上の[コピー]を選択します。
   選択したプレイリスト・モジュールの全体がコピーされます。
3. プレイリスト編集ウィンドウに戻って、挿入されるプレイリストの次となる行を右クリックし、メニュー上の[プレイリスト・モジュールの貼り付け]をクリックします。

   コピーしたプレイリスト・モジュールが挿入されます。挿入されたモジュールは、閉じた矢印( )のついた薄いグレーのコメント行で表示されます。コメント行には挿入したモジュールのタイトルが表示されていますが、コメント部分をダブルクリックすると自由に編集できます。
   矢印のマークをダブルクリックすると、モジュールが展開されて、含まれているイベントが開始時間欄に矢印マークの付いた薄いグレーの上( )下( )のコメント行にはさまれて表示されます。
   展開表示されているプレイリスト･モジュールは、上のコメント行の矢印マークをダブルクリックすると、再び折りたたまれて一行の表示となります。

ご注意
プレイリスト・モジュールを 2 重にネスト(入れ子状態)することはできません。モジュール a が挿入されているモジュール b を、作成中のプレイリストに挿入した場合、a のものも含めてイベントはすべて挿入されますが、a のモジュールを示す薄いグレーのコメント行は自動的に削除されます。
ネスト状態にしなければ、複数のモジュールを挿入することができます。

挿入したプレイリスト・モジュールの全体を削除するには
コメント行を右クリックして、メニュー上の[削除]をクリックします。

挿入したプレイリスト・モジュールの中のイベントを変更、削除する場合は
上下のコメント行にはさまれている、挿入したプレイリスト・モジュールのイベントも、自由に変更したり削除したりすることができます。また、間にイベントを付け加えることも可能です。
変更することによって、元のモジュールとは異なってしまう場合は、挿入されたモジュールを示すコメント行は自動的

に削除されます。

ご注意
薄いグレーのコメント行は、その間のイベントがプレイリスト・モジュールだということを表していますが、挿入後に元のモジュールに変更があっても、貼り付けた部分が自動的に変更されるわけではありません。

操作を取り消すには
Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

ブレイクイベントを挿入する（プレゼンテーション・アプリケーション）

プレイリストの途中にブレイク(何も送出されない時間)を入れることができます。プレイリストの送出実行は、いったん停止し、ネットワークプレーヤーのリモコンで再生開始の操作を行うと、ブレイクの後のイベントが順番に送出されます。

1 ブレイクの後になるイベントを右クリックして、表示されるメニューの[Break 挿入]をクリックします。
プレイリストにブレイクイベントが挿入されます。ブレイクイベントは、グレーの帯で表示されます。また、ブレイクの後のイベントの開始時間は 00:00:00 と表示されます。

ブレイクイベントを削除するには
ブレイクイベント(グレーの帯)を右クリックして、表示されるメニューの[削除]をクリックします。

操作を取り消すには
Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

イベントの開始時刻を変更する（スケジュール・アプリケーション）

イベントの開始時刻を変更する操作には、2 つの意味があります。
ひとつは、送出の途中にブレイク(何も送出されない時間)を作ることです。このソフトウェアは、イベントの追加や移動の度に、先頭のイベントの開始時間と各イベントの長さを元に、イベントの開始時間を計算しています。開始時間欄の時刻を変更して、ブレイクを作ることができます。この場合は、横並びになっているすべての種類のイベントの開始時間が同時に変更されます。
もうひとつは、個々の素材のイベントの開始時刻を調整することです。この方法では、他の素材のイベントに影響を及ぼさずに特定の素材のイベントだけ、開始時刻を変更できます。

ブレイクを作るための開始時刻の変更

ご注意
イベントの開始時間は、00:00:00 - 47:59:59 の範囲で設定できますが、プレイリストの先頭イベントの場合だけは 24:00:00 以降は入力できません。

1 ブレイクの後の先頭となるイベントの開始時間欄をダブルクリックします。
時間を変更できるようになります。

2 現在の設定されている開始時刻にブレイクの時間を足した新しい開始時刻に変更して、Enter キーを押します。
ブレイクを示すグレーの帯がプレイリストに挿入され、ブレイク以降の各イベントの開始時刻が計算しなおされます。

特定の素材のイベントにだけ行う開始時刻の変更

ご注意
この操作は、イベントの開始時刻を微調整するためのもので、イベントのプレイリスト上での配置が変わるような大きな変更はできません。

1 希望のイベントを右クリックして、表示されるメニューの[開始時刻変更]をクリックします。
開始時間変更ダイアログボックスが表示されます。現在の開始時刻が表示されています。

2 希望の開始時刻に変更して、[OK]をクリックします。

操作を取り消すには
Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

動画およびテロップの位置を指定する

静止画上の動画およびテロップには、表示サイズ(動画のみ)と位置を指定することができます。

ご注意

- 静止画の上に動画とテロップを同時に送出する場合は、動画とテロップが重ならないようにサイズと位置を指定してください。重なった場合には、テロップが動画の下に隠れて表示されます。
- 表示画面設定ダイアログボックスの設定値の単位はすべてピクセルで、原点は画面の左上隅です。同じ設定値に異なる名前を付けて、別々に登録することはできません。
  ネットワークプレーヤーのグループの設定時に、オーバースキャンタイプのディスプレイを選択した場合は、実際に画面に表示される範囲に応じて、あらかじめ登録されている「左上」、「下」などの表示位置が調整されます。また、ダイアログボックス内のモニターの絵も、実際の表示範囲が表示されます。
  ひとつのグループで異なる種類のディスプレイをお使いの場合は、種類によって異なる位置に表示される場合がありますのでご注意ください。

デフォルト(初期状態)の位置を指定する

1 プレイリスト編集ウィンドウで、[デフォルト表示画面設定]をクリックします。
表示画面設定ダイアログボックスが表示されます。

2 表示画面設定ダイアログボックスで、表示位置の設定を行います。
動画位置、動画サイズ、テロップ位置の各ドロップダウンリストボックスから設定を選択するか、座標などの設定値をテキストボックスに入力します。
ダイアログボックスに表示されているモニター上のテロップや動画の絵を移動したり、サイズを変更したりして、設定値を決めることもできます。

3 [OK]をクリックします。
設定値が保存され、表示画面設定ダイアログボックスが閉じます。次回からプレイリストに動画およびテロップを追加する際には、ここで指定した位置の情報が自動的に付加されます。

個々のイベントに対して位置を指定する

1 プレイリスト編集ウィンドウで、表示位置を指定するイベントを右クリックして、表示されるメニューの[表示位置設定]をクリックします。
表示画面設定ダイアログボックスが表示されます。

2 表示画面設定ダイアログボックスで、表示位置の設定を行います。
動画位置、動画サイズ、テロップ位置の各ドロップダウンリストボックスから設定を選択するか、座標などの設定値をテキストボックスに入力します。
ダイアログボックスに表示されているモニター上のテロップや動画の絵を移動したり、サイズを変更したりして、設定値を決めることもできます。

3 [OK]をクリックします。
設定値がイベントに保存され、表示画面設定ダイアログボックスが閉じます。

ヒント
位置またはサイズを数値で入力した場合は、[OK]の前に[適用]をクリックすると、結果を確認できます。

操作を取り消すには

Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

任意の設定を登録するには

複数のイベントに同じ位置やサイズを設定する場合などのために、動画位置、動画サイズ、テロップ位置の設定値をそれぞれ最大 30 個まで登録しておくことができます。

1. 表示画面設定ダイアログボックスで、希望の項目(動画位置、動画サイズ、またはテロップ位置)のドロップダウンリストボックスに、登録する設定値の名前を入力します。
2. 希望の設定値を入力します。
   または、ダイアログボックスに表示されているモニター上のテロップや動画の絵を移動したり、サイズを変更したりして、設定値を決めます。
3. 登録しようとしている項目の[登録]をクリックします。

ご注意

- [登録]をクリックしなくても、[OK]をクリックすると、「ユーザー定義」という名称で設定値は、自動的に登録されます。
- 登録した設定値を、デフォルトまたはダイアログボックスを表示させるために選択したイベントに設定しない場合は、ダイアログボックスを閉じる際に[OK]ではなく[キャンセル]をクリックしてください。
- 登録した設定値が不要になった場合は、表示画面設定ダイアログボックスでその設定値の名称を選択し、対応する[削除]をクリックします。

プレイリスト編集（モジュール単位）ウィンドウでの編集

プレイリスト編集(モジュール単位)ウィンドウでの編集作業は、プレイリスト編集ウィンドウでの操作とほぼ同じです。

プレイリスト・モジュールや外部機器の制御イベントを移動、コピーするには
プレイリスト・モジュールは、追加したときと同じように、プレイリスト上で選択した後、ドラッグ＆ドロップ操作で希望の位置に移動することができます。
通常のドラッグ＆ドロップ操作では、モジュールはその位置に貼り付けられます。2 つのモジュールの間に挿入したい場合は、Ctrl キーを押しながら、挿入位置の下になるモジュールにドラッグ＆ドロップします。
また、キーボードの Ctrl キーを押しながら C キーを押すと、選択されているモジュールを一時的に Windows のクリップボードにコピーできます。クリップボード上のモジュールは、プレイリスト上の位置を指定した後に Ctrl キーを押しながら V キーを押すことで、その位置に貼り付けることができます。
外部機器の制御イベントも、プレイリスト・モジュールと同じように移動、コピーすることができます。

ブレイク(何も送出されない時間)を挿入するには
プレゼンテーション・アプリケーションでは、ブレイクの後になるモジュールを右クリックして、表示されるメニューの[Break 挿入]をクリックします。
プレイリストにブレイクイベントが挿入されます。ブレイクイベントは、グレーの帯で表示されます。また、ブレイクの後のモジュールの開始時間は 00:00:00 と表示されます。
スケジュール・アプリケーションでは、ブレイクの後の先頭となるモジュールの開始時間欄をダブルクリックし、現在設定されている開始時刻にブレイクの時間を足した新しい開始時刻に変更して、Enter キーを押します。
ブレイクを示すグレーの帯がプレイリストに挿入され、ブレイク以降の各モジュールの開始時刻が計算しなおされます。

ご注意
モジュールの開始時間は、00:00:00 - 47:59:59(NTSC の場合)または 47:59:49(PAL の場合)の範囲で設定できますが、プレイリストの先頭モジュールの場合だけは 24:00:00 以降は入力できません。

外部機器の制御イベントを変更するには
変更したい外部機器の制御イベントを右クリックして、表示される[制御(外部機器)の変更]のサブメニューで希望の制御コマンドを選択してください。
素材管理ウィンドウの制御パネルから希望の制御コマンドをドラッグして、変更したい制御イベントの行にドロップすることで、置き換えることもできます。

プレイリスト・モジュールや外部機器の制御イベント、ブレイクを削除するには
プレイリスト上でプレイリスト・モジュールや外部機器の制御イベントまたはブレイクイベント(グレーの帯)を右クリックし、表示されるメニューの[削除]をクリックします。

操作を取り消すには
Ctrl キーを押しながら Z キーを押すと、直前に行った操作がキャンセルできます。

ネットワークプレーヤーへの送信

プレイリストを送信する

素材とプレイリストを用意したら、ネットワークプレーヤーに送信します。プレイリストを送信すれば、そのプレイリストの送出に必要な素材は、自動的に送信されます。また、スケジュール・アプリケーションの場合は、メインメニューで送出日と送出先のグループを指定して送信を行うと、その日の送出に必要なものがすべて自動的に送信されます。

ヒント

- すでにネットワークプレーヤー上にあるプレイリストや素材は、送信対象から外されます。
- 環境設定ウィンドウで、プレイリストを自動送信するように設定しておくと、このようにプレイリストの送信を行う操作は、緊急の場合を除いて必要なくなります。詳しくは、「ソフトウェアの設定を行う」をご覧ください。

1 素材管理ウィンドウが表示されていない場合は、メインメニューの[素材管理]をクリックして表示させます。

2 プレイリストパネルを選択します。

3 送信グループドロップダウンリストボックスで希望の送信先を選択します。
選択した送信先のグループに対するプレイリストが表示されます。

4 送信するプレイリストを選択します。
複数のプレイリストを選択することができます。複数のプレイリストを選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲のプレイリストをまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端のプレイリストを順番にクリックします。

5 [送信]をクリックします。
送信が開始されます。送信の状況は、転送状況ウィンドウで確認することができます。「転送状況を確認する」をご覧ください。

日付を指定して、プレイリストを送信するには (スケジュール・アプリケーションのみ)

1 メインメニューのカレンダーで、左右の矢印ボタンをクリックして、送出日の月を表示させます。

2 カレンダーの下にあるドロップダウンリストボックスで、希望の送信先グループを選択します。

ヒント

カレンダー上の日付の色は、次の意味を持っています。マウスポインターを日付に合わせると、状態が文字で表示されます。

背景色	文字色	意味
白	グレーまたは茶	非放送日
灰	黒または赤	未編成(プレイリスト未作成)
緑	黒または赤	編成中(プレイリスト作成中または作成終了)
水色	黒または赤	送信中(プレイリストおよび素材)
青	黒または赤	送信済み(プレイリストおよび素材)
黄	黒または赤	素材未送信
赤	黒または赤	送信エラーあり

3 カレンダーで希望の送出日を選択して、[送信]をクリックします。

素材を送信する

ネットワークプレーヤーに素材のみを送信することもできます。複数の種類の素材を送信する場合は、下記の手順を繰り返してください。

1. 素材管理ウィンドウが表示されていない場合は、メインメニューの[素材管理]をクリックして表示させます。
2. 送信する素材のパネルを選択します。
3. 送信グループドロップダウンリストボックスで希望の送信先を選択します。
4. 送信する素材を選択します。
   複数の素材を選択するには、Ctrl キーを押しながら順番にクリックします。ある範囲の素材をまとめて選択するには、Shift キーを押しながら範囲の両端の素材を順番にクリックします。
5. [送信]をクリックします。
   送信が開始されます。送信の状況は、転送状況ウィンドウで確認することができます。「転送状況を確認する」をご覧ください。

転送状況を確認する

たくさんの動画素材を送る場合や、多くのネットワークプレーヤーに素材を送る場合には時間がかかります。転送状況ウィンドウでは、送信がどこまで進んでいるかや、エラーが発生していないかを確認することができます。
また、転送状況ウィンドウから表示できる転送結果ウィンドウでは、接続されているすべてのネットワークプレーヤーに関する送信結果が確認できます。

ご注意

スケジュール・アプリケーションでのプレイリストの自動送信機能によって送信された結果は、転送状況ウィンドウおよび転送結果ウィンドウには表示されません。

1 [転送状況]をクリックします。
転送状況ウィンドウが開き、最後に送信が行われたグループの、個々のネットワークプレーヤーに対する送信の状況が、背景色の違いによって表示されます。

背景色	状況
黄	素材の未送信があります
水色	現在送信中です
青	送信は問題なく完了しています
赤	エラーが発生しました

ご注意

最後に送信を行ったグループに関する状況が表示されます。送出ログ画面でのログの取得、素材管理画面でのネットワークプレーヤーのリモート制御、NSP-100 設定画面での設定の送信を行うと、表示はクリアされます。

ヒント

転送状況ウィンドウの[中止]をクリックして、素材やプレイリストの送信を中止することができます。実行中の送信は中止され、これから送信を行うはずだった他のネットワークプレーヤーへの送信はキャンセルされます。

最後に送信を行ったもの以外のグループに所属するネットワークプレーヤーへの送信結果を確認するには

転送状況ウィンドウで[転送結果]をクリックします。
転送結果ウィンドウが開き、接続されている各ネットワークプレーヤーに対して最後に行ったプレイリストまたは素材の送信結果が表示されます。

表示	意味
(空白)	送信なし
	送信成功
	接続エラー
	送信エラー
	未送信素材あり

送出

通常の送出

通常は、ネットワークプレーヤーにプレイリストと素材を送信した後は、このソフトウェアで行う操作はありません。

プレゼンテーション・アプリケーションの場合
送出は、ネットワークプレーヤーで行われます。送出の制御は、ネットワークプレーヤーのリモコンで行います。
操作については、ネットワークプレーヤーのオペレーションマニュアルをご覧ください。

スケジュール・アプリケーションの場合
送出は、プレイリストに設定してある期間と時刻を元に、各ネットワークプレーヤーで自動的に行われます。

ご注意

- ネットワークプレーヤーはサマータイムに対応していませんので、サマータイムが適用される地域でお使いの場合は、開始時間の設定の際にご注意ください。
- NTSC の映像信号は、29.97 フレーム/秒ですが、BZNP-100 では長さを 30 フレーム/秒で扱っています(ノンドロップフレーム方式)。このため実際に再生される時間は、表示されている個々のイベントの「長さ」よりも長くなることがあります。この誤差は、1 分間で約 2 フレーム、1 時間で約 108 フレーム（約 3.3 秒）となります。
  プレイリスト編集画面の開始時間欄は、この誤差を補正していますが、1 秒未満の誤差が残ります。
- プレイリストは、後に送信したものが優先されます。
  2002/7/1 10:00:00 - 20:00:00 のプレイリスト(P0000001)を送信した後で 2002/7/1 12:00:00 - 13:00:00 のプレイリスト(P0000002)を送信すると、P0000001 を 11:59:50 頃に停止し、P0000002 を 12:00:00 - 13:00:00 まで再生した後、1分ほどで P0000001 のプレイリストを再生待機状態にし指定の開始時間が来ると再生を再開します。ただし、1つの動画に複数の静止画やテロップが指定されている場合は、動画の開始時間にならないと再生はされません。
  逆に、P0000002 を送信した後で P0000001 を送信すると、P0000002 は再生されません。

電源オンスタートプレイリストまたはワンタッチスタートプレイリストが指定されている場合
ネットワークプレーヤーには、次の 2 種類の特殊なプレイリストを設定しておくことができます。

- 電源オンスタートプレイリスト
  ネットワークプレーヤーの電源がオンになると自動的にスタートします。
- ワンタッチスタートプレイリスト
  待機画面表示中にネットワークプレーヤーのリモコンの再生ボタンを押すとスタートします。

設定の仕方については、「ネットワークプレーヤーの特殊再生用プレイリストを設定する」をご覧ください。NSP-100 側で設定を行うこともできます。

ヒント
スケジュール・アプリケーションの場合は、送出の日時が指定されているプレイリストの優先順位が一番上です。送出日時が指定されているプレイリストの開始時刻の約 10 秒前に、再生中の電源オンスタートプレイリストやワンタッチスタートプレイリストの再生は中止されます。

いずれの場合も、個々のネットワークプレーヤーのステータスを確認することができます。
また、ネットワークプレーヤーは、送出の結果をログに記録しています。この送出ログを各ネットワークプレーヤーから受け取って、送出結果を確認することができます。「ネットワークプレーヤーのステータスを確認する」、および「送出結果を確認する」をご覧ください。

緊急再生

あらかじめネットワークプレーヤーにプレイリストと送出に必要な素材を送信しておく通常の送出のほかに、「緊急再生」の機能があります。緊急再生は、選択した素材(またはプレイリスト)の送信と同時にネットワークプレーヤーに送出を実行させるもので、準備が整っている個々の素材およびプレイリストに対して実行できます。
また、すでにネットワークプレーヤー上にある素材やプレイリストに対しても、緊急再生が実行できます。

ご注意

この操作は、ネットワークプレーヤー上で他の再生が行われていても、選択した素材またはプレイリストを割り込み再生するものです。また、緊急再生中は、再生日時が指定されているプレイリストの再生時刻になっても再生が開始されません。緊急再生を行う場合は、NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認し、終了後は、必ず停止ボタンをクリックして緊急再生状態を解除してください。

ヒント

- 個々のネットワークプレーヤーのステータスを確認することができます。「ネットワークプレーヤーのステータスを確認する」をご覧ください。
- テロップに関しては、あらかじめ保存されているものだけでなく、その場で文字を入力して緊急再生することもできます。下記の「テロップを作成して緊急再生を行うには」をご覧ください。
- ネットワークプレーヤーに接続されたモニターが手元にあれば、この機能をネットワークプレーヤー上の素材およびプレイリストのプレビューに使用することができます。

1. メインメニューで[素材管理]をクリックして、素材管理ウィンドウを表示させます。
2. 送出を行う素材などが保存されている場所に応じて、PC 内のファイル管理、または NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択します。
3. 緊急再生を行う素材またはプレイリストのパネルを選択します。
4. PC 内のファイル管理オプションボタンを選択した場合は、送信グループドロップダウンリストボックスで、緊急再生を行うグループを選択します。
   NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択した場合は、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックスで緊急再生を行いたいネットワークプレーヤーを選択して、[情報更新]をクリックします。
5. 送出を実行する素材またはプレイリストを選択して、緊急セクションの再生ボタンをクリックします。
   PC 内の素材またはプレイリストを選択した場合は、素材(またはプレイリストとそこに含まれる素材)がただちに選択したグループのネットワークプレーヤーに送信されます。各ネットワークプレーヤーでは、受信が完了すると同時に、その素材／プレイリストの送出を開始します。
   NSP-100 のリモート制御オプションボタンを選択した場合は、NSP-100 名称ドロップダウンリストボックスで選択したネットワークプレーヤー上でただちに送出が開始されます。
   テロップを緊急再生する場合は、そのとき再生中の画面にオーバーレイ表示されますが、テロップ以外の素材の場合は、再生を中断して緊急再生を行います。

緊急再生を停止するには

緊急セクションの停止ボタンをクリックします。
プレゼンテーション・アプリケーションから送信され、緊急再生によって中断されたプレイリストの送出は、自動的には再開されません。スケジュール・アプリケーションから送信されたものでは、その時刻に送出するべきイベントがあれば、そのイベントから送出が再開されます。

ご注意

- 緊急再生は、緊急再生を開始した画面の停止ボタンでしか停止できません。また、緊急再生を停止することができるのは BZNP-100 だけですので緊急再生後は必ず、停止ボタンをクリックしてください。
- プレイリストパネル上の緊急セクションの停止ボタンは、緊急再生以外のプレイリスト再生を停止することもできます。

テロップを作成して緊急再生を行うには

1. 素材管理ウィンドウでテロップパネルを選択します。
2. 送信グループドロップダウンリストボックスで緊急再生を行うグループを選択し、[新規作成]をクリックします。
   テロップ編集ダイアログボックスが表示されます。
3. テロップの内容を入力します。
   詳細については、テロップ編集ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
4. [詳細設定]をクリックして詳細設定ダイアログボックスを表示させ、各項目を設定して[OK]をクリックします。
   項目の詳細については、詳細設定ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
5. テロップ編集ダイアログボックス内の緊急セクションにある再生ボタンをクリックします。
   入力したテロップがネットワークプレーヤーに送信されます。各ネットワークプレーヤーでは、受信が完了すると同時に、そのテロップの送出を開始します。
6. 必要な場合は、[保存]をクリックして、作成したテロップを保存します。

ネットワークプレーヤーの確認

ネットワークプレーヤーのステータスを確認する

ネットワークプレーヤーのグループを指定して、グループ内のネットワークプレーヤーの現在のステータスを確認することができます。また、各ネットワークプレーヤーのハードディスクドライブの残容量も確認できます。

1. メインメニューで[NSP-100 ステータス]をクリックします。
   NSP-100 ステータスウィンドウが表示されます。
2. グループドロップダウンリストボックスで、希望のグループを選択します。
   希望のグループがすでに選択されている場合は、[更新]をクリックします。
   選択したグループに属するネットワークプレーヤーのステータスと、ハードディスクドライブの残容量がリストに表示されます。再生中の場合は、再生しているもの(プレイリストや素材)の情報も表示されます。

ご注意

NSP-100 ステータスウィンドウ内の表示は、自動的に更新されるわけではありません。ウィンドウを開いておく場合には、更新日時のデータをご覧になり、[更新]をクリックして最新の情報を表示させてから、ステータスを確認してください。

送出ログを確認する

ネットワークプレーヤーで送出ログを記録している場合は、各ネットワークプレーヤーからログデータを取得して、PCで一括管理を行うことができます。送出ログには、プレイリストごとに送出状況を記録するプレイリストログと、エラーが発生した場合にのみ記録されるエラーログがあります。

ヒント

BZNP-100 上で管理を行うファイル数には限りがありますが、この管理数を超えても送出ログの取得は行います。そのため、ファイルが蓄積して増えていき、Windows のシステムに影響が出たり、動作が遅くなる場合がありますので、定期的にログの内容を確認し、[削除]または[全削除]で削除してください。

1. メインメニューで[送出ログ]をクリックします。
   送出ログウィンドウが表示されます。
2. プレイリストログを取得する場合はプレイリストパネルをクリックします。
   エラーログを取得する場合はエラーログパネルをクリックします。
3. NSP-100 ドロップダウンリストボックスでログを取得するネットワークプレーヤーを選択します。
   取得日時欄には、最後にログを取得した日時が表示されています。
4. [取得]をクリックします。
   ネットワークプレーヤーから受信したログデータが、リストに追加されます。結果表示のマークの意味は次のとおりです。

表示	意味
	送出成功
	警告事態発生
	エラー発生

ログの詳細を確認するには

プレイリストログの場合、送出ログウィンドウには、プレイリストごとのデータが表示されます。希望のプレイリストのデータを右クリックして、メニュー上の[詳細表示]をクリックすると、そのプレイリストの各素材に関するデータが別ウィンドウに表示されます。
また、PC 上にマイクロソフト社の Excel がインストールされていれば、[詳細表示]の代わりに[Excel で表示･印刷]をクリックすると、自動的に Excel が起動して、プレイリストの各素材に関するデータが表示されます。

ログを圧縮するには

ネットワークプレーヤーまたは BZNP-100 に問題が発生して、問題の解決と対処方法がわからない場合には、問題を解決するために必要なログを、サポート担当者に E メールなどで送信する必要がある場合があります。E メールでの送信のために、エラーログを小さいデータサイズに圧縮することができます。

1. まだログを取得していなければ、エラーログパネルで問題が発生した NSP-100 を選択し、[取得]ボタンをクリックします。
2. [ログの圧縮]をクリックして、表示されるメッセージに従って操作してください。
   圧縮されたログのファイルは Windows のデスクトップに「LOG.lzh」という名前で作成されます。このファイルを、サポート担当者にお送りください。

取得した PC 上のログデータを削除するには

特定のデータだけを削除するには、目的のデータを右クリックして、メニュー上の[削除]をクリックします。
選択されているネットワークプレーヤーに関するプレイリストログをすべて削除するには、送出ログウィンドウの[全削除]をクリックします。

操作を終了する

各ウィンドウを閉じるには
ウィンドウ右上隅にあるXのマークがついたボタンをクリックします。

ソフトウェアの操作を終了するには
メインメニューの右上隅にあるXのマークをクリックします。
このソフトウェアのウィンドウは自動的にすべて閉じます。

システムの設定

ソフトウェアの設定を行う

このソフトウェアに関する設定を行います。通常は、インストール直後に行います。

1 メインメニューで、[環境設定]をクリックします。
環境設定ダイアログボックスが表示されます。

2 BZNP-100 をお使いの場合は、アプリケーション動作モードのオプションボタンで、プレゼンテーション・アプリケーションとして使用するか、自動送出用のスケジュール・アプリケーションとして使用するかを選択します。
BZNP-100LE をお使いの場合は、スケジュール・アプリケーションは使用できません。

3 ビデオフォーマットを選択します。
通常は NTSC にします。

ご注意
操作を開始してからビデオフォーマットを変更すると、仮作成(素材データだけ入力されていて、素材のファイルがないもの)されている動画および静止画のデータが削除されます。

4 必要な場合は、素材管理フォルダのセクションで、作成(変換)した動画、静止画、テロップ、プレイリスト、制御コマンドそれぞれの保存場所を変更します。
絶対パスまたはこのソフトウェアをインストールしたフォルダからの相対パスを入力するか、対応する[フォルダの参照]をクリックして、表示されるツリー図で希望のフォルダを選択します。

ご注意
素材のデータベースに何らかの不具合が生じた場合は、対応する素材の種類の[データ再構築]をクリックしてください。また、複数の BZNP-100 で一ヶ所の共有フォルダ内の素材を使用するような運用の場合は、[データ再構築]をクリックすることによって、他の人が行った操作の結果を素材管理画面などの素材リストに反映させることができます。
ただし、登録されている素材の数が多いと、データベースの再構築には時間がかかりますのでご注意ください。

5 複数の BZNP-100 で一ヶ所の共有フォルダ内の素材を使用するような運用の場合は、素材コード開始番号設定セクションの BZNP-100 ID テキストボックスに、各 BZNP-100 の ID となる 0～9 または a～z のいずれか一文字を指定します。
例えば、1 台目に a、2 台目に b という ID を指定すると、1 台目で作成するプレイリストは Pa000001 から、2 台目で作成するものは Pb000001 からのコードが割り振られるため、どこで作成されたものかがわかるようになり、まちがって素材を上書きしてしまう事態も避けることができます。
素材コードは、素材の種類を示すアルファベット＋7 桁の数字、または素材の種類を示すアルファベット＋BZNP-100 ID＋6 桁の数字で構成されます。(運用の形態によっては、下から 6 桁目もアルファベットになる場合があります)

6 NSP-100 設定ダイアログボックスを開く際のパスワードを設定または変更する場合は、現在のパスワードと新しいパスワードをそれぞれのテキストボックスに入力します。
新しいパスワードは、ミスタイプを防ぐために新しいパスワードと新しいパスワードの確認の 2 ヵ所に同じものを入力してください。

7 スケジュール・アプリケーションをお使いの場合、自動的にプレイリストと素材をネットワークプレーヤーへ送信するようにするには、スケジュールプレイリストの自動送信設定(全グループ)セクションの送信モードドロップダウンリストボックスで、[許可(制限なし)]または[許可(時間制限)]を選択し、送信できなかった場合に再送信する間隔(リトライ間隔　時：分)を指定します。
[許可(時間制限)]を選択した場合には、自動送信を行える時間帯も、送信許可の 2 つのスピンボックスで、あわせて指定します。
この設定をすると、更新されたプレイリストや必要な素材を、システムが自動的にネットワークプレーヤーに

送信するので、プレイリストや素材の送信の操作が必要なくなります。ネットワークの障害などで送信エラーが発生した場合は、指定した間隔で再送信が行われます。
プレゼンテーション・アプリケーションでは、プレイリストの自動送信はできません。

8 プレイリストや素材を手動でネットワークプレーヤーに送信した時にエラーが発生した場合、送信が正しくできるまで、自動的に再送信を行うようにするかどうかを、手動送信時の自動再送設定セクションで選択します。通常は、「再送信する」を指定してください。

9 [OK]をクリックします。
アプリケーション動作モードおよびビデオフォーマットを変更した場合は、自動的にソフトウェアが再起動します。しばらくお待ちください。
その他の場合は、このまま運用を続けることができます。

ネットワークに関するパラメーターを変更するには
環境設定ダイアログボックスで[ネットワーク環境設定]をクリックし、表示されるネットワーク環境設定ダイアログボックス内で必要な変更を行い、[OK]をクリックします。

ご注意
通常はネットワーク環境設定ダイアログボックス内のパラメーターを変更する必要はありません。
システムの動作が不安定になる場合があるので、パラメーターを変更する場合はネットワークの管理者とご相談ください。

NSP-100 ネットワークプレーヤーの設定を行う

管理しているネットワークプレーヤーの設定を行い、設定値を転送することができます。複数のネットワークプレーヤーを管理している場合などに便利です。

ご注意

この操作を行うとネットワークプレーヤーが再起動されます。送出中のネットワークプレーヤーに対しては、実行しないでください。

1. メインメニューで、[NSP-100 設定]をクリックします。
   NSP-100 設定ダイアログボックスが表示されます。

   ご注意

   [NSP-100 設定]をクリックしたときに、パスワード入力が必要となる場合があります。
   定められているパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。このパスワードの設定は、環境設定ダイアログボックスで行います。
2. 設定を行うネットワークプレーヤーまたはネットワークプレーヤーのグループを送信先セクションで指定します。
3. [送信]より上にある各項目を設定、変更します。
   項目の詳細については、NSP-100 設定ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
4. [送信]をクリックして、設定値を転送します。
   転送中にエラーが発生した場合は、メッセージが表示されます。ネットワークプレーヤーのグループに設定値を転送した場合は、メインメニューの[転送状況]をクリックして、どのネットワークプレーヤーへの転送でエラーが発生したのかを確認してください。
5. 他のネットワークプレーヤーまたはグループに対する設定を行う場合は、この操作を繰り返します。

他のネットワークプレーヤーから設定値をコピーするには

NSP-100 設定ダイアログボックスの、コピー元の選択セクションでコピー元のネットワークプレーヤーまたはグループを選択し、[コピー]をクリックします。
画面に表示されている設定値が、選択したネットワークプレーヤーまたはグループと同じになりますので、必要な部分を変更して、他のネットワークプレーヤーやグループに転送することができます。

ご注意

この機能は、ソフトウェアが管理している設定値をコピー元として使用します。選択したネットワークプレーヤーから設定値を取得するわけではありませんので、ご注意ください。

ネットワークプレーヤーで使用する制御ファイルの内容を編集する

ネットワークプレーヤーでは、次の制御ファイルを使用して、プラズマディスプレイなどの外部機器を制御したり、ネットワークプレーヤー上でコマンドリストを実行したりすることができます。

- PdpCfg.txt ： 外部機器の制御イベントや制御コマンドの緊急再生で、ネットワークプレーヤーの RS-232C/GPI コネクターに接続されているプラズマディスプレイの制御を行うための設定ファイル
- GpiCfg.txt ： 外部機器の制御イベントで、ネットワークプレーヤーの RS-232C/GPI コネクターに接続されている機器に GPI パルスを出力して制御を行うため、またはネットワークプレーヤーに入力される GPI パルスによって指定したプレイリストを再生するなどのための設定ファイル
- CmdLst.txt ： ネットワークプレーヤー上で実行するコマンドリストファイル(オーディオのレベルを時間帯によって変更することなど、時刻または時間帯によるネットワークプレーヤーの制御が可能です)

BZNP-100 では、この制御ファイルの内容を変更したい場合に、ファイルを編集し、単体のネットワークプレーヤーまたは複数のネットワークプレーヤーのグループに送信することができます。

ご注意

制御ファイルに問題があると、ネットワークプレーヤーが動作しなくなる可能性がありますので、十分ご注意ください。万一動作しなくなってしまった場合は、「BZNP-100 のインストールフォルダ¥Masterfl」フォルダに出荷時の制御ファイルがありますので、コピーして復帰させてください。
制御ファイルの編集を行う場合は、ネットワークプレーヤーのプロトコルマニュアルを参照してください。プロトコルマニュアルについては、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。

1 メインメニューで、[NSP-100 設定]をクリックします。
NSP-100 設定ダイアログボックスが表示されます。

ご注意

[NSP-100 設定]をクリックしたときに、パスワード入力が必要となる場合があります。
定められているパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。このパスワードの設定は、環境設定ダイアログボックスで行います。

2 制御ファイルを送信するネットワークプレーヤーまたはネットワークプレーヤーのグループを送信先セクションで指定します。

3 制御ファイル編集セクションで、編集、送信を行うファイルを選択します。

4 編集を行う場合は、[編集]をクリックします。
txt というファイルの拡張子に関連付けられているテキスト編集のアプリケーションが起動され、選択された種類の制御ファイルが、そのアプリケーションのウィンドウに表示されます。
編集を行わない場合は、手順 7 に進みます。

5 編集を行います。

6 上書き保存を行って、テキスト編集のアプリケーションを閉じます。
ファイル名や保存場所を変更しないでください。

7 [制御ファイルの送信]をクリックして、制御ファイルをネットワークプレーヤーに送信します。
制御ファイルは、ネットワークプレーヤーに保存されます。

8 ファイルを受信したネットワークプレーヤーを、再起動します。

ヒント

GpiCfg.txt および CmdLst.txt ファイルの場合、制御ファイルの指定の仕方で、再起動しないで反映させる方法もあります。

他のネットワークプレーヤーの制御ファイルを使用するには

制御ファイルを、他のネットワークプレーヤーまたはグループでも使用するには、上記の操作の前に、Windows のエクスプローラなどで、使用する制御ファイルをコピーしてください。

このソフトウェアがインストールされているフォルダの下の NSP フォルダに、各ネットワークプレーヤーの名称のフォルダがあります。単体のネットワークプレーヤー用の制御ファイルは、そのネットワークプレーヤーのフォルダから、送信先のネットワークプレーヤーのフォルダにコピーしてください。グループの場合は、制御ファイルはインストールフォルダの下の PLIST フォルダにある、各グループの名称のフォルダにあります。
例えば、HQ というネットワークプレーヤーのプラズマディスプレイの制御ファイルを、Tokyo というグループに送信する場合は、BZNP-100 のインストールフォルダの中の NSP¥HQ フォルダの PdpCfg.txt というファイルを、PLIST¥Tokyo フォルダにコピーしてから、手順 1 から 3 と 7、8 を行います。

ネットワークプレーヤーの待機画面およびプレイリスト・スタンバイ画面を設定する

ネットワークプレーヤーは、何も送出していないときに、特定の静止画(「待機画面(Standby Screen)」と呼びます)を表示します。また、次に送出を行うプレイリストを読み込んで送出スタンバイを行う際にも、待機画面とは異なる特定の静止画(「プレイリスト スタンバイ画面」と呼びます。出荷時の設定は黒一色の画面です)を表示します。
この待機画面およびプレイリスト・スタンバイ画面を、BZNP-100 で変換した静止画に変更することができます。

1. 素材管理ウィンドウが表示されていない場合は、メインメニューの[素材管理]をクリックして表示させます。
2. 静止画パネルを選択します。
3. 希望の静止画を右クリックして、待機画面に設定する場合はメニュー上の[待機画面の変更]を、プレイリスト・スタンバイ画面に設定する場合は[プレイリスト・スタンバイ画面の変更]をクリックします。
   どちらの場合も確認のメッセージが表示されます。
4. [はい]をクリックします。

変更した待機画面を元の画像に戻すには
待機画面を、素材管理ウィンドウの静止画パネルに表示される、分類が「Menu」、タイトルが「Default Standby Screen」となっている静止画の素材に変更します。この静止画のコードは、NTSC では S000000N、PAL では S000000P となっています。この 2 つがデフォルト(初期状態)の待機画面となっている静止画です。

ご注意
変更したプレイリスト スタンバイ画面を元の黒一色の画面に戻すことはできません。
同じように黒一色の静止画を作成し、プレイリスト スタンバイ画面として設定してください。

ネットワークプレーヤーの特殊再生用プレイリストを設定する

ネットワークプレーヤーには、次の 2 種類のプレイリストを設定しておくことができます。
この設定は各ネットワークプレーヤーでも行うことができます。BZNP-100 を使用すると、同じグループのネットワークプレーヤーすべてに一度に設定を行うことができます。

- 電源オンスタートプレイリスト
  ネットワークプレーヤーの電源がオンになると自動的にスタートします。
- ワンタッチスタートプレイリスト
  待機画面表示中にネットワークプレーヤーのリモコンの再生ボタンを押すとスタートします。

ヒント

スケジュール・アプリケーションの場合は、送出の日時が指定されているプレイリストの優先順位が一番上です。送出日時が指定されているプレイリストの開始時刻の約 10 秒前に、再生中の電源オンスタートプレイリストやワンタッチスタートプレイリストの再生は中止されます。

1. 素材管理ウィンドウが表示されていない場合は、メインメニューの[素材管理]をクリックして表示させます。
2. プレイリストパネルを選択し、設定を行うネットワークプレーヤーのグループを送信先セクションで選択して、PC 内のファイル管理オプションボタンをクリックします。
3. 希望のプレイリストを右クリックして、電源オンスタートに設定する場合はメニュー上の[電源オン・スタート設定]を、ワンタッチスタートに設定する場合は[ワンタッチ・スタート設定]をクリックします。
4. 設定を行ったプレイリストを、選択したネットワークプレーヤーのグループに送信します。

設定を解除するには

電源オンスタート(黄緑色で表示)、またはワンタッチスタート(緑色で表示)の設定を解除する場合は、上記の手順 3 で設定されているプレイリストまたはプレイリスト･モジュールを右クリックし、メニュー上の[電源オン/ワンタッチ・スタート設定解除]をクリックしてから、同様にネットワークプレーヤーのグループに送信します。

ご注意

電源オンスタート、またはワンタッチスタートのプレイリストは、それぞれのネットワークプレーヤーでリモコンを使用して設定することもできます。素材管理ウィンドウの NSP-100 のリモート制御オプションボタンをクリックしてネットワークプレーヤーを選択すると、そのネットワークプレーヤーの設定状況が確認できます。
ただし、BZNP-100 からネットワークプレーヤーに個別に電源オンスタート、またはワンタッチスタートのプレイリストを設定/設定解除することはできません。

ネットワークプレーヤーのグループの設定を行う

プレイリストや素材は、ネットワークプレーヤーのグループごとに送信します。
使用するディスプレイの種類（テレビなど（オーバースキャン）または PC のモニターやプラズマディスプレイなど（アンダースキャン））を各グループで指定して、動画やテロップの画面上での表示位置を調整する機能があるので、ディスプレイの種類によってグループを分けることをお勧めします。
ネットワークプレーヤーのグループは、次のように作成します。

ご注意

BZNP-100LE では、1 台だけネットワークプレーヤーを使用します。
[グループ設定]をクリックすると NSP-100 名称設定ダイアログボックスが表示されますので、手順 3 だけを実行してください。ここでつけたネットワークプレーヤーの名称が、自動的にグループの名称となります。

1 メインメニューで、[グループ設定]をクリックします。
グループ設定ダイアログボックスが表示されます。

2 まず、使用するネットワークプレーヤーを登録します。
2-1 NSP-100 の[新規作成]をクリックします。
2-2 NSP-100 名称設定ダイアログボックスで、登録するネットワークプレーヤーにつける名前と、IP アドレスをそれぞれのテキストボックスに入力し、[OK]をクリックします。
必ず、ネットワークプレーヤー本体に設定した IP アドレスを入力してください。[接続チェック]をクリックすると、入力した IP アドレスへの接続チェックが行われ、結果が表示されます。
2-3 手順 2-1 と 2-2 を繰り返して、使用するネットワークプレーヤーをすべて登録します。

3 次に、グループを作成します。
3-1 [グループ編集]をクリックします。
3-2 グループ編集ダイアログボックスで、[新規作成]をクリックします。
3-3 作成するグループの名称を入力し、そのグループで使用するディスプレイのサイズ（テレビなどを使用する場合は、「オーバースキャン」、PC のモニターやプラズマディスプレイなどを使用する場合は「アンダースキャン」）を選択して、[OK]をクリックします。
ここで「オーバースキャン」を選択すると、動画やテロップの表示位置設定時に選択できる「左上」や「下」などの表示位置が、PC のモニターなどより狭いテレビなどでもはみださないような値になります。
3-4 手順 3-2、3-3 を繰り返して、グループをすべて登録します。

4 グループ編集ダイアログボックスに表示されるグループの順番は、ソフトウェアの中で選択肢として表示されるグループの順番を示しています。
ドラッグ&ドロップ操作でグループを希望の順に並べ替え、[OK]をクリックします。

5 手順 2 で登録したネットワークプレーヤーを各グループに分けます。
5-1 グループのドロップダウンリストボックスで、設定を行うグループを選択します。
右側のリストには、選択したグループに属しているネットワークプレーヤーの一覧が、左側のリストには、システムに登録されていて、そのグループに属していないものの一覧が表示されます。
5-2 選択して[追加>>]または[<<削除]をクリックする、という方法で、ネットワークプレーヤーを、2 つのリスト間で移動させ、右側の選択されているグループのリストに、そのグループに入るネットワークプレーヤーがすべて表示されるようにします。
5-3 手順 5-1、5-2 を繰り返して、すべてのグループにネットワークプレーヤーを分けます。

6 [OK]をクリックします。

ご注意

1 台のネットワークプレーヤーを複数のグループに所属させることもできます。

グループ内でのネットワークプレーヤーの優先順位を指定するには

プレイリストや素材をグループに対して送信すると、グループのリスト(右側)の順番で、個々のネットワークプレーヤーに送信されます。
このネットワークプレーヤーの優先順位は、グループ設定ダイアログボックスで登録されているネットワークプレーヤー

を並べ替えることによって指定できます。ドラッグ＆ドロップ操作を使用して、グループのリスト上でネットワークプレーヤーを希望の順番に並べ、[OK]をクリックしてください。

グループを削除するには

グループ編集ダイアログボックスを表示させ、削除したいグループを選択し、[削除]をクリックします。
確認のメッセージに対して[はい]をクリックし、グループ編集ダイアログボックスの[OK]をクリックします。
グループ設定ダイアログボックスで[OK]をクリックした時に、そのグループは実際に削除されます。

グループの名称またはグループで使用するディスプレイのサイズを変更するには

グループ編集ダイアログボックスを表示させ、変更するグループを選択し、[編集]をクリックします。
表示されるグループ名称設定ダイアログボックスで名前またはディスプレイのサイズを変更し、[OK]をクリックします。
グループ編集ダイアログボックスとグループ設定ダイアログボックスで、それぞれ[OK]をクリックすると、そのグループの名称またはディスプレイのサイズが実際に変更されます。

ネットワークプレーヤーの名称または IP アドレスを変更するには

1. 変更したいネットワークプレーヤーが選択されているグループに属しているときは、まず、そのグループから削除して、左側のリストに置きます。
2. 左側のリストで、希望のネットワークプレーヤーを選択して、[編集]をクリックします。
   または変更するネットワークプレーヤーをダブルクリックします。
   NSP-100 名称設定ダイアログボックスが表示されます。
3. ネットワークプレーヤーの名称または IP アドレスを変更して、[OK]をクリックします。
4. 変更したネットワークプレーヤーをいずれかのグループに登録してから、グループ設定ダイアログボックスの[OK]をクリックします。

ご注意

IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワークプレーヤー本体の設定も変更してください。

ネットワークプレーヤーの登録を削除するには

1. 削除したいネットワークプレーヤーが選択されているグループに属しているときは、まず、そのグループから削除して、左側のリストに置きます。
2. 左側のリストで、削除したいネットワークプレーヤーを選択します。
3. NSP-100 の[削除]をクリックします。
   確認のメッセージに対して[はい]をクリックすると、そのネットワークプレーヤーの登録は削除されます。
4. グループ設定ダイアログボックスの[OK]をクリックします。

NSP-100 のメンテナンスコマンド

NSP-100 設定ダイアログボックスには、ネットワークプレーヤーのメンテナンス用のコマンドが用意されています。

- NSP-100 を再起動
  障害の起きたネットワークプレーヤーを再起動する時に使用します。（ただし、ネットワークに関する障害の場合は再起動できない場合があります）
- ファームウェアのバージョンアップ
  管理しているネットワークプレーヤーのファームウェアを転送し、バージョンアップを行います。

ご注意

- どちらのボタンも、ネットワークプレーヤーが再起動されますので、送出中のネットワークプレーヤーに対して使用しないでください。
- [NSP-100 設定]をクリックしたときに、パスワード入力が必要となる場合があります。
  定められているパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。このパスワードの設定は、環境設定ダイアログボックスで行います。

ネットワークプレーヤーを再起動する

1. メインメニューで、[NSP-100 設定]をクリックします。
   NSP-100 設定ダイアログボックスが表示されます。
2. 送信先セクションの単体オプションボタンをクリックし、名称ドロップダウンリストボックスで再起動するネットワークプレーヤーを選択します。
   グループを選択して再起動を行うことはできません。
3. [NSP-100 を再起動]をクリックします。
   確認のメッセージが表示されます。
4. [はい]をクリックします。

ネットワークプレーヤーのファームウェアをバージョンアップする

1. メインメニューで[NSP-100 ステータス]をクリックします。
   NSP-100 ステータスウィンドウが表示されます。
2. グループドロップダウンリストボックスで、バージョンアップを行おうとしているネットワークプレーヤーのグループを選択します。
   希望のグループがすでに選択されている場合は、[更新]をクリックします。
   選択したグループに属するネットワークプレーヤーのステータスと、ハードディスクドライブの残容量がリストに表示されます。再生中でないことを確認してください。
3. メインメニューで、[NSP-100 設定]をクリックします。
   NSP-100 設定ダイアログボックスが表示されます。
4. バージョンアップを行うネットワークプレーヤーまたはネットワークプレーヤーのグループを送信先セクションで指定します。
5. [ファームウェアのバージョンアップ]をクリックします。
   確認のメッセージが表示されます。
6. [はい]をクリックします。
   ファームウェアのファイルが転送されます。また、ファイルの転送後、ネットワークプレーヤーは自動的に再起動します。
   転送中にエラーが発生した場合は、メッセージが表示されます。ネットワークプレーヤーのグループにファームウェアのファイルを転送した場合は、メインメニューの[転送状況]をクリックして、どのネットワークプレーヤーへの転送でエラーが発生したのかを確認してください。

   ヒント

   転送しようとしたファームウェアのバージョンがネットワークプレーヤー側と同じであったりネットワークプレーヤー側より古い場合には、実際のバージョンアップは行われませんが、結果は OK となります。

ウィンドウとダイアログボックス

環境設定ダイアログボックス

環境設定ダイアログボックスでは、このアプリケーションに関する設定を行います。希望の設定値を入力して、[OK]をクリックします。

アプリケーション動作モードセクション
このアプリケーションを、リモコンによる送出を行うプレゼンテーション・アプリケーション用に使用するか、指定したスケジュールどおりに自動送出を行うスケジュール・アプリケーション用に使用するかを選択します。
この項目の変更にはアプリケーションの再起動が必要です。

ビデオフォーマットセクション
使用するビデオ信号(NTSC または PAL)を選択します。日本では通常 NTSC を選択します。
この項目の変更にはアプリケーションの再起動が必要です。

素材管理フォルダセクション
素材およびプレイリストを保存するフォルダを種類ごとに指定します。
絶対パスまたはアプリケーションがインストールされているフォルダからの相対パスを入力するか、[フォルダの参照]をクリックして、フォルダの階層構造をたどって指定してください。

ご注意
何らかの原因で素材のデータベースに問題が生じた場合は、各素材に対応した[データ再構築]をクリックして、データベースの再構築を行ってください。
また、複数の BZNP-100 で一ヶ所の共有フォルダ内の素材を使用するような運用の場合は、[データ再構築]をクリックすることによって、他の人が行った操作の結果を素材管理画面などの素材リストに反映させることができます。
ただし、、登録されている素材の数が多いと、データベースの再構築には時間がかかりますのでご注意ください。

素材コード開始番号設定セクション
素材を登録するときに、システムが自動的に割り振る素材コードの開始番号を、素材の種類ごとに指定します。
複数の BZNP-100 で一ヶ所の共有フォルダ内の素材を使用するような運用の場合は、BZNP-100 ID テキストボックスに、各 BZNP-100 の ID となる 0～9 または a～z のいずれか一文字を指定することで、まちがって素材を上書きしてしまう事態を避けることができます。
例えば、1 台目に a、2 台目に b という ID を指定すると、1 台目で作成するプレイリストは Pa000001 から、2 台目で作成するものは Pb000001 からのコードが割り振られ、どこで作成されたものかがわかるようになります。

ヒント
素材コードは、素材の種類を示すアルファベット＋7 桁の数字、または素材の種類を示すアルファベット＋BZNP-100 ID＋6 桁の数字で構成されます。(運用の形態によっては、下から 6 桁目もアルファベットになる場合があります)7 桁または 6 桁の数字は登録する素材ごとに自動的に 1 ずつ増えていきます。

NSP-100 設定画面のパスワード設定
NSP-100 設定ダイアログボックスには、ネットワークのセキュリティーなど NSP-100 の重要な設定を変更できる機能があります。そのため、パスワードを設定して、システム管理者しか参照、変更できないようにすることができます。
NSP-100 設定ダイアログボックスを開く際に使用するパスワードを設定／変更する場合は、古いパスワードテキストボックスに現在のパスワードを、新しいパスワードおよび新しいパスワードの確認テキストボックスに、新しいパスワードを入力します。パスワードは 8 文字までの半角の英数字で、大文字、小文字は区別されます。
新しいパスワードは、ミスタイプを防ぐために 2 ヵ所に同じものを入力してください。
パスワードを解除するには、古いパスワードテキストボックスに現在のパスワードを入力し、新しいパスワードおよび新しいパスワードの確認テキストボックスに何も入力しないで、[OK]をクリックしてください。

スケジュールプレイリストの自動送信設定(全グループ)セクション (スケジュール・アプリケーションのみ)
プレイリストおよび必要な素材を自動的にネットワークプレーヤーに送信するかどうかの設定を行います。
自動送信を行わない場合は、送信モードドロップダウンリストボックスで[禁止]を選択します。いつでも自動送信を行えるようにする場合は、[許可(制限なし)]、夜間などの特定の時間にだけ自動送信を行う場合は[許可(時間制限)]を選択します。
自動送信を許可する場合には、送信できなかった場合にリトライする間隔(時:分)を、リトライ間隔の 2 つのテキストボックスで指定します。例えば、30 分ごとにリトライを行う場合は、「0:30」を指定します。
[許可(時間制限)]を選択した場合は、さらに、自動送信を許可する時間帯を開始時刻および終了時刻スピンボックスで指定します。
この機能は、現在の時刻よりも後の送出イベントがあるプレイリストについて、PC 上のプレイリストとネットワークプレーヤー上のプレイリストを比較し、更新されているものだけを自動送信します。
通常は、「許可(時間制限)」に設定することをお薦めします。送信を許可する時間帯には、ハードディスクのスリープ時間を避けた時間を設定してください。

手動送信時の自動再送設定セクション
プレイリストや素材を手動で送信する際、エラーが発生した場合に、自動的に再送信を行うかどうかを指定します。
通常は、「自動再送する」に設定することをお薦めします。

ヒント
スケジュールプレイリストの自動送信(上記)でエラーが発生した場合は、この項目の設定にかかわらず、指定した間隔で自動的に再送信が行われます。

ネットワーク環境設定ボタン
ネットワークに関する詳細なパラメーターを変更するためのネットワーク環境設定ダイアログボックスを表示します。

ご注意
通常はネットワーク環境設定ダイアログボックス内のパラメーターを変更する必要はありません。
システムの動作が不安定になる場合があるので、パラメーターを変更する場合はネットワークの管理者とご相談ください。

ネットワーク環境設定ダイアログボックス

ネットワーク環境設定ダイアログボックスでは、ネットワークに関する詳細なパラメーターを変更することができます。このシステムでは、プレイリストや素材の送受信に FTP を、ネットワークプレーヤーのステータスやエラーなどの通信に Telnet を用いています。

ご注意

通常はネットワーク環境設定ダイアログボックス内のパラメーターを変更する必要はありません。
システムの動作が不安定になる場合があるので、パラメーターを変更する場合はネットワークの管理者とご相談ください。

FTP 設定セクション

セッション数には、同時に接続するネットワークプレーヤーの台数を指定します。多くすると、1 台への送信に時間がかかります。
モードには、PORT または PASV が指定できます。通常は PORT を指定しますが、不正なアクセスを防ぐためにファイアウォールなどでセキュリティー管理を行っている場合、PASV モードを使用すれば、PORT モードで不可能だったファイル送信ができるようになることがあります。ただし、ルーターなどが対応していないと送信できなくなりますので、ご注意ください。

FTP タイムアウト設定セクション

FTP のタイムアウト時間を指定します。接続開始時または送信中にタイムアウトエラーが発生する場合に、時間を増やしてください。

FTP データサイズ設定セクション

送信データサイズには、一度に送信するデータパケットサイズを指定します。大きくすると、速度が向上することがあります。
送信／受信バッファサイズには、パケット送信、受信時にバッファリングするデータサイズです。送信データサイズの 4 倍を目安として、必ず送信データサイズよりも大きな値を指定してください。

Telnet タイムアウト設定セクション

Telnet のタイムアウト時間を指定します。接続開始時または送信中にタイムアウトエラーが発生する場合に、時間を増やしてください。

デフォルトに戻すボタン

ダイアログボックス内のすべてのパラメーターをデフォルト(初期値)に戻します。

NSP-100 設定ダイアログボックス

NSP-100 設定ダイアログボックスでは、ネットワークプレーヤーの設定を行い、設定値を転送します。
また、ネットワークプレーヤーのファームウェアのバージョンアップを行う機能や、ネットワークプレーヤー上で使用する制御ファイルの内容を編集し、ネットワークプレーヤーに送信する機能なども用意されています。

ご注意

- この設定を行う前に、各ネットワークプレーヤーのリモコンで、IP アドレスなどネットワークに関する設定を済ませておいてください。
- 設定ファイル送信後(またはバージョンアップ後)、ネットワークプレーヤーが自動的に再起動されますので、送出中のネットワークプレーヤーに対してこの操作は行わないでください。
  あらかじめ、メインメニューの[NSP-100 ステータス]でネットワークプレーヤーのステータスを確認してから、操作を行ってください。
- ダイアログボックスに表示されている値は BZNP-100 が管理しているもので、付属のリモコンや http メニューで変更した NSP-100 の設定は反映されません。このダイアログボックスでネットワークプレーヤーの設定を行う場合は、付属のリモコンや http メニューを使用しないようにしてください。

送信先セクション
設定値の転送先を指定します。
1 台のネットワークプレーヤーに転送する場合は、単体オプションボタンをクリックして、名称ドロップダウンリストボックスで転送先のネットワークプレーヤーの名称を選択します。
あるグループに所属しているすべてのネットワークプレーヤーに同時に同じ設定値を転送する場合は、グループオプションボタンをクリックして、名称ドロップダウンリストボックスでグループの名称を選択します。

コピー元の選択セクション
ネットワークプレーヤーまたはグループを指定して、[コピー]をクリックすると、そのネットワークプレーヤーまたはグループの設定値を画面上にコピーできます。複数のネットワークプレーヤーを使用している場合など、コピーした設定値を変更して、別のネットワークプレーヤーやグループに転送することで、設定をすばやく行うことができます。

ご注意
この機能は、ソフトウェアが管理している設定値をコピー元として使用します。選択したネットワークプレーヤーから直接、設定値などを取得するわけではありませんので、ご注意ください。
また、ネットワークプレーヤーで外部機器の制御イベントなどに使用する設定ファイルや NSP-100 のコマンドリストのファイルは、ここでコピーすることはできません。

環境設定セクション
ネットワークプレーヤーの操作に関する設定を行います。詳しくはネットワークプレーヤーのマニュアルをご覧ください。

ご注意
MENU 画面調整の位置やサイズを設定したくないときは、全て空白にしてください。

システム管理者設定セクション
ネットワークプレーヤーのシステム管理者に関する設定を行います。詳しくは、ネットワークプレーヤーのマニュアルをご覧ください。

ご注意
このセクションのパスワードに使用できるのは数字のみ(4 桁)です。パスワードを使用しない場合は、パスワード欄を 2 つとも空白にしてください。

時刻合わせ(NTP)セクション
NTP サーバーによる時刻合わせを行わない場合は、時刻合わせドロップダウンリストボックスで「しない」を選択します。

時刻合わせを行う場合は、下記の設定を行います。

項目	設定
時刻合わせ	する
サーバーIP アドレス	時刻合わせに使用する NTP サーバーの IP アドレス
同期タイミング	毎日自動で時刻合わせを行う場合には「指定時刻」を、もっと頻繁に時刻合わせを行う場合は、「定期的」選択します
同期時刻／時間	同期タイミングに「指定時刻」を選択した場合は、ここで時刻合わせを行う時刻を指定します。「定期的」を選択した場合は、時刻合わせの間隔を指定します。
タイムゾーン	ネットワークプレーヤーおよび NTP サーバーの属するタイムゾーン

ネットワークのセキュリティ設定(FTP、Telnet)セクション

設定を行っているネットワークプレーヤーにこのアプリケーションがアクセスする際に使用するユーザ名とパスワード(まちがいを防ぐために同じものを 2 回入力します)を設定します。

送信先に単体のネットワークプレーヤーが選択されている場合は、[接続チェック]をクリックすると、保存されている設定のユーザ名とパスワードを使用して、ネットワークプレーヤーへの接続チェックを行い、結果を表示します。

ご注意

- セキュリティをデフォルト(初期状態)にする場合は、ユーザ名と 2 つのパスワード欄の 3 つとも空白にしてください。
- メンテナンスなどのために BZNP−100 が動作する PC を交換した場合などは、使用しているユーザ名とパスワードを入力して、[BZNP にのみ保存]をクリックします。この場合は、他のセクションの設定は必要ありません。また、ネットワークプレーヤーへの設定値の送信は行わないでください。

ハードディスクのスリープ設定(毎日)セクション

ネットワークプレーヤーのハードディスクを一日に一度休止させるための設定を変更します。NSP-100 の初期設定は、設定が「スリープのみ」、スリープ開始時刻は「午前 3:00」になっています。

設定ドロップダウンリストボックスでは、休止方法を選択します。「スリープのみ」を選択した場合、指定時刻になるとネットワークプレーヤーは待機画面を表示してハードディスクドライブを 1 分程度スリープさせます。その後、プレゼンテーション・アプリケーションの場合、電源オン・スタート設定のプレイリストがあれば、その再生が行われます。スケジュール・アプリケーションの場合、その時刻にスケジュールされているプレイリストがあればそこから、プレイリストのリピート中の場合は、プレイリスト先頭のイベントから、送出が再開されます。

「スリープ後に再起動」を選択した場合は、1 分程度のスリープ後にネットワークプレーヤーが再起動します。

スリープ開始時刻スピンボックスでは、ネットワークプレーヤーの休止を開始する時刻(24 時制)を設定します。再生や素材などの受信を行わない時間帯を指定してください。

ご注意

ネットワークプレーヤーNSP-100 は、毎日 24 時間連続で再生や素材などの受信を行うことはできません。スリープ中の 1 分程度、再起動を行う場合はさらにその後 1 分程度は、素材やプレイリストの受信、および再生が行えませんのでご注意ください。

ディスプレイの表示を 24 時間途切れさせたくない場合は、「スリープのみ」を選択してください。スリープ中は待機画面が表示されます。

スケジュール・アプリケーションでプレイリストを繰り返し再生する場合には、この他にプレイリストのプロパティダイアログボックスで毎日の終了時間を設定し、ハードディスクの連続モーター稼働時間を極力減らすことをお薦めします。

送信ボタン

ネットワークを介して設定値を単体のネットワークプレーヤーまたは複数のネットワークプレーヤーのグループに送信します。

NSP-100 メンテナンスコマンドセクション

NSP-100 を再起動ボタンは、送信先セクションで指定した単体のネットワークプレーヤーを再起動します。

ファームウェアのバージョンアップボタンは、ネットワークプレーヤーNSP-100 のファームウェアのバージョンアップを行います。

このボタンをクリックすると、送信先の単体のネットワークプレーヤーまたは複数のネットワークプレーヤーのグループに、ネットワークを介して新しいファームウェアが送信され、バージョンアップが行われます。

制御ファイル編集セクション

次の 3 種類の制御ファイルの内容を変更したい場合に、ファイルを編集し、送信先セクションで指定した単体のネットワークプレーヤーまたは複数のネットワークプレーヤーのグループに送信することができます。
ここで使用するサンプルのファイルは、BZNP-100 をインストールしたフォルダの中の NSP フォルダにあり、編集または送信を最初に行う際に、単体のネットワークプレーヤーの場合は「BZNP-100 のインストールフォルダ¥NSP¥ネットワークプレーヤーの名称フォルダ」に、グループの場合は「BZNP-100 のインストールフォルダ¥PLIST¥グループの名称フォルダ」に自動的にコピーされます。

- PdpCfg.txt ： 外部機器の制御イベントや制御コマンドの緊急再生で、ネットワークプレーヤーの RS-232C/GPI コネクターに接続されているプラズマディスプレイの制御を行うための設定ファイル
- GpiCfg.txt ： 外部機器の制御イベントや制御コマンドの緊急再生で、ネットワークプレーヤーの RS-232C/GPI コネクターに接続されている機器に GPI パルスを出力して制御を行うため、またはネットワークプレーヤーに入力される GPI パルスによって指定したプレイリストを再生するための設定ファイル
- CmdLst.txt ： ネットワークプレーヤー上で実行するコマンドリストファイル(オーディオのレベルを時間帯によって変更することなど、時刻または時間帯によるネットワークプレーヤーの制御が可能です)

ファイル名ドロップダウンリストボックスは、編集または送信を行う制御ファイルを選択します。
編集ボタンは、送信先の選択セクションで選択されている単体またはグループのネットワークプレーヤー用に管理されている、選択された種類の制御ファイルを、txt というファイルの拡張子に関連付けられているアプリケーションで開きます。編集後は上書き保存を行ってください。
制御ファイルの送信ボタンは、その制御ファイルを送信先に指定されているネットワークプレーヤーに送信します。

ご注意

- 実際に動作させるには、ファイル送信後にネットワークプレーヤーを再起動させる必要があります。
  ただし、GpiCfg.txt および CmdLst.txt ファイルの場合、制御ファイルの内容によっては、再起動が必要ない場合もあります。
- ネットワークプレーヤーの制御ファイルに問題があると、ネットワークプレーヤーが動作しなくなる可能性がありますので、十分ご注意ください。万一動作しなくなってしまった場合は、「BZNP-100 のインストールフォルダ¥Masterfl」フォルダに出荷時の制御ファイルがありますので、コピーして復帰させてください。
  制御ファイルの編集を行う場合は、ネットワークプレーヤーのプロトコルマニュアルを参照してください。プロトコルマニュアルについては、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。

グループ設定ダイアログボックス

BZNP-100(BZNP-100LE を除く)は、複数のネットワークプレーヤーNSP-100 を管理することができます。
グループ設定ダイアログボックスでは、ネットワークプレーヤーを何台かずつまとめて管理するための「グループ」を作ることができます。素材やプレイリストをグループ単位で送信します。

NSP-100 セクション(左側)

新規作成ボタン
新しくネットワークプレーヤーをリストに登録するための NSP-100 名称設定ダイアログボックスを表示します。

編集ボタン
リストで選択されているネットワークプレーヤーの名称および IP アドレスを変更するための NSP-100 名称設定ダイアログボックスを表示します。

削除ボタン
リストで選択されているネットワークプレーヤーを削除します。

NSP-100 リスト
登録されているネットワークプレーヤーのうち、右半分で選択されているグループに入っていないものが表示されています。

グループセクション(右側)

グループ編集ボタン
新しいグループを作成したり、グループの表示順を変更したりするためのグループ編集ダイアログボックスを表示します。

グループドロップダウンリストボックス、グループリスト
ドロップダウンリストボックスで選択したグループに属しているネットワークプレーヤーがリストに表示されます。グループへの送信時には、上に表示されているネットワークプレーヤーから順番に送信を行います。ドラッグ&ドロップ操作で、グループ内でのネットワークプレーヤーの優先順位を変更することができます。

追加>>ボタン、<<削除ボタン
追加>>ボタンは、NSP-100 リストで選択したネットワークプレーヤーを右側のリストに移し、グループドロップダウンリストボックスで選択されているグループに追加します。
<<削除ボタンはその反対に、表示されているグループに属する選択されたネットワークプレーヤーをグループから削除します。削除されたネットワークプレーヤーは、左側のリストに移ります。

グループ編集ダイアログボックス

BZNP-100(BZNP-100LE を除く)は、複数のネットワークプレーヤーNSP-100 を管理することができます。
グループ編集ダイアログボックスは、ネットワークプレーヤーを何台かずつまとめて管理するための「グループ」を管理する際に使用します。

新規作成ボタン
新しいグループを作成するためのグループ名称設定ダイアログボックスを表示します。

編集ボタン
現在グループリストで選択されているグループを変更するためのグループ名称設定ダイアログボックスを表示します。

削除ボタン
現在グループリストで選択されているグループを削除します。

グループリスト
現在登録されているグループがリストに表示されます。
ドラッグ&ドロップ操作で、グループの表示順を変更することができます。

NSP-100 名称設定ダイアログボックス

NSP-100 名称設定ダイアログボックスでは、BZNP-100 から素材やプレイリストを受け取って再生を行うネットワークプレーヤーNSP-100 の名称を設定します。システムの操作中は、ここで付ける名称で各ネットワークプレーヤーを特定します。

ご注意

BZNP-100LE をお使いの場合は、ネットワークプレーヤーを 1 台だけ使用しますので、ここでつけたネットワークプレーヤーの名称が自動的にグループ名となります。

NSP-100 名称テキストボックス

ネットワークプレーヤーにつける名称を入力します。
すでに登録されているネットワークプレーヤーと同じ名称はつけられません。

IP アドレステキストボックス

この名称を設定するネットワークプレーヤーの IP アドレスを入力します。
すでに登録されているネットワークプレーヤーと同じ IP アドレスはつけられません。

接続チェックボタン

IP アドレステキストボックスに指定されている IP アドレスの機器の接続チェックを行い、結果を表示します。
ネットワークプレーヤーにパスワードを設定している場合は、NSP-100 設定ウィンドウで BZNP-100 側にも同じパスワードを設定してからでないとパスワードの不一致が起こります。

グループ名称設定ダイアログボックス

グループ名称設定ダイアログボックスでは、新しく追加するグループの名称を入力し、そのグループで使用されるモニターの画面サイズを選択します。

グループ名称テキストボックス
グループの名称を入力します。

ご注意
すでに登録されているグループと同じ名称はつけられません。

画面サイズドロップダウンリストボックス
ネットワークプレーヤーに接続されているモニターに応じて、画面サイズを選択します。
テレビなどを使用する場合は、「オーバースキャン」を、PC のモニターやプラズマディスプレイなどを使用する場合は「アンダースキャン」を選択します。アンダースキャンのモニターでは画面全体が表示されますが、オーバースキャンのモニターでは周囲がはみ出して表示されないため、ここで「オーバースキャン」を選択すると、あらかじめ登録されている動画やテロップの「左上」、「下」の表示位置がテレビなどの表示範囲からはみださないような値になります。

転送状況ウィンドウ

転送状況ウィンドウで、プレイリストや素材の転送状況を確認できます。最後に送信を行ったグループに関する状況が表示されます。送出ログ画面でのログの取得、素材管理画面でのネットワークプレーヤーのリモート制御、NSP-100 設定画面での設定の送信を行った場合は、表示はクリアされます。

ご注意

スケジュール・アプリケーションでのプレイリストの自動送信機能によって送信された結果は、ここには表示されません。

グループ表示

選択されているグループの名称を表示します。このグループに対する転送状況が表示されます。

転送状況リスト

表示されているグループの各ネットワークプレーヤーへの送信順と状況が表示されます。転送状況は、ウィンドウ内の説明のとおり背景色からわかります。環境設定ダイアログボックスで、手動でのプレイリストや素材送信時にエラーが発生した場合に自動的に再送を行うように設定している場合は、再送回数欄に再送が行われた回数が表示されます。エラーが発生せず、再送が行われなかった場合は、この欄の表示はありません。

ヒント

エラーが発生した場合は、そのグループに対する送信をやり直してください。
送信されなかったネットワークプレーヤーだけに再送信されます。

転送結果ボタン

すべてのネットワークプレーヤーに関する結果を確認するための転送結果ウィンドウを表示します。
転送状況ウィンドウには、最後に送信を行ったグループに関する状況のみが表示されるので、それ以外のグループに所属するネットワークプレーヤーへの転送状況を確認する場合にお使いください。

中止ボタン

表示されているグループに対する送信を中止します。

転送結果ウィンドウ

転送結果ウィンドウは、接続されている各ネットワークプレーヤーに対して最後に行ったプレイリストまたは素材の送信結果を表示しています。

ご注意

スケジュール・アプリケーションでのプレイリストの自動送信機能によって送信された結果は、ここには表示されません。

各ネットワークプレーヤーの所属グループと結果が送信順に表示されます。結果表示の意味は、次のとおりです。

表示	意味
(空白)	送信なし
	送信成功
	接続エラー
	送信エラー
	未送信素材あり

素材変換ウィンドウ

素材変換ウィンドウは、動画や静止画のファイルを、ネットワークプレーヤーが扱うことのできる NSP フォーマットに変換する際に使用します。動画と静止画は、それぞれ別々のパネル上で扱われますが、操作のしかたは同じです。

フォルダの参照ドロップダウンリストボックスとボタン
変換するための動画または静止画ファイルが保存されているフォルダを選択します。
フォルダの参照ボタンは、フォルダを選択するための、フォルダの参照ダイアログボックスを表示します。ドロップダウンリストボックスからフォルダを選ぶこともできます。
ここで指定したフォルダ内に保存されている動画ファイルまたは静止画ファイルが、すぐ下のリストに表示されます。

ご注意
CD-R や DVD-R などに記録されている動画を変換する場合、CD-R、DVD-R のドライブを指定して変換すると、読み出しが間に合わずにエラーとなる場合があります。そのようなときは、ハードディスクに動画ファイルをコピーして、そのフォルダを指定してください。

動画または静止画ファイルリスト(上部のリスト: 変換前)
フォルダの参照ドロップダウンリストボックスで指定されているフォルダ内に保存されている動画または静止画のファイル(変換前のファイル)が表示されます。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。
ここでファイルを選択して開始ボタンをクリックするか、下の素材リストにドラッグ&ドロップすると、変換が開始します。
映像または画像を確認する場合は、希望のファイルを右クリックして、メニューに表示される[PC 上でプレビュー]をクリックします。

ヒント
次の条件に当てはまるファイル名を持つ動画、または静止画のファイルは、ファイル名と同じ素材コードの素材に変換されます。すでに同じ素材コードの素材が存在する場合には上書きします。

- ファイル名(拡張子を除く)が 8 文字
- 先頭の文字が M(動画)、S(静止画)のいずれか
- 3 文字目から 8 文字目まで(6 桁)が数字

変換パラメータボタンおよび変換バー(動画パネルのみ)
動画を変換する際のパラメーターを変更するための変換パラメータ設定ダイアログボックスを表示します。
変換中なのかどうかは、横に表示されているバーの状態でわかります。

動画または静止画素材リスト(下部のリスト)
登録されている動画または静止画の素材データがすべて表示されます。ウィンドウ内の説明のとおり、背景色によって素材の状況がわかります。

開始ボタン、中止ボタン
素材ファイルの変換を開始または中止します。

ご注意
素材変換の中止処理には、多少時間がかかる場合があります。

変換パラメータ設定ダイアログボックス

変換パラメータ設定ダイアログボックスでは、動画のファイルを NSP フォーマットに変換する際のパラメーターを変更することができます。

プロテクションドロップダウンリストボックス
NSP フォーマットの動画素材を、ネットワークプレーヤー以外では再生できないように保護する場合に ON を、そうでない場合は OFF を選択します。
ON を選択すると、PC 上でプレビューを行うこともできなくなりますのでご注意ください。

ファイルサイズドロップダウンリストボックス
このシステムではひとつの動画素材を複数のファイルに分割して管理する場合があります。
通常は「大」(初期値)を選択します。ネットワークプレーヤーが動画素材を完全に受信する前に再生を開始する(追っかけ再生)ように、特別に設定してある場合や NSP-100 が FTP サーバーから素材の取得をする場合には、「小」を選択してください。

AVI セクション
AVI ファイルを NSP フォーマットに変換する際のパラメーターです。

ビデオレートスピンボックス
NSP フォーマットに変換する際のビットレート(単位: Mbps)を指定します。大きな値を指定すると、データ量が増えますが画質は良くなります。少ない値を指定すると、画質は少し落ちますがデータ量を少なくできます。

ご注意
使用できる AVI ファイルは、長さが 5 秒以上 150 分以下のものです。150 分を超えたところで、自動的に変換が終了しますのでご注意ください。

フィルター(オーディオ)ドロップダウンリストボックス
変換時に、音声のノイズ(微小な信号)をカットするかどうかを選択します。
通常は OFF にしておきます。変換後の音声でノイズが気になる場合に ON にしてみてください。

キャプチャウィンドウ

キャプチャウィンドウは、i.LINK(IEEE1394)ケーブルで PC に接続されているカメラまたは VTR などのビデオ機器から動画をキャプチャーして、AVI ファイルを作成するときに使用します。

ご注意

- 使用できるビデオ機器については、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」に記載されている窓口にお問い合わせください。その他のビデオ機器でも使用できる場合がありますが、機器によっては、キューアップやシャトル制御など一部の機能がお使いになれない可能性があります。
- 動画キャプチャー中の画像と音声は同期しません。また PC のスピーカーなどからノイズが発生する場合もありますが、作成される AVI ファイルには影響はありません。
- PC の動作環境によっては、キャプチャーした動画ファイルにフレーム落ちが発生する可能性があります。
  また、キャプチャーされた動画のイン点、アウト点には、それぞれ 2 フレーム以内の誤差が生じる可能性があります。

スクリーン、タイムコード表示

スクリーンには、接続されているビデオ機器の映像が表示され、VTR 制御部での制御に従って再生などが行われます。
タイムコード表示部には、現在のタイムコードが青色で表示されます。ただし、接続されているビデオ機器がカメラモードのときは、タイムコード表示はありません。キャプチャー実行中は、開始時を 00:00:00:00 としてカウントアップを行い、赤色で表示します。

VTR 制御部

接続されているビデオ機器を制御します。
再生、停止、一時停止と、前後のシャトルと早送り(兼用)、およびコマ送りのボタンがあります。
前後のシャトル、早送りは、ボタンをクリックするたびに速度が切り替わります。

ご注意

接続しているビデオ機器によっては、正常に動作しないボタンがあります。

フォルダボタン

作成する AVI ファイルを保存するフォルダを変更します。
前回使用したフォルダが指定されています。インストール直後は、BZNP-100 をインストールしたフォルダの下にある AVI フォルダが指定されています。

イン点、アウト点ボタン、タイムコードテキストボックス、およびキューアップ( )ボタン

接続されているビデオ機器を制御して、希望の位置でイン点またはアウト点ボタンをクリックすると、そのときのタイムコードがイン点またはアウト点として登録されます。登録されたイン点／アウト点のタイムコードがテキストボックスに表示されます。
DVCAM フォーマットで録画されているテープをお使いの場合は、イン点／アウト点のタイムコードをテキストボックスに入力して、該当するキューアップボタンをクリックすると、指定したタイムコードがキューアップされます。ここでイン点またはアウト点ボタンをクリックして、イン点／アウト点を登録することができます。
ライブ録画を行う場合は、録画(キャプチャー)開始と同時にその時の時刻がイン点として表示され、録画を停止すると、その時刻がアウト点として表示されます。

ご注意

- テープ上に存在しないタイムコードをイン点またはアウト点に入力した場合、キャプチャーは実行できません。
- DVCAM フォーマットで録画されたテープでない場合は、タイムコードを直接指定してキューアップを行うことができないことがあります。そのような場合は、VTR 制御部のボタンで希望の画像を表示させ、イン点／アウト点のボタンをクリックして、イン点、アウト点を指定してください。

ライブ録画ボタン、録画ボタン、停止ボタン
ライブ録画ボタンは、イン点、アウト点の指定とは関係なく、ただちに現在の位置から動画のキャプチャーを実行します。録画ボタンは、指定されているイン点からアウト点までのキャプチャーを実行します。
停止ボタンは、どちらの場合でも、キャプチャーを停止します。

長さ表示
イン点とアウト点のタイムコードからノンドロップフレームモードで計算した、AVI ファイルの長さが表示されます。ドロップフレームモードで記録されたテープからキャプチャーする場合、テープ側の値とは異なりますのでご注意ください。

ご注意
BZNP-100 で使用できる AVI ファイルは、長さが 5 秒以上 150 分以下のものです。キャプチャー中の AVI ファイルの長さが 150 分を超えると、キャプチャーは自動的に停止します。

テロップ編集ダイアログボックス

テロップ編集ダイアログボックスは、テロップ素材の作成および編集を行います。

詳細設定ボタン
色や表示の仕方など、内容以外のテロップの設定を行うための詳細設定ダイアログボックスを表示します。

テキスト読み込みボタン
テロップの作成に利用するために、テキストファイルを選択して内容を読み込みます。

この画面のフォントサイズドロップダウンリストボックス
テロップ編集ダイアログボックス内でのテロップの文字の大きさを選択できます。NSP-100 で再生される際の文字の大きさは、詳細設定ダイアログボックスで指定できます(PC にインストールされているフォントを選択した場合のみ)。

ヒント
テロップ編集ダイアログボックスは大きくすることができます。表示フォントを大きくしている場合など、ダイアログボックスの境界付近をマウスポインターで探り、ポインターの形が矢印になる場所をドラッグして、希望の大きさにしてください。

種別、位置ー行、および総数表示
点滅、スクロールなどテロップ表示の種類、現在のテキストカーソルの位置、および入力されている文字数の合計がそれぞれ表示されます。
テロップ表示の種類は、[詳細設定]をクリックして、詳細設定ダイアログボックスで変更できます。

内容テキストボックス
テロップの表示内容を指定します。
ここに表示されている文字を選択して右クリックすると、テロップの編集に使用できるコマンドのメニューが表示されます。
NSP-100 内蔵のフォントを使用したテロップ、および素材などのタイトルに使用できる文字は、ASCII コードと JIS X 0208 (第一水準漢字、第二水準漢字)です。
表示できる文字数は、次のとおりです。ディスプレイの種類によってテロップが欠けることのないように、一行当たりの文字数が設定されています。

種別	文字数(半角)	文字数(全角)
常時	39	19
点滅	39	19
スクロールイン	39 x 5 行	19 x 5 行
スクロール	5,040	2,520

PC にインストールされているフォントを使用する場合、テロップは画像データとしてネットワークプレーヤーに送信されます。使用できる文字数は色数やフォントのサイズ、文字の幅によって異なります。半角の等幅フォントを使用した場合の概算を示した下記の表を目安としてください。

		スクロールテロップの文字数	
フォントサイズ	1 行の文字数	2 色の場合	16 色の場合
12 ポイント(16 ピクセル)	90	10,080	2,520
24 ポイント(32 ピクセル)	45	5,040	1,260
48 ポイント(64 ピクセル)	22	2,464	616
72 ポイント(96 ピクセル)	11	1,232	308

表示時間
テロップを表示するのに必要な最小の概算時間(常時、点滅では 2 秒)を示します。文字数やスクロールの速度によって表示時間は変化します。

緊急セクション(再生、停止ボタン)
素材管理ウィンドウで指定されているネットワークプレーヤーのグループに、指定したテロップを送信し、送信が終わり次第再生を行います。再生、停止ボタンで、指定したグループのネットワークプレーヤー上の再生を制御できます。

ご注意
緊急再生の操作は、ネットワークプレーヤー上で他の再生が行われていても、選択した素材を割り込み再生するものです。入力したテロップを再生中の素材にオーバーレイ表示したり、再生中のテロップがあれば、そのテロップの代わりに表示します。
また、緊急再生中は、再生日時が指定されているプレイリストの再生時刻になっても再生が開始されません。緊急再生を行う場合は、NSP-100 ステータスウィンドウでネットワークプレーヤーの状況を確認し、終了後は、必ず停止ボタンをクリックして緊急再生状態を解除してください。

保存ボタン
入力したテロップを保存します。

詳細設定ダイアログボックス

テロップ作成の詳細設定ダイアログボックスでは、色や表示の仕方など、テロップの内容以外の設定を行います。

ヒント

文字ではなく画像をテロップとして使用する「ビットマップテロップ」の場合は、フォント設定セクション部分と文字色、背景色は指定しません。

フォント設定セクション

テロップの表示フォント(種類、サイズ、使用色数)についての設定を行います。
まず、NSP-100 内蔵または PC インストールのどちらかのオプションボタンを選択してください。
NSP-100 に内蔵されているフォントを選択した場合は、他の設定は必要ありません。
PC にインストールされているフォントを選択した場合は、ドロップダウンリストボックスから希望のフォントを、サイズドロップダウンリストボックスで使用するフォントのサイズを選択します。また、使用色数の 2 つのオプションボタンのうち、テロップの文字に 1 色しか使用しない場合は 2 色を、複数の色を使用する場合は 16 色を選択します。

ご注意

ひとつのテロップの中で複数のフォント(種類およびサイズ)を使用することはできません。
NSP-100 が内蔵しているフォントを使用する場合は 1 種類のサイズしかないため、サイズの指定はできません。
また、1 文字ごとに文字色を変更したり、太字や斜体、下線付きにすることもできません。

分類およびタイトルテキストボックス

作成するテロップ素材の分類とタイトルを入力します。この分類とタイトルで素材を区別します。

種別

テロップ表示の種類を選択します。

項目	説明
常時	指定した文字列を表示します。
点滅	指定した文字列を点滅させて表示します。
スクロール	画面の右から左へ指定した文字列をスクロールして表示します。
スクロールイン	内容テキストボックスの一行(画面の幅にフィットしています)ずつを順番に所定の位置までスクロール表示します。

色指定(文字色および背景色ボタン)

テロップの文字色と背景色を指定します。それぞれのボタンの横にある色の正方形が現在の指定です。指定を変更する場合は、[文字色]または[背景色]をクリックして、色の設定ダイアログボックスで変更します。
フォント設定の使用色数オプションボタンで 16 色を選択していれば、1 文字ごとに文字色を変更することができます。文字色の変更は、テロップ編集ダイアログボックスで行います。背景色は 1 色しか使用できません。

背景の透過度ドロップダウンリストボックス

フル画面の動画上にテロップが表示される場合に、背景色をどの程度透過させるかを設定します。
ビットマップテロップの場合は、使用するビットマップのインデックスカラーの 0 番が背景色とみなされ、透過色になります。

速度ドロップダウンリストボックス

点滅、スクロール、スクロールインの種別を選択した場合に、点滅またはスクロールの速度などを選択します。右側のテキストボックスに数値で設定することもできます。
点滅の場合は単位は、フィールド／回、スクロールの場合は、移動ピクセル／フィールド、スクロールインの場合はフィールド(表示時間)となります。

ヒント

1 フィールドは、1 フレームの半分の時間で、NTSC の場合は約 1／60 秒、PAL の場合は 1／50 秒です。

速度ドロップダウンリストボックスに希望の名称を入力して登録ボタンをクリックすると、テキストボックスに指定されている数値を保存できます(最大 30 個まで)。削除ボタンは、選択されている名称の設定値の登録を削除します。設定値の登録の操作をしない場合でも、あらかじめ登録されている「低速」など以外の速度を設定した場合、「ユーザー定義」という名称で設定値が保存されることになります。詳細設定ウィンドウの OK ボタンをクリックしたときにメッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

回数テキストボックスとループチェックボックス
表示回数を設定します。ループチェックボックスをチェックすると、イベントが続く限り何度でも表示を行います。

位置ドロップダウンリストボックス
テロップの表示位置を選択します。種別が「常時」または「点滅」の場合は右側のテキストボックスに X、Y 座標(テロップの左上隅の座標。画面の左上隅が (0,0) となります)で設定することもできます。「スクロール」または「スクロールイン」の場合は Y 座標のみで設定します。
位置ドロップダウンリストボックスに希望の名称を入力して登録ボタンをクリックすると、テキストボックスに指定されている座標を保存できます(最大 30 個まで)。削除ボタンは、選択されている名称の設定値の登録を削除します。設定値の登録の操作をしない場合でも、あらかじめ登録されている「下」など以外の位置を設定した場合、「ユーザー定義」という名称で設定値が保存されることになります。詳細設定ウィンドウの OK ボタンをクリックしたときにメッセージが表示されますので、[はい]をクリックしてください。

ご注意

- 回数および位置指定は、テロップの緊急再生時に使用されます。通常の場合は、プレイリストでテロップの回数および位置を指定します。
- ネットワークプレーヤーのグループの設定時に、オーバースキャンタイプのディスプレイを選択した場合は、実際に画面に表示される範囲に応じて、あらかじめ登録されている「上」、「下」の表示位置が調整されます。ひとつのグループで異なる種類のディスプレイをお使いの場合は、種類によって異なる位置に表示される場合がありますのでご注意ください。
- 位置の設定値は、プレイリスト上でのテロップの位置の設定と共通で、最大 30 個まで保存できます。ただし、同じ設定値に異なる名前を付けて、別々に使用することはできません。種別が「スクロール」または「スクロールイン」の場合は、X 座標が 0 以外のユーザー設定値を指定しても、X 座標は無視されます。

テロップ文字色設定ダイアログボックス

テロップ文字色設定ダイアログボックスでは、テロップ編集ダイアログボックスで選択されているテロップの文字の色を指定します。
ダイアログボックスにパレットとして表示されている 15 色の中から、希望のオプションボタンを選択して[OK]をクリックすると、選択されている文字の色が変わります。

ヒント

詳細設定ダイアログボックスで選択されている文字色が、左上隅に表示されています。
この色は[色の設定]で変更することはできません。

色の設定ボタン

選択されているパレットの色を変更するために、色の設定ダイアログボックスを表示します。
希望の色がパレットにないとき、15 色のパレットの中でいずれか不要な色を選択して、このボタンをクリックしてください。

制御（外部機器/NSP-100）設定ダイアログボックス

制御(外部機器/NSP-100)設定ダイアログボックスでは、ネットワークプレーヤーの RS-232C/GPI コネクターに接続されているプラズマディスプレイや GPI(General Purpose Interface)パルスでの制御を行う機器に対する制御コマンド、およびネットワークプレーヤー自体に対する制御コマンドの作成を行います。
ここで作成した外部機器に対する制御コマンドをプレイリストに組み込み、動画やテロップなどの素材の送出に合わせて外部機器を制御することができます。
また、ネットワークプレーヤーのグループを指定して、作成した制御コマンドの緊急再生を行うことで、外部機器やネットワークプレーヤーを一時的に制御することができます。

分類およびタイトルテキストボックス
作成する制御コマンドの分類とタイトルを入力します。この分類とタイトルで制御コマンドを区別します。

プラズマディスプレイ制御セクション
ネットワークプレーヤーに接続されているプラズマディスプレイの制御を行う場合に、オプションボタンを選択します。
それから制御ドロップダウンリストボックスで、制御の種類を選択します。

ヒント

さまざまなプラズマディスプレイの制御内容に表示を合わせるために、制御ドロップダウンリストボックスに表示される制御内容のうち、「電源をオン」、「電源をオフ」以外の項目の表示を変更することができます。
希望の制御を選択すると、表示が反転表示になります。ここで希望の文字列を入力して、[登録]をクリックしてください。

GPI 制御セクション
ネットワークプレーヤーに接続されている機器の GPI パルスによる制御を行う場合に、オプションボタンを選択します。
それから、GPI Out-1 ON から GPI Out-4 ON のうち、パルスを出力するものをチェックします。

NSP-100 制御セクション
音量の調整など、ネットワークプレーヤー自体に対する制御を行う場合に、オプションボタンを選択します。
それから、制御テキストボックスにネットワークプレーヤー制御のコマンドを入力します。

ご注意

- ネットワークプレーヤーに対する制御コマンドは、プレイリストに組み込んで使用することはできません。
- ネットワークプレーヤーの制御コマンドに問題があると、ネットワークプレーヤーが動作しなくなる可能性がありますので、十分ご注意ください。
  制御コマンドについては、ネットワークプレーヤーのプロトコルマニュアルを参照してください。プロトコルマニュアルについては、「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口にお問い合わせください。

プレイリスト表示ウィンドウ

プレイリスト表示ウィンドウは、素材管理ウィンドウのプレイリストパネルで選択されているプレイリストまたはプレイリスト・モジュールの内容を確認するために使用します。
このウィンドウでプレイリストを編集することはできません。

ヒント

イベントのタイトルがリストの幅より長い場合は、マウスポインターをそのタイトル欄に移動して見てください。タイトル全体がポップアップ表示されます。

コードおよびタイトル表示

表示中のプレイリストのコードとタイトルを表示します。

プレイリスト

送出イベントとして送出順に素材を並べたプレイリストが、素材の種類別に表示されます。また、開始時間の欄に、個々のイベントの開始時刻が表示されます。同じ番号(No.)が割り当てられているイベントは、同時に送出開始となります。グレーの行はブレイク(どの素材も送出されない時間)です。
他のウィンドウと同様に、緑色の背景色は、素材がまだ用意できていない(変換されていない)ことを意味しています。外部機器の制御イベントが組み込まれている場合は、そのタイトルが右端に表示されます。
「プレイリスト・モジュール」が挿入されている場合には、プレイリスト編集ウィンドウと同様に、挿入されたモジュールが閉じた矢印( )のついた薄いグレーのコメント行で表示されます。この矢印のマークをダブルクリックすると、モジュールが展開されて、含まれているイベントが開始時間欄に矢印マークの付いた薄いグレーの上( )下( )のコメント行にはさまれて表示されます。
展開表示されているプレイリスト・モジュールは、上のコメント行の矢印マークをダブルクリックすると、再び折りたたまれて一行の表示となります。

ご注意

NTSC の映像信号は、29.97 フレーム/秒ですが、BZNP-100 では長さを 30 フレーム/秒で扱っています(ノンドロップフレーム方式)。このため実際に再生される時間は、表示されている個々のイベントの「長さ」よりも長くなることがあります。この誤差は、1 分間で約 2 フレーム、1 時間で約 108 フレーム（約 3.3 秒）となります。
このウィンドウの開始時間欄は、この誤差を考慮していますが、1 秒未満の誤差が残ります。

プロパティダイアログボックス

プロパティダイアログボックスは、作成/編集中のプレイリストの分類や送出スケジュール(スケジュール・アプリケーションのみ)などを指定するために使用します。

分類およびタイトルテキストボックス
編集中のプレイリストの分類とタイトルを入力します。この分類とタイトルでプレイリストを区別します。

リピートチェックボックス
チェックすると、プレイリストを繰り返して送出します。一度だけで終わりにする場合は、チェックマークをクリアします。

ご注意
プレイリスト中にブレイクが入っている場合には、プレイリストを繰り返して送出することはできません。

開始日および終了日ドロップダウンテキストボックス(スケジュール・アプリケーションのみ)
プレイリストを使用する期間を指定する場合は、開始日および終了日に希望の日付を指定します。ドロップダウンリストボックスのボタンをクリックするとカレンダーが表示されて、日付を選択できます。

ヒント
Windows の地域と言語のオプションの設定によって日付の表示方法を変更し、曜日も表示するようにできます。Windows のコントロールパネルで地域と言語のオプションウィンドウを開き、日付の「短い形式」を変更してください。ただし、表示方法によってはドロップダウンテキストボックスからはみ出す場合があります。
日付の表示方法の変更について詳しくは、Windows のオンラインヘルプなどをご覧ください。

開始時間スピンボックス、初期値として保存ボタン(スケジュール・アプリケーションのみ)
プレイリストの先頭イベントの開始時刻を設定します。
初期値として保存ボタンをクリックすると、スピンボックスで設定した開始時間が保存され、それ以降に同じグループのために作成されるプレイリストの開始時間の初期値となります。

リピート終了時間スピンボックス、初期値として保存ボタン(スケジュール・アプリケーションのみ)
繰り返してプレイリストの送出を行う場合の繰り返し終了時間を設定します。リピートチェックボックスがチェックされている場合にだけ設定できます。
初期値として保存ボタンをクリックすると、スピンボックスで設定したリピート終了時間が保存され、それ以降に同じグループのために作成されるプレイリストのリピート終了時間の初期値となります。

ご注意
プレイリストの繰り返し再生時間の最長は 23 時間 58 分です。NSP-100 設定ダイアログボックスで指定するネットワークプレーヤーのスリープ設定時刻とリピート再生時間が重ならないよう、ご注意ください。
運用に合わせてリピート終了時刻を適切に設定することにより、その時間外に行うプレイリストや素材の転送速度が向上し、ネットワークプレーヤーのハードディスクの故障率も低減できます。

プレイリスト・モジュールチェックボックス
作成/編集中のプレイリストを、他のプレイリストに組み込んで使用するための部品となる「プレイリスト・モジュール」にします。
プレイリスト・モジュール扱いにした場合は、開始日、終了日の指定はできません。また、繰り返し送出のためのリピートチェックボックスもチェックできません。

ご注意
スケジュール・アプリケーションの場合、組み込み用の「プレイリスト・モジュール」を作成する際は、必ずこのチェックボックスにチェックマークをつけ、送出開始日や終了日のないデータにしておいてください。
送出開始日、終了日のあるプレイリストを他のプレイリストに挿入すると、同じ日時に送出を行う複数のプレイリストが自動的にネットワークプレーヤーに転送され、送出時に誤動作を起こす場合があります。
また、プレイリスト・モジュールを 2 重にネスト(入れ子状態)することはできません。モジュール a が挿入されているモ

ジュール b を、プレイリストに挿入した場合、a のものも含めてイベントはすべて挿入されますが、a のモジュールを示す薄いグレーのコメント行は自動的に削除されます。

表示画面設定ダイアログボックス

表示画面設定ダイアログボックスは、プレイリスト編集中、次の 2 通りの場合に表示されます。

- [デフォルト表示画面設定]をクリックした場合
  動画やテロップを送出するイベントに対して、デフォルト(初期状態)の動画とテロップの表示位置を指定します。
- 動画またはテロップを送出するイベントを右クリックして[表示位置設定]をクリックした場合
  そのイベントに対して、動画やテロップの表示位置を指定します。

ご注意

このダイアログボックスの設定値の単位はすべてピクセルで、原点は画面の左上隅です。同じ設定値に異なる名前を付けて、別々に登録することはできません。
ネットワークプレーヤーのグループの設定時に、オーバースキャンタイプのディスプレイを選択した場合は、実際に画面に表示される範囲に応じて、あらかじめ登録されている「左上」、「下」などの表示位置が調整されます。また、ダイアログボックス内のモニターの絵も、実際の表示範囲が表示されます。
ひとつのグループで異なる種類のディスプレイをお使いの場合は、種類によって異なる位置に表示される場合がありますのでご注意ください。

動画位置ドロップダウンリストボックス、登録および削除ボタン

動画を表示する位置をドロップダウンリストボックスで指定します。選択または入力した選択肢に対応した X、Y 座標(動画の左上隅の座標)がテキストボックスに表示され、ダイアログボックスに表示されているモニターの絵でも確認できます。
テキストボックスの座標を変更したり、モニターの絵に示されている動画をドラッグして、任意の位置を設定することもできます。
登録および削除ボタンは、ユーザー設定値の管理に使用します。あらかじめ登録されていない位置を設定する場合は、動画位置ドロップダウンリストボックスに設定する座標の名称を入力して、登録ボタンをクリックし、テキストボックスに指定されている設定値を登録します(最大 30 個まで)。削除ボタンは、選択されている名称の設定値の登録を削除します。

動画サイズドロップダウンリストボックス、登録および削除ボタン

動画を小さく表示する場合に、サイズをドロップダウンリストボックスで指定します。選択または入力した選択肢に対応した幅、高さの設定値がテキストボックスに表示され、ダイアログボックスに表示されているモニターの絵でも確認できます。
テキストボックスの値を変更したり、モニターの絵に示されている動画のハンドルをドラッグして、任意のサイズを設定することもできます。
アスペクト比固定チェックボックスをチェックすると、動画の縦横比が NTSC は 2:3、PAL は 4:5 で固定となります。
登録および削除ボタンは、ユーザー設定値の管理に使用します。あらかじめ登録されていないサイズを設定する場合は、動画サイズドロップダウンリストボックスに設定するサイズの名称を入力して、登録ボタンをクリックし、テキストボックスに指定されている幅と高さの設定値を登録します(最大 30 個まで)。削除ボタンは、選択されている名称の設定値の登録を削除します。

テロップ位置ドロップダウンリストボックス、登録および削除ボタン

テロップを表示する位置をドロップダウンリストボックスで指定します。選択または入力した選択肢に対応した X、Y 座標(テロップの左上隅の座標)がテキストボックスに表示され、ダイアログボックスに表示されているモニターの絵でも確認できます。
テキストボックスの座標を変更したり、モニターの絵に示されているテロップをドラッグして、任意の位置を設定することもできます。
登録および削除ボタンは、ユーザー設定値の管理に使用します。あらかじめ登録されていない位置を設定する場合は、テロップドロップダウンリストボックスに設定する座標の名称を入力して、登録ボタンをクリックし、テキストボックスに指定されている設定値を登録します(最大 30 個まで)。削除ボタンは、選択されている名称の設定値の登録を削除します。

ヒント

- テロップの種別が「スクロール」または「スクロールイン」の場合は、Y 座標(テロップの上端が表示される位置。画面の上端が 0 となる)のみ指定できます。X 座標が 0 以外のユーザー設定値が指定されている場合は、X 座標は無視されます。
- テロップ位置のユーザー設定値は、テロップ作成時に指定する緊急再生時の表示位置の設定値と共通です。

OK および適用ボタン

OK ボタンは、現在の設定項目をデフォルトの表示位置またはイベントの表示位置として保存します。
位置またはサイズの値を変更した場合は、変更後に Enter キーを押すか、[OK]の前に[適用]をクリックすると、結果を確認できます。

送出ログウィンドウ

送出ログウィンドウは、送出の状況を記録した送出ログをネットワークプレーヤーから取得して、確認するためのウィンドウです。選択しているパネルによって、ログの種類は異なります。

ヒント

システムに問題が生じて、サポート担当者にエラーログを送る場合は、[ログの圧縮]をクリックして、取得したログを圧縮する必要があります。
圧縮方法については、「送出ログを確認する」の「ログを圧縮するには」をご覧ください。

NSP-100 ドロップダウンリストボックス
送出ログを取得するネットワークプレーヤーを選択します。選択したネットワークプレーヤーから取得したログの一覧が表示されます。

取得日時表示、取得ボタン
取得日時表示には、選択されているネットワークプレーヤーから最後にログを取得した日付と時刻が表示されています。[取得]をクリックすると、そのネットワークプレーヤーからログが取得され、リストに追加されます。

全削除ボタン (プレイリストパネルのみ)
選択されているネットワークプレーヤーのプレイリストログを PC 上からすべて削除します。

ログの圧縮ボタン
取得したエラーログを圧縮します。

ログ
今までに取得したログの一覧が表示されています。
リストの項目をクリックするとその項目の昇順にデータを並べ替えることができます。

パネル	内容
プレイリスト	選択されているネットワークプレーヤーから送出されたプレイリストのタイトルと送出開始、終了日時、リピート回数、送出結果(OK、警告、エラー)
エラーログ	選択されているネットワークプレーヤーでエラーが発生した日付と時刻、エラーレベル(エラーまたは警告)、エラー番号と詳細

ヒント

プレイリストパネルを選択している場合は、一覧に表示されているログを右クリックするとメニューが表示され、ログの削除などを行うことができます。[詳細表示]をクリックすると、別ウィンドウに選択したプレイリストのログの内容が表示されます。Excel がインストールされていれば、[Excel で表示・印刷]をクリックすると、自動的に Excel が起動され、ログの内容が表示されます。

詳細表示ウィンドウ

詳細表示ウィンドウは、送出ログウィンドウのプレイリストパネルで選択したプレイリストの各イベントに関する送出の状況を表示するためのウィンドウです。
各イベントの素材種別、タイトル、プレイリストに指定されていた送出の予定時刻、実際の送出開始および終了時刻、送出時間、結果および素材のコードが表示されます。[結果コード]をクリックすると、結果コードの意味の一覧が表示されます。

自動削除日設定ダイアログボックス

ネットワークプレーヤー上に送られたプレイリストや動画、静止画、テロップの素材は、ネットワークプレーヤーの容量が足りなくならないように、指定されている削除日になると自動的に削除されるように設定しておくことができます。自動削除日設定ダイアログボックスは、その自動削除日を設定するために使用します。カレンダー上で削除日に指定する日をクリックして選択してから、[OK]をクリックします。

カレンダーの表示月を変更するには
年月の表示の左右にある前月、次月(左右の矢印)ボタンをクリックします。

開始時間変更ダイアログボックス

開始時間変更ダイアログボックスは、プレイリスト編集ウィンドウで選択したイベントの開始時刻を変更するために使用します。
開始時刻の時:分:秒を指定して、[OK]をクリックします。

ヒント

時、分、秒の各領域は、それぞれ 2 桁ずつしか入りません。例えば、「00」を「05」にする場合など、先に 0 をひとつ削除してからでないと 5 を入力できない場合がありますので、ご注意ください。

NSP-100 設定パスワード入力ダイアログボックス

NSP-100 設定パスワード入力ダイアログボックスは、NSP-100 設定ダイアログボックスにパスワードによるプロテクションを行っている場合に表示されます。
指定されているパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。
パスワードの大文字と小文字は区別されます。

NSP-100 ステータスウィンドウ

NSP-100 ステータスウィンドウでは、このソフトウェアから素材やプレイリストなどを送っているネットワークプレーヤーの動作状況を確認することができます。ネットワークプレーヤー内のハードディスクドライブの空き容量も確認できます。

グループドロップダウンリストボックス
ステータスを確認したいネットワークプレーヤーのグループを選択します。

更新ボタン、更新日時表示
更新ボタンをクリックすると、各ネットワークプレーヤーの情報が更新されます。最後に情報を更新した日時が表示されます。

リスト
グループドロップダウンリストボックスで選択されているグループのネットワークプレーヤーの状況が表示されます。
再生を行っている場合は、再生の種類(プレイリスト、動画、静止画、緊急再生であるかどうかなど)、イベント番号(プレイリスト再生中の場合)、再生中の素材またはプレイリストのコードとタイトルも、ともに表示されます。
また、ネットワークプレーヤー内のハードディスクドライブの空き容量もリスト上に表示されます。

プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウでは、動画や静止画の内容を確認することができます。

ご注意

- このシステムでは、送信の効率を上げるために、NSP フォーマットに変換する際、ひとつの動画素材を複数のファイルに分割する場合があります。このような動画素材では、プレビューできるのは初めの一部分(先頭のファイル)のみとなります。
- MPEG2 の動画プレビューには、MPEG2 ファイルの再生機能を必要とします。ライセンス上の問題のため、このためのソフトウェアは無償提供することができません。MPEG2 再生ソフトウェアを別途ご購入になり、インストールしてください。
  ただし、AVI ファイルは DirectShow の機能で再生することができます。
  VSR-2000/2000A で作成された、変換前のファイルは、PC 上で再生することはできません。
  また、NSP フォーマットに変換する際にプロテクションを ON にした動画ファイルは、PC 上で再生することはできません。

スライドバー(動画の場合のみ)
スライドバーのつまみをドラッグして移動させ、素材の任意の位置の画像を確認したり、そこからの再生を行います。
動画素材(またはその先頭ファイル)全体の長さがバーの長さに対応しています。

再生、停止、一時停止ボタン(動画の場合のみ)
動画の再生を制御します。

素材のインポートダイアログボックス

素材のインポートダイアログボックスは、ソニーのオーサリングのソフトウェア BZNP-A1 で作成した素材およびプレイリスト･モジュールを、配信のために BZNP-100 に取り込む(インポート)際に使用します。
また、複数の BZNP-100 を使用して素材を共有している場合など、すべての種類の素材データベースを再構築したい場合にも使用できます。

素材のデータ更新オプションボタン
素材管理フォルダのデータを確認して、素材管理ウィンドウに反映させます。
BZNP-A1 で作成された素材やプレイリスト・モジュールなどの配信用データが、素材管理フォルダに直接書き込まれている場合は、書き込まれたデータを読み込んで素材管理ウィンドウに表示させるために、こちらを選択します。
複数の BZNP-100 を使用して素材を共有している場合など、すべての種類の素材データベースを同時に再構築したい場合も、こちらを選択して開始ボタンをクリックします。

BZNP-A1 で作成したパッケージをインポートオプションボタンとドロップダウンリストボックス、フォルダの参照ボタン
素材やプレイリスト・モジュールなどの配信用データのパッケージをインポートします。
BZNP-A1 で作成した配信用データを CD-R や DVD-R などのメディアで受け取った場合に、こちらを選択し、ドロップダウンリストボックスやフォルダの参照ボタンで、インポートするパッケージデータのフォルダを指定します。

コピー完了後にフォルダ内のファイルを全削除するチェックボックス
BZNP-A1 で作成したパッケージをインポートする時、インポートするパッケージファイルをコピーした後、コピー元のファイルを削除する場合に、チェックマークを付けます。BZNP-A1 で作成したパッケージをインポートオプションボタンを選択している場合にのみチェックマークを付けることができます。
このチェックボックスは、ネットワーク上の PC のフォルダを使用して、BZNP-A1 と BZNP-100 が配信データのパッケージの受け渡しを行うような運用を行う場合に使用するもので、CD-R や DVD-R などを使用する場合にはチェックマークは付けません。

開始ボタン
素材のデータ更新または BZNP-A1 で作成したパッケージのインポートを開始します。

中止ボタン
素材のデータ更新または BZNP-A1 で作成したパッケージのインポートを中止します。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
http://www.sony.co.jp/